

キルギス日本語教育研究

第5号

【特別寄稿】

Language Learner Literature としての日本語多読の読みもの—初級書き下ろし作品の工夫と作者の意図—

作田 奈苗 6

【研究論文】

孤立環境キルギスにおける日本語学習／教育の意味づけ—現地教師のビリーフ調査から—

山口 紀子 19

漢字の構成要素の表の開発及びその意義について

ヴォロビヨフ ヴィクトル, ヴォロビヨフ ガリーナ 28

【研究ノート】

カザフ語と日本語におけることわざ, 慣用句表現と寓話の異文化間比較

ウシケムピロワ ナズゲーリ 51

日本の漫画におけるオノマトペの翻訳の難しさについて —空知英秋の『銀魂』1~4巻を例に—

アイティケーワ ガリヤー 58

隠された広告記号の解釈 —日本のアニメを例に—

ウィレンスカヤ ユーリヤ 65

【教育事情・実践報告】

キルギス日本語教師会会報の創刊から20周年を迎えて —会報バックナンバーの概観—

ヴォロビヨフ ガリーナ 73

キルギス共和国の英語教育事情における課題と展望

大塚 圭 92



УДК 811.521

ББК 81.2 Я

Н 34

Редколлегия

Асель ДЖУНУШАЛИЕВА – магистр (востоковедение и африканистика), старший преподаватель Бишкекского государственного университета

Галина ВОРОБЬЕВА – доктор наук Японии (японоведение)

Назгуль УШКЕМПИРОВА – магистр (востоковедение и африканистика), преподаватель Бишкекского государственного университета

Н 34 Научные исследования в области преподавания японского языка в Кыргызской Республике / Редколлегия Асель ДЖУНУШАЛИЕВА, Галина ВОРОБЬЕВА, Назгуль УШКЕМПИРОВА. -Б.: 2021 – 112 стр.

ISBN 978-9967-31-568-6

Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики была создана в 1999 году. Основные цели Ассоциации – совершенствование и продвижение преподавания японского языка учащимся Кыргызстана и всего Центральноазиатского региона, распространение японского языка и японской культуры, углубление кыргызско-японских отношений.

Мы надеемся, что данный сборник научных трудов «Научные исследования в области преподавания японского языка в Кыргызской Республике» №5, знакомя с результатами исследований о Японии и методах преподавания японского языка, будет играть значительную роль в обмене научной информацией не только в Кыргызстане, но и во всей Центральной Азии.

Апрель 2021 года

Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики

Н 460202500-17 УДК 811.521

ISBN 978-9967-31-568-6

ББК 81.2 Я

©Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики

キルギス共和国日本語教師会研究紀要

キルギス日本語教育研究

Научные исследования в области преподавания
японского языка в Кыргызской Республике

第 5 号

выпуск №5

ISBN 978-9967-31-568-6

キルギス共和国日本語教師会

Ассоциация преподавателей японского языка
Кыргызской Республики

Бишкек, 2021

《目 次》

◆特別寄稿

Language Learner Literature としての日本語多読の読みもの

—初級書き下ろし作品の工夫と作者の意図—

作田 奈苗 6

◆研究論文

孤立環境キルギスにおける日本語学習／教育の意味づけ—現地教師のビリーフ調査から—

山口 紀子 19

漢字の構成要素の表の開発及びその意義について

ヴォロビヨフ ヴィクトル, ヴォロビヨワ ガリーナ 28

◆研究ノート

カザフ語と日本語におけることわざ、慣用句表現と寓話の異文化間比較

ウシケムピロワ ナズグーリ 51

日本の漫画におけるオノマトペの翻訳の難しさについて —空知英秋の『銀魂』1～4巻を例に—

アイティケーワ ガリヤー 58

隠された広告記号の解釈 —日本のアニメを例に—

ウィレンスカヤ ユーリヤ 65

◆教育事情・実践報告

キルギス日本語教師会会報の創刊から20周年を迎えて —会報バックナンバーの概観—

ヴォロビヨワ ガリーナ 73

キルギス共和国の英語教育事情における課題と展望

大塚 圭 92

◆学会・研究会報告等

キルギス日本語教育セミナー2020

ジュヌシャリエワ アセーリ 100

「日本語教師の日」(シリーズ『モスクワでのセミナーについて』)

ジュヌシャリエワ アセーリ 101

ウズベキスタンの国際日本学研究フォーラム

ヴォロビヨワ ガリーナ 102

モスクワ市立大学とロシア CIS 日本語教師会が実施した第3回国際学術学会「教育現場における日本語」	
ヴォロビヨワ ガリーナ	103
キルギス日本語教育セミナー2021 第1部 講演・ディスカッション「漢字指導・学習の方法・バリエーションはどのくらい？」	
ジュヌシャリエワ アセーリ	104
キルギス日本語教育セミナー2021 第2部 パネルディスカッション「CIS各国オンライン教育事情報告会」	
西條 結人	105
第13回ブラジル日本研究国際学会 第26回全伯日本語・日本文学・日本文化大学教師学会「日本研究における新しいパラダイムの統合と構築」	
ヴォロビヨワ ガリーナ	106
◆役員・委員会一覧その他	107

Оглавление

◆ Отчеты приглашенных лекторов научного семинара

Материалы для экстенсивного чтения в качестве учебной литературы для изучающих японский язык - Оригинальность материалов для чтения на начальном уровне изучения языка и цели авторов -

Нанаэ САКУТА 6

◆ Научные статьи

Значение изучения и преподавания японского языка в изолированной среде Киргизии

– на основе исследования убеждений местных преподавателей –

Норико ЯМАГУТИ 19

О создании и значении Таблицы элементов японских иероглифов

Виктор ВОРОБЬЕВ, Галина ВОРОБЬЕВА 28

◆ Научные заметки

Межкультурное сопоставление пословиц, устойчивых выражений и басен в японском и казахском языках

Назгуль УШКЕМПИРОВА 51

О некоторых трудностях перевода оноματοпозэтической лексики в японских комиксах манга на примере 1-4 томов манги «Гинтама» Сорати Хидэаки

Галия АЙТИКЕЕВА 58

Интерпретация скрытых рекламных символов на примере японской анимации

Юлия ВИЛЕНСКАЯ 65

◆ Состояние преподавания / практические отчеты

20 лет со дня первого выпуска Вестника Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики: обзор содержания номеров Вестника

Галина ВОРОБЬЕВА 73

Проблемы и перспективы преподавания английского языка в Кыргызской Республике

Кэй ОЦУКА 92

◆ Информация о научных обществах, конференциях и т.п.

Онлайн-семинар по японоведению и методике преподавания японского языка-2020

Асель ДЖУНУШАЛИЕВА 100

О семинаре в Москве из серии «Дни преподавателей японского языка»	
Асель ДЖУНУШАЛИЕВА	101
Международный форум по японоведению в Узбекистане	
Галина ВОРОБЬЕВА	102
3-я международная научно-практическая конференция «Японский язык в образовательном пространстве» в Московском городском университете	
Галина ВОРОБЬЕВА	103
Онлайн-семинар по японоведению и методике преподавания японского языка-2021	
Часть 1: Методы преподавания и изучения иероглифов: многообразие методик	
Асель ДЖУНУШАЛИЕВА	104
Онлайн-семинар по японоведению и методике преподавания японского языка-2021	
Часть 2: Доклады и панельная дискуссия о преподавании японского языка в странах СНГ и проблемах онлайн-обучения	
Юто САЙДЗЕ	105
13-я Бразильская международная конференция по японоведению 26-я Бразильская конференция преподавателей университетов по японскому языку, японской литературе, японской культуре "Интеграция и построение новой парадигмы в японоведении"	
Галина ВОРОБЬЕВА	106
◆Сведения о должностных лицах Ассоциации преподавателей японского языка КР, редколлегии Вестника ассоциации и др.	107

特別寄稿

YDK: 811.52182-1/-9

Language Learner Literature としての日本語多読の読みもの —初級書き下ろし作品の工夫と作者の意図—

作田 奈苗 (津田塾大学・NPO 多言語多読)

要約

多読用読みものは、単にやさしい言葉で書いてあればいいというものではない。読みものとして完成されたものでなければならない。日本語多読は世界的に普及しつつあるが、その読みもの研究や開発はまだ途上にある。本論では日本語多読の読みものうち、特に初級レベルの書き下ろし作品を取り上げ、その作成で工夫されている点を記述し、作者の意図についての証言とともに考察した。そこでは、すでに公言されている作成方針以外に、シリーズものであること、「オチ」があることなど、読者を楽しませ、読みを助けるためのさまざまな工夫があることがわかった。

キーワード：日本語多読， 教材開発， 読解

1. はじめに

第二言語習得におけるインプットの重要性は、Krashen をはじめ多くの研究によって明らかにされている。多読は、このインプットを大量の読書によって達成するものである。

日本語教育における多読は、先行する英語教育での普及を追いかけるように、近年広がりを見せているが、教材開発と実践の方針によって、実践者はいくつかのグループに分かれている(高橋 2016)。これらの中で、教材開発と授業実践、そしてその普及活動を活発に行っているのが NPO 多言語多読である。その初期の取り組みは、NPO 法人日本語多読研究会(2009)に、その後は栗野ほか(2012)にまとめられているが、現在、日本語教育の分野で多読といえ、まずあげられるのは NPO 多言語多読の推進するタイプの多読と言ってまちがいはないだろう。

多読には、その教材となる大量の読み物が必須である。しかし、日本語の母語話者向けの読み物には、日本語学習者に適した読み物はあまり多くない。特に初級者用の読みものはほとんどないと言ってよい。そこで、多読による日本語学習を推進するには、まず、教材開発が必要となる。この問題にも積極的に取り組み、数多くの多読用読みものを開発、出版してきたのもまた、NPO 多言語多読である。

多読用の読みものは、ただやさしい語彙や文法で書かれていればいいというものではない。多読は、学習者が、読むこと自体をおもしろいと感じて読み続けるという内発的動機付けを推進力としている。したがって、多読の読み物は、読みやすく、おもしろいものでなければならない。では、多読用読みものは、具体的にそれをどのように実現しているのだろうか。

本稿は、この点を明らかにするため、NPO 多言語多読が開発した多読用読みもののうち、特に初級の書き下ろし作品を取り上げ、Language Learner Literature (後述) として記述、考察することを試みるものである。

2. 先行研究

Day & Bamford (1998)は、学習者の読み物を Language Learner Literature (以後、LLL と略す) と呼ぶことを提案し、LLL は、単にやさしく書かれただけの読み物ではなく、読者とのコミュニケーションを考えた、それ自体が完全な作品でなければならないとしている(p.64)。なぜならば、読者である学習者は、彼らの心に訴えかける様々な文学を読むに値する読者だからである(p.77)という。このような考えのもと、英語教育では、Graded Reader などと呼ばれる学習者用読みものが豊富にあり、各出版社が方針を決めて編集し、たくさんの作品を生み出しているため、LLL は一つの読みもののジャンルとして商業的にも確立している。毎年表彰される LLL の賞も存在するほどである。

しかし、日本語多読では、近年、多読についての論考が増えてきているものの、授業実践などについての研究が中心であり、教材開発に関する研究や議論は多いとはいえない。その数少ない例が、JGRPG (Japanese Graded Reader Project Group) の一連の研究である。しかし、JGRPG の研究は読みもので使われる語彙に関する調査が中心である。Reynolds ほか(2003)では、読みもの作りで注意すべきこととして、読みもののジャンル、書き換えか書き下ろしか、挿絵の挿入などについて多少言及はあるものの、主要な関心は語彙のコントロールについてであり、そのほかの点については具体的な議論はない。

具体的に読みもの作りの工夫が述べられているものは、NPO 多言語多読の栗野ほか(2012)である。ここでは、多読用の読みものを作ることになった経緯、作成の過程とともに、読み物づくりにおいてどのような点に留意したか、その方針が述べられている。

栗野ほかによると、読みものを作る上で、まず考えられたのは学習者にとっての読みやすさとは何かであると言う。この点を述べた節の執筆を担当した松田緑は、次のように述べる。

私 (松田) が英語多読を体験してみたところ、読みやすいと感じた本は、字が大きく1ページの文の量が少なめの本、登場人物があまり多くなくストーリーが時間の流れに沿っているものでした。また、挿絵が多いと、理解が助けられるし勇気が湧きます。1冊があまり厚くないものなら、短時間で読み終えられ、もう1冊読もうという気持ちになります。「読みやすい英語の本」とは、そういう本でした。(p.32)

このように、自分たちの英語多読による経験に基づいて、読みもの作成の方針が模索された。そして、その方針は次のような点にまとめられている。(pp.33-35)

1. 数話を合冊にするのではなく、基本的には1話で1冊にする。
2. 題材は話の展開がはっきりしているものにする。
3. 挿絵を多く入れる。
4. 漢字は制限しないでルビをつける。

5. 基本的に縦書きにする。

本稿では、この方針で作られた作品群にどのような工夫がなされているか、実際の作品を参照し、作者らへのインタビューを交え、この方針よりさらに踏みこんで、日本語多読用読みものの LLL としての要素を考察してみたい。

3. レベル0~1の書き下ろし作品の工夫と意図

NPO 多言語多読が手掛けた多読用読みものうち、出版されたものはアスク出版の『レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫』の全 78 冊、大修館書店の『にほんご多読ボックス』の 55 冊、NPO 多言語多読自費出版の『にほんご多読ボックス』の全 9 冊である。

これらの読みものは、0 から 5 までのレベル別に分けられており、レベル 0~1 には書き下ろしの作品が多く、レベル 1~3 には昔話や童話の再話、そして、2~4 には国内外の有名な物語や名作小説の簡約が多いという傾向がある。このような傾向は、それぞれのレベルで使える語彙や文型の制限に由来する。特に、ごく初級のレベル 0 や 1 はこの制限が強く影響し、限られた語彙と文型では、複雑な物語を語るのは難しいため、意味のあるストーリーを語るには書き下ろしにせざるを得ないという事情がある。

本稿で注目するのは、このレベル 0~1 に多い書き下ろし作品である。たとえ初級用といえども、ただ絵カードに字があるだけのようなものでは LLL とは言えない。読者が楽しみ、何かしら心を動かす内容である必要がある。このため、使える語彙や文型が非常に限定されるレベル 0~1 には、よりはっきりと、LLL としての工夫がなされているはずである。

そこで、まず、レベル 0 とレベル 1 の書き下ろし作品に共通する目立った特長を指摘し、次に、このことについて、NPO 多言語多読で現在も日本語多読スタッフとして活躍中である栗野真紀子氏、松田緑氏、川本かず子氏の 3 人の証言を得た。証言はメールのやりとりで、または、読みもの作成の編集会議など NPO 多言語多読の活動の中での会話から断片的に収集したものである。ただし、引用した談話は、内容に影響を与えない程度に文体や表記を調整した。

3-1. シリーズものであること

レベル 0~1 の読みものにはシリーズものが多い。レベル 0 では「西町交番の良さん」のシリーズが 5 冊、「木村家の毎日」のシリーズが 6 冊、レベル 1 では、「ジョンさん」のシリーズが 3 冊ある。これらはどれも、同じ人物が登場し、1 話完結で物語が展開される。

このような形式にしたことについては、Oxford Reading Tree (以後 ORT) を参考にしたと 3 人は語る。ORT とは、英語多読の初期でよく読まれる児童向きの読みもので、出版元のサイトでは次のように説明されている。

※ イギリスの約 80%以上の小学校で採用されている「国語」の教科書。

※ かわいいキャラクター達が登場するユーモアあふれる「オチ」がある短いお話が 200 話以上あり、すべてネイティブの子供たちが使う自然な英語でつづられています。

レベル 0 の読みものを作るにあたって、ORT を参考にしたことは、栗野ほか(2012)にも、次のように述べられている。

そのころ、英語多読のほうでは、Oxford Reading Tree というすばらしい読みものが発掘されていました。Kipper, Biff, Chip のわんぱく 3 兄弟と愛犬 Floppy らの活躍するユーモアあふれるお話が 200 話以上あって、イギリスの子供たちが使う自然な英語で書かれています。(中略)

こんな読みものが日本語にもあったらいいなあと、これを手本にレベル 0 の制作が始まりました。(p.36)

また、栗野によると、シリーズものを構想した経緯は次のようなものである。

自分たちで英語多読の素材を読んだり、英語多読を体験してみて、ORT みたいにシリーズに出来るといいよね、ということが出てきました。特に ORT の真似というより、ORT に触発されたというか。サザエさん注) みたいに、とも言っていました。同じ登場人物で、最後にちょっとクスッと笑える物がいいねと考えました。

(引用者注:『サザエさん』は 1940 年代から 1960 年代にかけて新聞に連載された、ある一家の日常生活をコミカルに描いた 4 コマ漫画である。舞台化や映画化を経て、1969 年からはテレビアニメ化され、現在も放映が続いている。日本人にとっては馴染み深い。)

さらに、登場人物が毎回同じであるということは、人物の理解が深まり、読者の読みを助けると松田は述べる。

わたしが「多読」をつかまえた!と思ったのが『Elephant & Piggie』という絵本でした。

その時、初めて英語そのままストーリーを捉え、登場人物を生き生きと我が物として捉えたのです。

そして、読者が、その中の人物を捉えると、絵がストーリーを読んでいく助けになるように、登場人物のキャラクターが「読み」を助けることに気づきました。

Elephant なら、こう言っているはずだ。Piggie ならこうするはずだ、というふうに…です。

良さんなら、西町の誰かが何かを訴えたとき、「ちっ、うっせえな、今、忙しいんだよ」とは絶対に言わないですよ。

シリーズを通して読んでいる読者は、新しい本を読む前から登場人物の性格を把握している。そのことによって、人物の言動が予測できる。このことが、内容の理解を助けるということである。

これらのこと以外に、シリーズであるということは、学習者が次の本も読もうとする動機づけにもつながるだろう。

このように、レベル 0～1 の読みものでは、シリーズものにするだけで、読者の負担を減らし、楽しく読み続けられる工夫をしているのである。

3-2. 「オチ」があること

ORT は、先に引用した文にあるように「ユーモアあふれる『オチ』がある短いお話」と説明されているが、これを参考にした日本語多読の読みもの作成においても、「オチ」は必須とされたそうである。これも先に引用した栗野の言葉にあるように「最後にちょっとクスッと笑える物」をと、ストーリーは考えられているようだ。そのために「失敗談、おかしな結末をみんなで集めることになりました。」と栗野は述べる。

川本もまた、「落ちのある話ということで、思いついたのが、まず、山手線を一周半した私の経験でした。」と振り返っている。このエピソードはレベル1「ジョンさん」シリーズの『ジョンさんバスの中で』の素材にされている。また、「木村家の毎日」シリーズの『いつてきまず』には、ゴミ出しを担当する父親が、ゴミ袋と間違えて自分の通勤鞆をゴミ捨て場に捨てるシーンがあるが、これも、「ゴミを間違えて捨てたのは、私の失敗が元です。」とのことである。さらに、同シリーズの『一郎、学校へ』には、主人公の「一郎」が下校時に、学校の建物内で履くための上履きを脱いで靴に履き替えるのを忘れ、そのまま家に帰ってきちゃうエピソードがあるが、これについても、川本は『一郎、学校で』は、息子の失敗を元にしたことである。

同じレベルの「西町交番の良さん」も、3人の親類などをモデルにし、身近な人々の経験や失敗談をもとにストーリーをふくらませたそうである。

ただし、わかりにくい、ひねりのききすぎた「オチ」は排除している。松田は「もうひとひねりあった方がと思っても、予想通りにストーリーが進むことも大事かと思うので、そうした」と言う。

つまり、クスッと笑える「オチ」ではあるが、予想ができる範囲の「オチ」に収めているということである。ここでも、学習者が楽しめることと同時に、読みやすさについても配慮されていることがわかる。

3-3. 繰り返しや対比を活用すること

レベル 0～1 の作品中では、その単純な文を繰り返したり、対比させる手法がよく使われている。

例えば、「木村家の毎日」シリーズの『一郎、学校へ』では、次のような部分がある。

一郎は、友だちと遊びます。

京子は、友だちと話します。

一郎は、わかりません。

京子は、わかります。

一郎は、上手じゃありません。

京子は、上手です。

一郎は、速いです。

京子は、速くありません。

「一郎」は「木村家の毎日」シリーズの登場人物の1人で、本作品の主人公であり、「京子」はそのクラスメイトである。この作品では、単純な文で2人を対比させ、さらにそれを繰り返す。複雑な説明はなくても、挿絵と相まって、一郎と京子の対照的な性格がわかるようになっていく。

また、「西町交番の良さん」シリーズ『交番はどこ?』には、次のような部分がある。

おばあさんは言いました。

「右です」

おばあさんと良さんは右へ行きました。

おばあさんは言いました。

「左です」

おばあさんと良さんは左へ行きました。

「ここを上がります」

二人は、階段を上がりました。

「ここを下ります」

二人は、階段をおりました。

これは、主人公である若い警官の「良さん」が、荷物が重くて困っているお年寄りを助けて送って行く場面だが、初級学習者でも楽に理解できる簡単な文を繰り返し、対比させ、道徳のりが長く大変なことをうまく表現している。

このような繰り返しと対比の手法をどれくらい意図的に使ったかについて尋ねたところ、松田も川本も意図的だったと答えているが、栗野は、仕方なくこうなったところもあるとして、次のように述べる。

繰り返しや対比が効果的に使われている、とよく言われますが、そんなに意図的にしたわけではなく、まず、上で述べたトピック、筋立てを考えてから文字に起こしていく過程で、出てきてきたことです。前のページでこう言っているから、次もその形でこう言えば、わかりやすいよね、という感じで。むしろ、文型練習みたいになってしまうのは避けた（『一郎、学校で』にはそれがあるけど、ギリギリセーフだと思います）。もともと使える言葉が少ないから、繰り返しや対比になりやすいということもあるでしょう。

つまり、使える語彙や文型が少ないことから文が単純になりがちであるため、それを繰り返したり、対比させたりすることによって、なんとか表現を豊かにしているわけであるが、それは、「文型練習」のようになる危険と隣り合わせであるということだ。

また、繰り返しを用いることには、別の意図もある。「日本語のリズムもある程度意識していたから。」と栗野は言う。多読用の読みものは、「聞き読み」のために朗読をつける。このときに聞こえる日本語が耳に心地よいことは重要である。また、多読を行う学習者には、ぶつぶつ声に出して読む学習者も少なくない。この場合にも、リズムがあることは楽しさを増幅し、日本語を身につける上で良い効果を与えるだろう。

さらに、このように繰り返したり、対比させたりすることは、やはり、読者の読む負担を減少させる効果も期待できる。

3-4. 日本の文化紹介を取り入れること

多読用読みものを日本国外の日本語教師や学習者に紹介すると、読みものとして楽しめると同時に、日本文化に触れることができるという声が常に聞かれる。これは、例えば、どのような場面でどのような表現が使われるかというような言語使用に関する文化である場合もあるが、日本の生活文化のようなものである場合もある。

この後者の意味での「文化」について、3人は、作品には日本文化の紹介の要素も取り入れられているとしている。特にその点が顕著なものは「木村家の毎日」シリーズであるという。

このシリーズの作者の一人である川本は「木村家の毎日」を構想した過程を次のように振り返っている。

レベル0で何かシリーズものとなって、みんなで相談しながら、日本の日常生活、文化的背景が垣間見られるようなものにしたいということでした。

また、同じく作者である栗野も次のように述べる。

木村家のほうは、いろいろな場面が考えられる日本人の家庭の話にしようということで生まれ (ORT やサザエさんの)、できるだけ日本の家庭によくある、学習者が興味を持ちそうなトピックを取り上げることにしました。そこでもオチは必須で、『結婚式』『いただきます』『お正月』などは文化紹介が「主」ですが、最後に必ず小さいネタを入れてあります。

読書の楽しみは、物語を楽しむことだけではなく、知識を得る楽しみもある。しかし、知識を得ることは、楽しみになるだけではなく、読解力をも養成する。Day & Bamford (1998) は、読解には書かれているものの背景や話題に関する知識も必要であり、その知識もまた、読むことによって得られるとする (pp.18-19)。したがって、多読の読みものによって日本文化に触れることは、日本語を読むための背景知識を得ることになり、その後の日本語の読みを助けることにつながるということが出来る。

以上、レベル0～1の書き下ろし作品について共通する特長を指摘し、あわせて、作者らの意図を示した。これらの書き下ろし作品には、随所に読み手である学習者を助け、楽しませ、読む力を育むための、さまざまな工夫がなされていることがわかる。

4. 個別の作品に見られる工夫と意図

次に、レベル0～1の、個別の書き下ろし作品についても、作者の証言とともに、工夫されている点を検討する。ここでは、代表として、このレベルの書き下ろし作品を多数執筆している松田とその作品を特に取り上げたい。

4-1. 『タクシー』

『タクシー』は、タクシーの運転手が主人公の物語である。運転手は夜、交差点で、自転車が壊れたと言う女の子を乗せた。その子の家に着いたが、女の子はお金がないので家でもらってくるまで待ってほしいと言って、家に入った。ところが、待っていても家から出てこないで、運転手が家の人を呼び出してみると、その女の子は3日前に交差点での交通事故で亡くなった子だったとわかるという話である。

このストーリーは、日本人であれば、いつかどこかで聞いたことがあるようなストーリーである。松田には、『バス』、『船』と、乗り物をタイトルにした、このタイプのレベル1の作品が複数あるが、多かれ少なかれ、何かどこかで聞いたことがあるような筋立てである。これら3作について、松田は次のように語る。

怖い話が好きな方が多いので、ありふれた、どこかで聞いたような怖い話をともかく書いてみようと思いました。受け狙いです。ありふれた話の方がわかりやすいと思ったので、あまりひねらずに書きました。ただ、怖いだけだと嫌なので、タクシーもバスも船も、「愛の話」にしてあります。親子の愛、祖母と孫の愛、夫婦の愛、です。

「ありふれた」話だからこそ、あえて取り上げ、「ひねらずに」書いたのだということである。先にも、松田の「もうひとひねりあった方がと思っても、予想通りにストーリーが進むことも大事かと思うので、そうした」という言葉を引用したが、学習者の読みやすさのために、筋書きを複雑にしすぎない配慮がなされていることがわかる。

しかし、日本人にとってはありふれた話であっても、外国人にとっては必ずしもそうではない。また、松田が述べているように、怖い話でありながら、「愛の話」でもあるように書いてあるため、読者である学習者はこれらを読んで、心を動かされることが少なくない。これらの作品を読んだ学習者の多読記録には、「心が温かくなった」というような感想がよく書かれている。中には、これらの本の作者が同じ人物だと知り、「すごい作家だ」と称賛する学習者もいる。このような反応を見る限り、『タクシー』などの一連の作品は、LLLとして非常に成功した例だと言えるのではないだろうか。

さらに、『タクシー』については、もう一点、指摘しておきたいことがある。それは、この本の終盤、亡くなった女の子について語る母親のセリフで、次のような文があることである。

九時に電話がありました。
すぐ、病院へ行きました。
でも、あの子は、もう……。
その後、
あの子の体は、家に帰りました。
そして、今、魂も帰りました。
ありがとうございました。

この本では、この部分までは、レベル 1 らしく、難しい語彙はまったく使われていない。初級前半らしくない言葉といえば「交差点」「壊れる」「死ぬ」ぐらいである。しかし、ここで突然「魂」という上級学習者でも知らないような言葉が使われている。この言葉は旧日本語能力検定試験の出題基準では 1 級に相当するレベルの高さで、普通に考えれば、初級の教材に使うわけがない。そこで、筆者は、この言葉を選択したことについて、松田に「『タクシー』の『魂』という言葉を出すことについて、編集時に何か議論がありませんでしたか?」という質問をした。松田は次のように答えている。

とても悩んだことを覚えています。「心」は帰ったにしようか、でも、心だって、レベル 3 の語彙だし、「気持ち」にしたら、なんだかわからなくなってしまう。ここに入る語は「魂」しかない。と、思い切って使ったのです。話が陳腐なのが幸いして、学習者はこの意味を当てられるように思いました。

この松田の狙いは的中している。筆者自身、おおぜいの初級、中級の学習者がこの本を読むのを観察してきたが、「この『魂』とは何ですか」という質問をした学習者はいなかった。ストーリーの流れと、前の文で出た「体」との対比から、学習者は推測できるのである。ここではまた、先にあげた対比も重要な役割を果たしている。

このような、読者が知らない言葉が、文脈に乗ってすると学習者の頭や心に入ってしまうところも多読ならではの現象と言える。そして、そのような現象が起りがちであるということを知った上で、松田は「魂」を使っているのであるが、このような判断は非常に LLL らしいと言えるだろう。

4-2. 『ハチの話』

『ハチの話』は、忠犬ハチ公として知られる犬の生涯についての実話をもとにした読みものである。以前アメリカで映画化されたこともあって、この話を知る学習者は多い。また、日本在住の若い学習者の場合、若者の町、渋谷の駅前の銅像があることで、なんとなくそのエピソードを知っていたりする。前節で述べた怖い話などと同じく、これもまた、「ありふれた」話だと言うこともできる。

『ハチの話』を読みものの素材として取り上げた経緯は、栗野ほか(2012)で既に述べられている。先に引用した「2. 題材は話の展開がはっきりしているものにする。」という読みもの

作りの方針の説明によると、多読の題材には『『ハチの話』のように泣かせどころのはっきりしているものなども向いていると思いました(p.33)」とのことである。

では、この「泣かせどころ」は、作品の中で、どのように表現されているだろうか。

松田は、筆者の『『泣かせどころのはっきりしている』と書いていらっしやいますが、このことは実際に、作品の中ではどのような工夫に反映されているのでしょうか。』という質問に対して、次のように答えている。

「泣かせどころ」は、犬であるハチが先生の死を理解できずひたすら駅に通うところ
です。読者が、感情移入してくれることを目指しました。電車が来ます、先生は帰りま
せん、を繰り返し、報われない出迎えの長さを実感してもらうために、夏、秋、冬、春。
苦難を実感してもらうために、雨、雪、風を出しました。シンプルな文体でたたみかけ
たほうが、ハチに感情移入しやすいだろうとの工夫です。

松田が上で述べた部分は、次のように描かれた場面である。

電車が来ます。
先生は帰りません。
また、電車が来ます。
先生は帰りません。

夏が来ます。
秋が来ます。
冬がきます。
そして、春が来ます。

雨が降ります。
雪が降ります。
風が吹きます。

これもまた、繰り返しと対比を用い、長い時間とハチの苦難を効果的に表現している。この文なら、たとえ初級の学習者であっても、「先生」が亡くなったことを知らないハチが、毎日、何年も渋谷駅で待ち続ける様子を想像し、胸をつまらせるだろう。そして、感動とともに、言葉が読者の頭や心に入って行くのである。

5. おわりに

以上、NPO 多言語多読が出版した多読用読みもののうち、レベル 0~1 の書き下ろし作品について、作者らの証言を引用しながら、LLL としての工夫や意図を記述し、考察した。

レベル 0~1 の書き下ろし作品では、栗野ほか(2012)で作成の方針としてあげた以外に、シリーズものであること、「オチ」があること、繰り返しや対比を活用すること、日本文化の

紹介を取り入れることなどの特長があり, 読者である学習者が楽に, 楽しんで読めるように, LLL としての工夫が凝らされていることを示した。

また, 個別に作品を見ても, それぞれに題材の選定, 言葉の用い方で, 読者の心を動かし, 言葉が自然に身に付いていくようにする工夫があることを明らかにした。

もちろん, これらの要素さえ満たせば, 魅力的な日本語の LLL が書けるというわけではない。読者の心に訴える作品づくりは, マニュアル通りに作れるものではなく, 言語化できないような要素もあるだろう。最終的には作者の才能, センスが重要である。

なお, LLL は, 本稿で取り上げたような書き下ろしの作品だけではなく, よく知られた昔話の再話や, 名作小説の簡約によって書かれたもの, 詳細な裏付けの調査をもとにしたドキュメンタリーもある。このような作品の作成には, 書き下ろしと同じ手法が用いられることもあれば, それぞれのジャンルならではの工夫があるだろう。これらの分野の記述と考察については, また稿を改めて述べたい。

謝辞

本稿の執筆にあたり, NPO 多言語多読理事長・栗野真紀子氏, 同理事・川本かず子氏, 松田緑氏には, インタビューに答えるなど多大なご協力をいただきました。深く感謝いたします。

参考文献

- 栗野真紀子, 川本かず子, 松田緑(2012)『日本語教師のための多読授業入門』, アスク出版
- Day, R., & Bamford, J. (1998). *Extensive Reading in the Second Language Classroom*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 国際交流基金, 国際教育支援協会(1994)『日本語能力試験出題基準 (改訂版)』, 凡人社
- NPO 法人日本語多読研究会(2009)『多読のすすめ』
<https://tadoku.org/japanese/wp-content/uploads/tadoku-no-susume-2009-B5.pdf> (最終閲覧 2020 年 10 月 14 日)
- Oxford University Press 「オックスフォード・リーディング・ツリー」
<https://www.oupjapan.co.jp/ja/gradedreaders/ort/index.shtml> (最終閲覧 2020 年 10 月 14 日)
- Reynolds, B, 原田照子, 山形美保子, 宮崎妙子(2003)「日本語版グレイディッド・リーダー 開発に関する基礎的研究」『小出記念日本語教育研究会論文集』11, pp.23-40, 小出記念日本語教育研究会
- 高橋亘(2016)「日本語多読研究に向けた基礎研究—多読活動の類型化の試み—」『言語・地域文化研究』22, pp.369-386, 東京外国語大学大学院総合国際学研究科
- 本論で調査, 検討した多読用読みもの**
- 栗野真紀子(2009)『木村家の毎日「いただきます」』レベル別日本語多読ライブラリー にはほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.1 アスク出版
- 栗野真紀子(2010)『木村家の毎日「お正月」』レベル別日本語多読ライブラリー にはほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.2 アスク出版

- 川本かず子(2006)『ジョンさん日本へ』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル1 Vol.1 アスク出版
- 川本かず子(2007)『ジョンさんバスの中で』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル1 Vol.2 アスク出版
- 川本かず子(2008)『ジョンさんの夏休み』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル1 Vol.3 アスク出版
- 川本かず子(2009)『木村家の毎日「いってきます」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.1 アスク出版
- 川本かず子(2009)『木村家の毎日「一郎, 学校で」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.1 アスク出版
- 川本かず子(2010)『木村家の毎日「ただいま」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.2 アスク出版
- 川本かず子(2014)『木村家の毎日「結婚式」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.3 アスク出版
- 松田緑(2006)『ハチの話』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル1 Vol.1 アスク出版
- 松田緑(2007)『タクシー』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル1 Vol.2 アスク出版
- 松田緑(2008)『バス』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル1 Vol.3 アスク出版
- 松田緑(2009)『西町交番の良さん「交番はどこ？」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.1 アスク出版
- 松田緑(2010)『西町交番の良さん「にわにわに」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.2 アスク出版
- 松田緑(2010)『西町交番の良さん「助けて！」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.2 アスク出版
- 松田緑(2014)『西町交番の良さん「良さんのクリスマス」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.3 アスク出版
- 松田緑(2014)『西町交番の良さん「落とし物がいっぱい」』レベル別日本語多読ライブラリー にほんご よむよむ文庫 レベル0 Vol.3 アスク出版
- 松田緑 (2016)『船』にほんご多読ボックス vol.1 大修館書店

**Материалы для экстенсивного чтения в качестве учебной литературы
для изучающих японский язык
- Оригинальность материалов для чтения на начальном уровне
изучения языка и цели авторов -**

Нанаэ САКУТА

(университет Цуда Токио,

некоммерческая организация Tagengotadoku)

Абстракт

Материалы для экстенсивного чтения - это не просто несложные тексты. Они должны быть завершенными рассказами. Несмотря на то, что метод экстенсивного чтения на японском языке распространяется во всем мире, его исследование и совершенствование еще продолжается. В данной статье рассматриваются недавно выпущенные материалы начального уровня для экстенсивного чтения на японском языке, описываются идеи, используемые при их создании, и анализируются цели авторов. Автор статьи также сообщает, что, кроме описанных в статье основных идей метода, существуют и различные другие идеи для обеспечения приятного чтения и поддержки читателей, например, написание серий книг и наделение их некоей «изюминкой».

Ключевые слова: экстенсивное чтение на японском языке, разработка учебных материалов, чтение

研究論文

YDK: 811.521

孤立環境キルギスにおける日本語学習／教育の意味づけ ー現地教師のビリーフ調査からー

山口 紀子（お茶の水女子大学大学院生）

要約

本稿では、孤立環境において日本語学習／教育の意義が見失われやすいという先行研究の指摘に対し、教師のビリーフ調査を行い、日本語学習／教育の意味づけを明らかにすることを試みた。調査協力者の 52%が「大きな意味がある」と答え、インタビュー・データから《学習者にとっての意味》《国にとっての意味》《教師自身にとっての意味》の3つのカテゴリーが抽出された。《学習者にとっての意味》には〈非実利性による学習の意義の喪失〉も含まれており、教師が他の教師や学習者と多様な意味づけを共有し意味づけの再構築をする必要があることが示唆された。

キーワード：教師ビリーフ、質的研究、半構造化インタビュー、KJ法

1. 問題の所在

中央アジアに位置するキルギス共和国では、1991年のソ連からの独立後に外国語教育が急速に普及した。同じ年に日本語教育も開始され、現在は地方都市を含む19の機関で1,600人ほどが日本語を学んでいる（国際交流基金, 2018）。しかし、日本語学習者が教室外で日本語場面に接触する機会は多くない。目標言語との接触機会が外国語学習の動機づけに影響を与えることはこれまで多くの研究者が指摘してきた。中央アジアのウズベキスタンにおける福島・イヴァノヴァ（2006）の調査では、日本や日本文化・日本語との接触機会が少ない「孤立環境1」では「学習者も教師も何のために・なぜ日本語を学ぶのか」という根本的な問いにぶつかる」と報告された。

キルギスも日本語孤立環境にある。表1に示すように、日本語学習者数に比して、在留邦人や日本からの観光客が少なく、日系企業も数社しかない。

表1. キルギスの日本語教育環²

教育機関数	教師数	学習者数	在留邦人数	日系企業数	邦人渡航者数
19	47	1,606	140	8	2,675

このような環境では、せっかく学んだ日本語を仕事に生かす場がないことがたびたび問題視されてきた（入山, 2010; ヴォロビヨワ, 2013）。入山（2010）は、日本語がいかせる就職先が皆無に等しいキルギス共和国で日本語教育を行う意義はあるのだろうかと思い悩んだ経

験を述懐している。

一方、山口 (2017) がキルギスの日本語学習者 112 人を対象に実施した学習動機づけの質問紙調査結果では、就職や留学などの実利的な動機だけでなく、日本語や日本への関心、自己肯定や自己向上志向、交流や挑戦、趣味・娯楽など多様な学習動機を複合的に保持していることが示されている。

では、なぜ孤立環境にある教師は、「何のために・なぜ」と日本語教育の意義に迷いを感じるのだろうか。日本語学習／教育に対して、学習者とは異なる意味づけを与えていることが推察される。そこで教師の立場から日本語学習／教育をどう意味づけているのかを調査することが、この問題の解決の一助となると考える。

2. 先行研究

2.1 意味および意味づけの定義

Park (2010) は意味づけに関するレビューをし、意味の定義を「包括的な意味」と「状況的な意味」に分類した。「包括的な意味」とは個人の一般的な志向、すなわちビリーフ・目標・主観などからなるもので、「状況的な意味」は特定の文脈での体験・認知や感情からなるものと説明している。そして意味づけは、「意味を作り出すプロセスまたはその産物」と定義している。

本研究は、孤立環境において教師個人のもつ日本語学習／教育の意味を明らかにするため、教師ビリーフに焦点を当て、調査・分析する。

2.2 教師のビリーフに関する先行研究

言語学習におけるビリーフ研究では、Horwitz (1985, 1987, 1988) の開発した BALLI (Beliefs About Language Learning Inventory) 質問紙を用いた外国語学習者対象の調査が多く行われてきた。BALLI の質問項目は、「外国語学習適正」「外国語学習困難」「外国語学習の特性」「学習とコミュニケーションのストラテジー」そして「動機づけと期待」の 5 つのカテゴリーから成る。そしてこれらに修正・追記を加えた質問紙がその後教師のビリーフ調査にも用いられるようになった。

教師のビリーフや価値観は教師の意思決定や行動の背景であり (Richards & Lockhart, 1994), ビリーフ調査によって教師が自身や他者の学習観やビリーフに気づきを得ることがその後の教室活動に生きる (Horwitz, 1985) ことが示唆されている。

日本語教育の分野では久保田 (2017) が 59 か国 600 名以上の非母語話者教師を対象にした大規模調査を実施している。そこでは非母語話者日本語教師のビリーフに、言語の正確な産出をめざす「正確さ志向」と、ことばの背景にある文化と楽しさを重視する「豊かさ志向」が見られたことが報告されたが、「特に地域による差が顕著である」ことが指摘されている。

日本語孤立環境では、福島・イヴァノヴァ (2006) が「教師の役割」と「学習者の役割」に関して学習者と教師のビリーフを調査している。それによると学習者と教師のビリーフにはずれが生じていた。

質的なアプローチでのビリーフ研究も行われている。久保田 (2019) は中央アジア出身の日本語非母語話者教師 1 名に対してインタビューによる調査を 5 年間行い、ビリーフが縦断

的に変化していくことと教師としての成長を報告している。

しかし、孤立環境の日本語教師のビリーフについての検討は上記以外に管見の限りなく、日本語学習や教育の意味について問うた研究はさらさない。

3. 研究目的及び調査方法

3.1. 研究目的と研究課題

本研究は、孤立環境の日本語教師が現地で抱える問題と、日本語学習／教育への意味づけを明らかにすることを目的とし、以下の項目を検討した。

課題1：教師はキルギスの日本語学習／教育にどのような悩みを抱えているか。

課題2：教師はキルギスの日本語学習／教育にどのような意味づけをしているか。

課題3：教師はキルギスの日本語学習者にどのような未来を期待しているか。

3-2. 調査方法

記述式質問紙とインタビュー調査により、質的アプローチで教師のビリーフを明らかにしようと試みた。2017年8月25日、「第1回キルギス共和国日本・日本語教育国際研究大会」に出席した教師32人に対し日本語による記述式質問紙調査を実施した。質問項目は「教職選択動機」「悩み」「受け持ちの学習者の日本語学習動機」「日本語学習/教育の意味」「日本語学習者への期待」等9項目である。その後、回答者のうち後日の面談が可能であった21人に対し、回答内容に関する半構造化インタビューを行った。調査協力者の内訳を表2に示す。

表2. 調査協力者

主所属機関	生涯学習機関		大学		初・中・高	
	NNT	NT	NNT	NT	NNT	NT
国籍						
質問紙回答 (インタビュー協力者)	4 (3)	4 (1)	16 (12)	2 (1)	5 (3)	1 (1)

NNT...ノンネイティブ教師 NT...ネイティブ教師

インタビュー時間は1人あたり20-30分程度である。なお、質問及び回答の使用言語は協力者の希望に応じて日本語またはロシア語を選択した。インタビューへの回答を日本語に翻訳して文字化し、内容ごとに切り分け、KJ法(川喜多, 1967)を援用しカテゴリー化してコードを付した。なお、協力者のうち一部のネイティブ教師は、国際機関やNPOなどからの派遣教師であり、教育の意味づけも派遣元の要請により異なると考えられるため、今回の分析対象には含めないこととした。

4. 結果

4.1 教師はどのような悩みを抱えているか

まず、実際に教師がどのような問題を抱えているのかを知るため、「教師としてどんな悩みがあるか」を質問した。その回答を分析した結果を表3に示す。言及の多かった順に〈自

身の教授能力や日本語力の自信のなさ〈学生のモチベーション低減〉〈自己の資質への不安〉〈教師の待遇の悪さ〉〈人間関係の悩み〉の5カテゴリーが抽出された。ノンネイティブの教師が自身の教授上・教室運営上のスキルについての悩みを抱えて働いていることがわかる。また、〈待遇の悪さ〉や〈学習者のモチベーションの低減〉は孤立環境でなくても起こりうる問題ではあるが、孤立環境における日本語の実利性の低さが間接的に関与している可能性もまた考えられる。ただし、ここでは先行研究で指摘されてきた「何のために・なぜ」という、日本語学習/教育の意義そのものへの懐疑は抽出されなかった。

表3. 教師の悩み

〈悩みのカテゴリー〉 (件数)	具体的な語り (所属機関)
〈自身の教授能力や日本語力の自信のなさ〉 (10)	日本人じゃないので、知らないこともたくさんある。知った後でもどう教えたらいいかわからなかったり。(大学) 出産後に主婦をしていて日本語を勉強する時間がなくて忘れてしまった。(生涯学習機関)
〈学習者のモチベーション低減〉 (7)	学生は一年生のときがんばっていても学年があがるとやる気を失っていく。(大学) 学生が授業に来ない。特に優秀な学生がやる気を見せないと癪にさわる。(大学)
〈自身の資質への不安〉 (3)	勉強したくない学生をみて、多分私が悪いかな、どうして先生になったかなって。(大学) 自分はおとなしい性格なので、俳優みたいに感情豊かな授業をできないと思った。(生涯学習機関)
〈教師への待遇の悪さ〉 (3)	キルギスで日本語教師をやることはボランティアをやっているみたい。やりたいからやっていると思われる。(初中高) キルギスでは教師の価値はあまり尊敬されていない。(生涯学習機関)
〈人間関係の悩み〉 (2)	同僚とうまくいかないときがある。(大学) 必ず一つのクラスに1人か二人やっかいな学生がいる。(初中高)

4.2. 教師は日本語学習/教育にどのような意味づけをしているか

「キルギスでの日本語学習/教育にどんな意味があると思うか」という質問に、協力者の52%が「大きな意味がある」と答えている。インタビュー・データを分析したところ、10カテゴリーが抽出され、それらはさらに《学習者にとっての意味》《国にとっての意味》《教師自身にとっての意味》の中カテゴリーに分類された。分析の結果を表4に示す。《学習者にとっての意味》には〈就職・留学の機会の獲得〉〈知的・精神的成長〉〈日本的価値観の獲得による自己向上〉〈新しい可能性の開拓〉〈知的欲求の満足〉〈アイデンティティの確立〉という小カテゴリーが含まれるが、それに加え、学んだ日本語が仕事や留学に生かせないという理由で〈非実利性による学習の意義の喪失〉も抽出された。次に《国にとっての意味》として〈キルギスの発展への寄与〉〈二国間関係の構築・強化〉が、また《教師自身にとっての意味》として〈教師の存在の重要性〉が抽出された。この結果から、教師たちはキルギスでの日本語学習/教育について多様で積極的な意味づけを行っているが、先行研究で指摘されたように、孤立環境ならではの实利性の低さから、教育の意義の喪失という問題も抱えていることが明

らかとなった。

表 4. 日本語学習／教育の意味づけ

	〈意味のカテゴリー〉(件数)	具体的な語り(所属機関)
《学習者にとっての意味》	〈就職・留学の機会の獲得〉(10)	時々日本語を使って就職する人も現れて、そんな時やっぱり意味があったと思います。(生涯学習機関) 頑張れば、日本の大学で勉強できるし、日本に住んで、いい経験になると思う。(初中高)
	〈知的・精神的成長〉(9)	日本語のおかげで人をちゃんとすることができると思う。日本語がその人の人生を変えようと思う。(大学) いろんなことを知ると偏見など乗り越えられると思う。(大学)
	〈日本的価値観の獲得による自己向上〉(5)	日本語を勉強する学生の性格が変わる。もっとまじめになる。すぐじゃなくて、でもだんだん日本人のように。(初中高) ものの見方とか考え方とか日本の影響を受けてくる。日本化しているとよく言われる。人や自然への親切さなど、成長してくる。(大学)
	〈新しい可能性の開拓〉(5)	グループ活動などを通して他人とコミュニケーションとれるようになったとか、生活観が変わったと言う人もいる。(生涯学習機関) 日本語を知っていることは不利にはならない。日本語で他の国の人と話したり、いろいろな可能性があると思う。(大学)
	〈知的欲求の満足〉(4)	言語を知っていると言うことで達成感を感じることができる。(大学) 日本語はとても難しい、でも同時にとても興味深い言語だと思う。(大学)
	〈アイデンティティの確立〉(3)	日本語を通じて自分自身のことをわかるようになると思う。そういうところで大事だと思う。(大学) 人生で大切なものとして残るかなと思う。(大学)
	〈非実利性による意義の喪失〉(3)	日本にいけなくても日本語が好きで続けたいという学生もいるけれど、それはやっぱり意味がないと思う。(大学) 学生に日本語を学ぶ意味を聞かれても答えられない。仕事に活かさないならどういう意味があるのかわからない。(大学)
	《国にとっての意味》	〈キルギスの発展への寄与〉(9)
〈二国間関係の構築・強化〉(7)		日本とキルギスを結び付ける橋の一つ、それは私たちの生徒たちです。(初中高) 二国間の緊密な協力に非常に重要。(大学)

《教師にとっての意味》	〈教師の存在の重要性〉(4)	学生に日本語を教えて、その人の夢をかなえる貢献をした、という意味で大きな意義があると思う。(大学) 教え方によって、どれくらいの私たちの学生が言語を習得できるかがう。(生涯学習機関) 日本語は人気があるので、日本語の教師の必要性はある。(初中高)
-------------	----------------	---

4.3 教師は学習者にどのような未来を期待しているか

BALLIには外国語の学習ストラテジーや習得に関するビリーフの他に、「動機づけと期待」の категорияが設けられている。本研究でも、教師の期待が日本語学習／教育の意味づけに影響を与えると考え、「学習者に期待する未来はどんなものか」という問いを設定した。分析の結果、〈留学など訪日機会の獲得〉〈就業機会の獲得〉〈日本的価値観の獲得による自己向上〉〈開かれた世界観の獲得〉〈キルギスの発展への貢献〉の5カテゴリーが抽出された(表5)。この結果から、やはり孤立環境では実現困難な「留学や就職などの実利的な期待」が高いことが明らかになり、その期待が実現する可能性の低いことが、当地での日本語学習／教育の意義の喪失観につながっていく可能性が示唆された。

表5. 学習者に期待する未来

期待のカテゴリー(件数)	具体的な語り(所属機関)
〈留学など訪日機会の獲得〉(10)	いつか日本にいけることを忘れないでほしい。一生懸命勉強して夢を叶えて日本へ行ったら、教師として幸せです。(大学) 頑張れば留学できるといつも言っています。(初中高)
〈就業機会の獲得〉(6)	どうしても日本や日本語に関係のある仕事・勉強をすることが大切だと思います。(生涯学習機関) 日本語に関係のある仕事に就職してもらいたい。(大学)
〈日本的価値観の獲得による自己向上〉(4)	日本語を始める前の自分とその後の自分と比較しながら、大事に思って生活するのは大事だと思います。(大学) もっと深く日本の文化やメンタリティなどいいことを見つけていってほしい。(生涯学習機関)
〈開かれた世界観の獲得〉(3)	世界は大きいから、自分の立場をみつけて自分にふさわしいことをしてほしい。(大学) 人間としていろいろなことを考えるようになったらいいことだと思う。一つの考えだけじゃなくて。(大学)
〈キルギスの発展への貢献〉(9)	日本語や日本で習ったことをキルギスで利用して、キルギスを発展させてほしい。(生涯学習機関) 何かをキルギスのために貢献する活動をしてほしい。(大学)

5. 考察

以上の結果を統合すると、孤立環境キルギスの教師は、現地での日本語学習／教育について

て、①学習者にとっての実利的な意味、②母国にとっての実利的な意味、を中心的に意味づけており、実利的な目的の実現への期待と現実が、悩みに結びついていることが示唆された。

山口 (2017) では、キルギスの日本語学習者が実利的な動機に限らず多様な学習動機を複合的に保持していることが示されているが、それと比較すると、やはり学習者と教師の日本語学習／教育の意味づけには、ずれが生じていることが浮き彫りになった。

一方、久保田 (2017) で非母語話者教師ビリーフの二大因子の一つとされる「豊かさ因子」は、日本語学習を通じて文化を学びコミュニケーションなどを楽しむものであるが、キルギスの教師を対象とした今回の調査では、〈日本的価値観の獲得による自己向上〉〈新しい可能性の開拓〉〈知的欲求の満足〉〈アイデンティティの確立〉がこれに該当する概念であろう。

一人の教師が、実利的な意味づけのみに捉われることなく、日本語学習／教育の多様な意味づけに気づくことが必要であろう。それにより、孤立環境でも日本語学習／教育の意義を喪失せずにすむのではないかと考える。教師は、自分以外の教師や学習者が考える日本語学習／教育の意味づけにも注意を払い、自身の意味づけを再考すべきであるといえる。教師自身が日本語教育の価値を再評価し、複合的な意味づけを認めることが、孤立環境での日本語学習／教育を支援・促進するものと考えられる。

注釈

1. 福島・イヴァノヴァ (2006) は日本語学習者数／在留邦人数で産出された数値を孤立指数と定義し、指数の大きい国を「孤立環境」と呼んだ。これに加え大西 (2014) は「学習者数が多く、在留邦人も多い国」や「日系企業の多い国」は孤立環境とは言えない、として邦人渡航者数や日系企業数も孤立環境の条件に加えている。本稿では大西の定義に依った。
2. 国際交流基金 (2018), 外務省 (2019, 2020), 日本旅行業協会 (2016) より筆者が作成。これらのデータは 2021 年 2 月 16 日現在更新されていない。

謝辞

本研究は、「お茶の水女子大学アフガニスタン・開発途上国女子教育支援事業野々山基金」の研究助成金を受け実施した。また、質問紙及びインタビュー調査に協力いただいたキルギス共和国日本語教師会の会員教師の皆様から心からの感謝を申し上げる。

参考文献

- 入山美保 (2010) 「キルギスにおける日本語教育の現状と課題」『筑波応用言語学研究』17, 85-98.
- ヴォロビヨワ・ガリーナ (2013) 「キルギスの日本語教育事情」『世界の日本研究 2013 日本研究の新しい動向』17, 59-67.
- 大西由美 (2014) 「日本語学習者の動機づけに関する縦断的研究ー日本語接触機会が少ない環境の学習者を対象にー」北海道大学大学院国際広報メディア観光学院博士論文
- 外務省 (2019) 「海外進出日系企業拠点数調査」

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 19-27
山口 紀子,
孤立環境キルギスにおける日本語学習／教育の意味づけ
ー現地教師のビリーフ調査からー

- https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page22_003410.html (2021年2月16日)
外務省 (2020) 「海外在留邦人数調査統計」
- <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/index.html> (2021年2月16日)
川喜田二郎 (1967) 『発想法』 中公文庫
- 久保田美子 (2017) 「ノンネイティブ日本語教師のビリーフと学習経験ー2004・2005年度と2014・2015年度の量的調査結果の比較ー」『国際交流基金日本語教育紀要』(13), 7-22.
- 久保田美子 (2019) 「非母語話者日本語教師のビリーフの変化と成長過程ー縦断的インタビュー調査の結果からー」『日本語教育』(172), 73-87.
- 国際交流基金 (2018) 『海外の日本語教育の現状ー2018年度日本語教育機関調査よりー』
- <https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/result/survey18.html> (2021年2月16日)
- 日本旅行業協会 (2016) 『数字が語る旅行業 2016』
- https://www.jata-net.or.jp/data/stats/2016/pdf/2016_sujryoko.pdf (2021年1月30日)
- 福島青史, イヴァノヴァ・マリーナ (2006) 「孤立環境における日本語教育の社会文脈化の試みーウズベキスタン日本人材開発センターを例としてー」『国際交流基金紀要』(2), 49-64.
- 山口紀子 (2017) 「キルギスにおける日本語学習者の学習動機づけに関する量的研究ー学習動機・継続意志とその影響要因に注目してー」『第1回キルギス日本学・日本語教育国際研究大会予稿集』 29-32.
- Horwitz Elaine K. (1985). Using Student Beliefs About Language Learning and Teaching in the Foreign Language Methods Course. *Foreign Language Annals*, 18(4), 333-340.
- Horwitz Elaine K. (1987). Surveying Students Beliefs About Language Learning. In Anita Wenden & Joan Rubin (eds.), *Learner Strategies in Language Learning*, London: Prentice Hall International, 119-129.
- Horwitz Elaine K. (1988). The beliefs about language learning of beginning university foreign language students. *The modern language journal*, 72(3), 283-294.
- Park, C. L. (2010). Making sense of the meaning literature:
An integrative review of meaning making and its effects on adjustment to stressful life events.
Psychological Bulletin, 136, 257-301.
- Richards, J. C. & Lockhart, C. (1994). *Reflective teaching in second language classrooms*. Cambridge University Press.

**Значение изучения и преподавания японского языка
в изолированной среде Киргизии
– на основе исследования убеждений местных преподавателей –**

Норико ЯМАГУТИ
(аспирантка Женского университета Отяномидзу)

Абстракт

В данной статье автор в ответ на указания предшествующих исследований о возможности потери смысла изучения и преподавания японского языка в изолированной среде предпринимает попытку выяснить значение изучения и преподавания японского языка, проведя исследование убеждений местных преподавателей. 52% респондентов ответили: «Имеет большое значение». Данные, полученные при собеседовании, были разделены на 3 категории: «значение для учащихся», «значение для страны» и «значение для преподавателя». В ответах категории «значение для учащихся» наблюдались и такие: «потеря смысла изучения из-за отсутствия возможности практического применения знаний». Был сделан вывод, что преподавателям необходимо совместно с коллегами и учащимися выработать пути использования знаний для восстановления значения изучения и преподавания.

Ключевые слова: убеждение преподавателя, качественное исследование, метод КJ,
полуструктурированное собеседование

НАУЧНАЯ СТАТЬЯ

УДК: 37.012:811.512

О создании и значении Таблицы элементов японских иероглифов

Виктор Воробьев (в прошлом Кыргызский национальный университет),
Галина Воробьева (в прошлом Бишкекский государственный университет)

Абстракт

Цель исследования - способствовать пониманию учащимися соотношения значения иероглифа и его составных частей, умению составлять и использовать мнемонические ассоциации для запоминания значений иероглифов. Авторы создали таблицу элементов, из которых можно сконструировать любой из 2136 общеупотребительных японских иероглифов официального перечня *Jyo:yo:kanji*. Для этого были произведены структурная декомпозиция иероглифов *Jyo:yo:kanji* и классификация их элементов. По аналогии с Периодической таблицей химических элементов Д. И. Менделеева, из которых можно создать любое вещество на Земле, авторы создали Таблицу элементов иероглифов, из которых можно сформировать любой из 2136 иероглифов *Jyo:yo:kanji*.

Ключевые слова: японские иероглифы, таблица элементов, радикал, графема, структурная декомпозиция

1. Введение

Для успешного усвоения знаний в любой области требуется запоминание определенной информации. Например, алфавит, таблицу умножения, стихи и тексты, теоремы и их доказательства, слова и грамматические правила иностранного языка и т.п. При этом чаще всего используется механическое запоминание методом многократного повторения. Для запоминания больших объемов информации требуется исключительная память или длительный период времени. Например, для запоминания около 2000 иероглифов японским школьникам требуется 9 лет. Изучающим японский язык в странах с неиероглифической письменностью, обладающим обычной памятью и имеющим ограниченный ресурс времени, необходима поддержка для эффективного запоминания иероглифов.

Специалистам в разных областях знания было бы полезно использовать в своей деятельности информацию, опубликованную на японском языке. Однако многим из них начать изучение японского языка мешает представление, что практическому использованию языка должно предшествовать длительное изучение иероглифов и

для этого нужна необыкновенная память. По аналогии с Периодической таблицей химических элементов Д. И. Менделеева, из которых можно создать любое вещество на Земле, авторы поставили задачу создать Таблицу элементов иероглифов, из которых можно сформировать любой иероглиф официального перечня 2136 общеупотребительных японских иероглифов *Jyo:yo:kanji*, с целью улучшения понимания структуры иероглифов, применения метода мнемонических ассоциаций для их запоминания и преодоления психологического барьера перед их изучением.

2. Используемые термины

Иероглифы – это идеографические знаки, и в отличие от фонетических знаков латиницы или кириллицы иероглифы имеют не только чтения, но и значения. Есть простые и составные иероглифы. Составные иероглифы состоят из более мелких частей, также имеющих значение. Минимальную семантическую часть иероглифа будем называть *элементом*. Элементы делятся на 2 типа: общепринятые стандартизированные 214 *ключевых элементов (ключей, или радикалов)* <<https://www.unicode.org/versions/IICoreRSIndex.pdf>> и нестандартизированные элементы, которые здесь будем называть *графемами* в соответствии с терминологией *стандарта универсальной кодировки символов Unicode* [21]:

«Grapheme. (1) A minimally distinctive unit of writing in the context of a particular writing system. For example, ⟨b⟩ and ⟨d⟩ are distinct graphemes in English writing systems because there exist distinct words like big and dig. Conversely, a lowercase italiform letter a and a lowercase Roman letter a are not distinct graphemes because no word is distinguished on the basis of these two different forms. (2) What a user thinks of as a character.»
(Графема. (1) Минимально отличительная единица письменности в контексте конкретной системы письменности. Например, ⟨b⟩ и ⟨d⟩ - это разные графемы в системе письменности английского языка, потому что существуют разные слова, такие как big и dig. И наоборот, прописная и строчная латинские буквы «a» не являются отдельными графемами, потому что не существует слов, различающихся на основе этих двух разных форм. (2) То, что пользователь считает знаком.)

О роли радикалов при изучении и использовании иероглифов писал Nelson в слове [7:1247]. «By all means familiarize yourself with the 214 historic radicals as given inside the front cover so that you can always recognize a radical when you see one. And if you wish to quadruple your speed in dictionary work, memorize their numbers.» (Обязательно ознакомьтесь с 214 историческими радикалами, указанными на обложке, чтобы вы всегда могли распознать радикал, когда видите его. И если хотите в четыре раза увеличить скорость работы со словарем, запомните их номера.)

Черта иероглифа – это его минимальный графический элемент, который пишется одним прикосновением к бумаге кисти, карандаша или ручки.

Jyo:yo:kanji – официальный перечень 2136 общеупотребительных японских

иероглифов.

3. Обзор предшествующих исследований

Проблемы изучения иероглифов учащимися из стран с неиероглифической письменностью изложены в работах авторов данной статьи [12], [18] и других. Далее приводится перечень проблем.

① *Проблемы, присущие самим иероглифам*

- (1) Большое количество иероглифов, подлежащих изучению;
- (2) Большое количество слов, включающих каждый изучаемый иероглиф;
- (3) Сложная форма иероглифов;
- (4) Большое количество видов структурных элементов, составляющих иероглифы;
- (5) Необходимость запоминания большого количества информации о каждом иероглифе (форма, значения, чтения, порядок написания черт, ключ, словарный запас и др.);
- (6) Неочевидность связи формы, значений и чтений иероглифов;
- (7) Неоднозначность информации о чтениях иероглифов. У одного иероглифа может быть несколько чтений "он" (китайских) и "кун" (японских);

② *Проблемы преподавания иероглифов*

- (8) Несистемный метод обучения, часто основанный на механическом запоминании;
- (9) Нерациональность порядка преподавания иероглифов;
- (10) Недостаточное время на занятиях на обучение иероглифам;
- (11) Недостаточное использование информационно-коммуникационных технологий при обучении иероглифам.

③ *Проблемы восприятия иероглифов учащимися*

- (12) Непонимание системы иероглифической письменности;
- (13) Незнание методов самостоятельного изучения иероглифов;
- (14) Незнание стратегий изучения иероглифов;
- (15) Трудности сохранения иероглифов в долговременной памяти и их воспроизведения;
- (16) Трудности поиска иероглифов в словаре.

Ken Lunde [6:786] писал о структуре идеографических знаков: «Ideographs are composed of radicals and radical-like elements, which can be thought of as building blocks of sorts» (Идеографы состоят из радикалов и подобных им элементов, о которых можно думать, как о строительных блоках.) Были неоднократные попытки создать систему элементов, из которых можно сформировать определенное множество

иероглифов. Типы и количество элементов у разных авторов различны. Анализ таких систем приводится в работе Галины Воробьевой [12:50]. Разные авторы называют элементы иероглифов по-разному: Christopher Seely и Kenneth G. Henshall – radicals [8], J. W. Heisig – primitives [4], Alex Adler – primitive components [1], Andrew Conning – graphemes [3], 山田ボヒネック頼子 - 分子 (молекулы) [20], [23] и др.

О структурной декомпозиции иероглифов и системе их элементов говорится в трудах авторов данной статьи [12], [13], [14], [15], [16], [17], [18] и др. В данной статье авторы развивают ранее выдвинутые идеи.

3. Сравнение фонетической и иероглифической письменности

Noam Chomsky [2:15] высказал по поводу различия языков следующее мнение: «It may look on the surface as if languages are radically different from one another, but that is because you don't know the principles. When you discover the principles, you see that they are really quite the same and differences among them are quite superficial. » (На первый взгляд может показаться, что языки радикально отличаются друг от друга, но это потому, что вы не знаете принципов. Когда вы узнаете принципы, вы увидите, что они фактически совершенно одинаковы, а различия между ними весьма поверхностны). Для проверки данного утверждения сравним письменность английского и японского языков (таблица 1).

Таблица 1. Сравнение письменности английского и японского языков

N	Язык	Английский	Японский
1	Средство выражения понятия	слово	иероглиф или сочетание иероглифов
2	Минимальный графический элемент	буква	черта
3	Количество графических элементов	26	24 [9:144]
4	Порядок написания графических элементов	Фиксированный	Фиксированный
5	Способ чтения	По буквам	Чтения «он» и «кун», которые необходимо запомнить
6	Структурные элементы	Корни, суффиксы и т.п.	радикалы и графемы
7	Порядок в словаре	Лексикографический	По радикалам + число черт
8	Поиск в словаре	Лексикографический	По разнообразным указателям
9	Способ формирования ментального образа	Аудиовизуальный	Аудиовизуальный

Далее приводим пояснения к каждой строке таблицы 1 в соответствии с их номерами.

① Большинство английских слов многозначны. Причиной является то, что количество звуковых комбинаций, которые могут создавать речевые органы человека, ограничено. Следовательно, при развитии языка появление омонимов становится неизбежным для обогащения лексики. Тот же феномен имеет место и для иероглифов. Каждому иероглифу соответствует одно или несколько значений, например: 日 – день, солнце, Япония. Подходящее значение выбирается из возможных по контексту.

② Минимальный графический элемент не имеет семантического содержания. В английском языке это буквы строчные от а до z и прописные от А до Z. В иероглифах это черты. Набор черт стандартизован в Unicode[3].

<<https://www.unicode.org/versions/Unicode13.0.0/appF.pdf>>

③ Количество графических элементов в английском языке фиксировано – 26, и обучение

Таблица 2

языку начинается с букв алфавита. Во всем множестве китайских иероглифов используется 36 типов черт

<<https://www.unicode.org/charts/PDF/U31C0.pdf>> [21] (таблица 2). Для определения множества необходимых и достаточных черт, используемых в 2136 японских иероглифах *Jo:yo:kanji* авторы выделили из каждого иероглифа черты в порядке написания. Например: 女 → { 丶, 丿, 一 }. При этом авторы выявили 24 основных вида черт иероглифов и закодировали их буквами латинского алфавита от А до Z, подбирая буквы, включающие элементы, сходные с формой соответствующих черт иероглифов (таблица 3). Далее на основе кодов черт было выполнено кодирование всех 2136 иероглифов *Jo:yo:kanji*. Пример алфавитного кода иероглифа: 癒 – SARQVPOABGAABJLDQQ.

④ Порядок расположения и написания графических элементов в языках с фонетической письменностью фиксированный, т.е. изменение порядка следования букв дает другое слово с другим значением или несуществующее слово. Например: икра-каир-ирак-раки-икар-арки. Черты иероглифа также располагаются в определенном порядке. Для удобства написания, увеличения скорости написания и соблюдения пропорций черт и элементов был выработан оптимальный порядок написания каждого иероглифа, который зафиксирован в правилах. Правила написания иероглифов можно прочесть в учебнике «Сказки об иероглифах I» [9:17]. При составлении учебников [9] и [10] авторы использовали

Таблица 2

CJK Strokes

	31C	31D	31E
0	丿	一	乙
1	㇇	丨	㇇
2	㇇	㇇	㇇
3	㇇	㇇	㇇
4	㇇	㇇	
5	㇇	㇇	
6	㇇	㇇	
7	㇇	㇇	
8	㇇	㇇	
9	㇇	㇇	
A	㇇	㇇	
B	㇇	㇇	
C	㇇	㇇	
D	㇇	㇇	
E	㇇	㇇	
F	㇇	㇇	

для указания порядка написания черт иероглифов разработанное ими алфавитное кодирование.

Таблица 3. 24 вида черт иероглифов и их алфавитные коды

A	B	C	D	E	F
一	丨	㇇	㇈	㇉	㇊
G	H	J	K	L	M
㇋	㇌	㇍	㇎	㇏	㇐
N	O	P	Q	R	S
㇑	㇒	㇓	㇔	㇕	㇖
T	U	V	W	Y	Z
㇗	㇘	㇙	㇚	㇛	㇜

⑤ Способ чтения. Запомнив произношение каждой буквы алфавита и зная определенные правила, можно произнести любое английское слово. Например, буква «с (си)» звучит как «к» в словах «cat», «catalog» и как «с» в слове association. Японские иероглифы в общем случае имеют по несколько чтений «он» и «кун», которые необходимо запомнить.

⑥ Структурные морфологические элементы в английском языке – это корень, суффикс, префикс и т.п. Иероглифы состоят из минимальных семантических элементов, Авторы данной статьи провели анализ 2136 иероглифов множества *Лую:ю:kanji* и выявили все семантические элементы, как радикалы так и графемы. Все элементы иероглифов можно разделить на входящие в состав *Лую:ю:kanji* и не входящие в состав *Лую:ю:kanji*.

⑦ Порядок английских слов в словаре: лексикографический. Порядок иероглифов в иероглифическом словаре: по радикалам + число черт.

⑧ Поиск в словаре английских слов осуществляется в лексикографическом порядке. Поиск иероглифов в иероглифическом словаре осуществляется по специальным указателям. Об указателях говорится в статье авторов [11].

⑨ Способ формирования ментального образа.

Kess [5:11] считает, что «One of the most vibrant areas of research for Japanese psycholinguistics, therefore, has been tied to the architecture of its orthographic system, and the way that this system accesses the Japanese mental lexicon. (Одна из наиболее ярких областей исследований японской психолингвистики связана с архитектурой ее орфографической системы и тем, как эта система обращается к японскому ментальному лексикону)». Kess [5:87] приводит мнение, что «Japanese language users are somewhat dependent upon the graphic image of the word that is stored in their minds, and knowing the kanji shape for the word is then an important factor in their comprehending.» (Использующие японский язык в некоторой степени зависят от

графического изображения слова, которое хранится в их умах, и знание формы иероглифов является важным фактором в понимании слов). Точно так же формирование ментального образа в языке с фонетической письменностью зависит от внешнего вида написанного слова.

Выводы по результатам сравнения

Можно признать, что Chomsky прав в том, что по некоторым критериям между письменностью английского и японского языков имеется определенное сходство. Однако английский язык не считается трудным в изучении, а японский считается трудным по причине его иероглифической письменности.

4. Принципы построения таблицы элементов

Разработанная нами Таблица элементов позволяет анализировать структуру иероглифов и создавать мнемонические ассоциации исходя из значений элементов иероглифов, а также реализовать процесс обучения иероглифам «от простого к сложному» [17]. Надеемся, что это в некоторой степени поможет облегчить изучение иероглифов.

Таблица элементов (Приложение 1) содержит элементы следующих четырех типов:

- радикалы *Jyo:yo:kanji* (RJ);
- радикалы *non-Jyo:yo:kanji* (R);
- графемы *Jyo:yo:kanji* (GJ);
- графемы *non-Jyo:yo:kanji* (G).

По каждом элементу в таблице приводятся следующие атрибуты: код элемента, его изображение, тип, основное значение на английском и русском языках, примеры иероглифов из *Jyo:yo:kanji*, в которые входит данный элемент, и число иероглифов *Jyo:yo:kanji*, в которые входит данный элемент, т.е. частота его использования в этом множестве.

Коды радикалов – это их номера от 1 до 214 в таблице традиционных радикалов.
<<https://www.unicode.org/versions/IICoreRSIndex.pdf>>

В отличие от предшествующих исследований авторов [12], [13], [14], [15], [16], [17], [18], [19] и других в данной статье при присвоении кодов графем впервые используется принцип интернационализации (i18n), описанный на сайте Glossary of Unicode Terms <<https://www.w3.org/2001/12/Glossary#I18N>>.

«I18N

abbr. Internationalization. The form <first letter><number><last letter> has come into common usage as a way of abbreviating single long words. Such words begin with the <first letter>, have <number> of letters in the middle, and end with the <last letter>. It has found favor with other words such as "modularization" (m12n), "localization" (l10n), etc.

[Historical note: I18N was coined at Digital Equipment Corporation in the 1970s or 1980s.]»

Форма интернационализации широко используется для сокращения длинных слов. Код слова начинается с его первой буквы, далее пишется число букв между первой и последней буквами и затем последняя буква слова. Пример: *Internationalization* (i18n).

Алфавитный код, который авторы присваивают каждой графеме, является последовательностью букв, например, графема 慶, включающая 15 черт, имеет алфавитный код SAPHBBAFLDQQPYO, состоящий из 15 букв. В таком случае соответствующий интернациональный код графемы будет S13O, где S - первая буква, 13 – число букв между первой и последней буквами, O - последняя буква кода.

5. О значении Таблицы элементов

Об использовании анализа структуры иероглифов в преподавании говорится в работах авторов [12], [15], [16], [17], [18], [19]. Таблица элементов имеет значение для начинающих изучать иероглифы. Ее следует использовать следующим образом.

- Ознакомиться с Таблицей элементов и выучить наиболее часто используемые элементы с их кодами и значениями.
- Выполнять декомпозицию всех изучаемых иероглифов, используя Таблицу элементов, и составлять для них мнемонические ассоциативные истории или использовать готовые истории, например, из учебников [9] и [10]. Приложение 2 включает примеры мнемонических ассоциативных историй, основанных на декомпозиции иероглифов на семантические элементы.
- По возможности сначала запоминать иероглифы, состоящие из небольшого числа элементов, т.е. из двух-трех, т.к. их знание поможет лучшему пониманию иероглифов с большим числом элементов.

6. Заключение

На протяжении истории форма иероглифов существенно изменилась по сравнению с первоначальной, и отчасти поэтому понимание соотношения значений элементов со значением всего иероглифа затруднено, хотя форма иероглифов стала значительно проще.

Академик И. П. Павлов, внесший огромный вклад в мировую науку, в Письме к молодежи писал: «Изучите азы науки прежде, чем попытаться взойти на её вершины. Никогда не беритесь за последующее, не усвоив предыдущего.» Структурные элементы иероглифов как раз и являются азами иероглифической науки, и их изучение и использование важно при изучении иероглифов как первый шаг.

Авторы надеются, что использование разработанной ими Таблицы элементов иероглифов даст возможность повысить эффективность изучения иероглифов.

Использование таблицы позволяет выполнять декомпозицию сложных иероглифов на составляющие элементы, что способствует их пониманию и созданию простых мнемонических ассоциаций для запоминания.

Список литературы

1. Adler, Alex (2018) *The World of Kanji: A book to learn Japanese kanji through real etymologies*. Create Space Independent Publishing Platform, 659 p.
2. Chomsky, Noam (2000) *The architecture of language* (edited by Nirmalangshu Mukhergi, Bibudhendra Narayan Patniak & Rama Kant Agnihotri). New Delhi, Oxford & New York: Oxford University Press, 89 p.
3. Conning, Andrew (2013) *The Kodansha Kanji Learner's Course : A Step-By-Step Guide to Mastering 2300 Characters*, Published by Kodansha USA, Inc., 722 p.
4. Heisig, J. W. (2001) *Remembering the Kanji. A complete Course on How not to forget the Meaning and Writing of Japanese Characters*. Vol. I, Tokyo: Japan Publications Trading Co. Ltd.
5. Kess, Joseph F. (1999) *The Japanese mental lexicon: psycholinguistic studies of kana and kanji processing*, John Benjamins Publishing Co. USA, 276 p.
6. Lunde, Ken (2009) *CJKV Information Processing*, Second Edition, O'Reilly Media Inc., 899 p.
7. Nelson, Andrew N. (1997) *The New Nelson Japanese-English Character Dictionary*, Tuttle Company, 1617 p.
8. Seely, Christopher & Henshall, Kenneth G. (2016) *The Complete Guide to Japanese Kanji: (JLPT All Levels) Remembering and Understanding the 2,136 Standard Characters*, Tuttle Publishing, 704 p.
9. Воробьева, Галина (2007) *Сказки об иероглифах. Часть 1*, Бишкек: Lakprint, 184 с.
dropbox.com/s/11bs3337vic67jo/ヴォロビヨワ 2005 漢字物語 I.pdf?d
10. Воробьев, Виктор & Воробьева, Галина (2007) *Сказки об иероглифах. Часть 2*, Бишкек: Lakprint, 230 с.
dropbox.com/s/8na8zneubkl6ph5/ヴォロビヨフ・ヴォロビヨワ 2007 漢字物語 II.pdf?dl=0
11. Vorobeva, Galina & Vorobev, Victor (2012) An Analysis of Efficiency of Existing Kanji Indexes and Development of a Coding-based Index/OPEN JOURNAL SYSTEMS, *Acta Linguistica Asiatica*, Vol. 2, No. 3, Slovenia, University of Ljubljana, <http://revije.ff.uni-lj.si/ala/article/view/180/318> pp. 27-59
12. ヴォロビヨワ・ガリーナ (2014) 『構造分解とコード化を利用した計量的分析に基づく漢字学習の体系化と効率化』東京, ノースアイランド, 348 p.
<http://www.grips.ac.jp/jp/dtds3/galina_vorobeva/>
13. ヴォロビヨワ ガリーナ, ヴォロビヨフ ヴィクトル (2015) 「漢字の構造分析に関わる問題—漢字字体の構造分解とコード化に基づく計量的分析—」『国立国語研究所論集』

第9号, pp. 215-236

<http://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/09/pdf/NINJAL-Papers0911.pdf>

https://repository.ninjal.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=478&item_no=1&page_id=13&block_id=21

14. ヴォロビヨワ ガリーナ, ヴォロビヨフ ヴィクトル (2016) 「非漢字系日本語学習者の漢字学習の支援を目指す漢字構造記述」『漢字字体史研究 二 一字体と漢字情報—』 勉誠出版, pp. 244-264

15. ヴォロビヨワ ガリーナ, ヴォロビヨフ ヴィクトル (2017) 「非漢字系日本語学習者の漢字学習における阻害要因とその対処法—体系的な漢字学習の支援を目指して—」『国立国語研究所論集』 第12号, pp.163-179

<http://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/12/>

https://repository.ninjal.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=875&item_no=1&page_id=13&block_id=21

16. ヴォロビヨワ・ガリーナ (2019) 「非漢字系日本語学習者の体系的な漢字学習の支援を目指す漢字構成の公式化とその応用」『JSL 漢字学習研究会誌』 第11号, pp. 50-59, JSL 漢字学習研究会

17. Воробьева Галина (2019) Анализ структуры иероглифов и его использование в преподавании. Японский язык в вузе: актуальные проблемы преподавания, выпуск 19. Материалы международной научно-практической конференции «Японский язык в образовательном пространстве» Москва, Московский городской педагогический университет. Институт иностранных языков. Москва: издательство «Ключ-С». с. 39-48. Ассоциация преподавателей японского языка РФ.

18. Воробьева, Галина & Воробьев, Виктор (2020) Анализ структуры японских иероглифов и его использование для систематизации и повышения эффективности преподавания, *Известия Национальной академии наук Кыргызской Республики*, № 1-2020, с. 180-185

19. ヴォロビヨワ・ガリーナ, ヴォロビヨフ・ヴィクトル (2020) 「漢字字体のバイナリ構造分解及び漢字指導での応用」『キルギス日本語教育研究紀要』 第4号, pp. 51-61, キルギス共和国日本語教師会 <https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/紀要-キルギス日本語教育研究/バックナンバー/>

20. 山田ボヒネック頼子 (2008) 「KK2.0 (KanjiKreativ) E ラーニング:1945 常用漢文字学習プログラム」—体系的・増分式「識字力育成」が日本語教育に齎すインパクト—, 『ヨーロッパ日本語教育12 報告・発表論文集』 pp. 169-175

Интернет-ресурсы

21. The Unicode Standard 13.0.0 <<http://www.unicode.org/versions/Unicode13.0.0/>> (2020.07)

22. Glossary of Unicode Terms <<https://unicode.org/glossary/#grapheme>> (2020.07)

23. KanjiKreativ 3.0 <<http://www.kanjikreativ.com/index.php>> (2020.07)

Приложение 1. Таблица элементов 常用漢字

*В колонке «Unicode» указаны коды дополнительных вариантов написания радикалов на сайтах <<http://www.unicode.org/cgi-bin/GetUnihanData.pl?codepoint=>> и <<https://unicode.org/charts/PDF/U2E80.pdf>>

Код	Знак	Тип	Значение англ. язык	Значение рус. язык	Примеры	Частота	Unicode
1	一	RJ	one	один	下三上	22	
2	丨	R	line	линия	中引候	5	
3	丶	R	dot	точка	太向主	10	
4	丿	R	slash	слэш	九千少	9	
5	乙	RJ	second	второй	乙九乞	3	
5a	乚	R	small	маленький	七礼乳	7	4E5A
5b	冫	R	second	второй	成幻司	3	200CC
5c	㇀	R	second	второй	了	1	4E5B
6	丿	R	hook	крюк	丁了	2	
7	二	RJ	two	два	三元夫	6	
8	宀	R	lid	крышка	六交市	5	
9	人	RJ	man	человек	内夫囚	4	
9a	亻	R	man	человек	代体住	89	4EBB
9b	亼	R	man	человек	会全舍	6	201A2
10	儿	R	legs	ноги	四先元	9	
11	入	RJ	enter	вводить	入久込	3	
12	八	RJ	eight	восемь	六半公	8	
12a	丷	R	eight	восемь	弟半平	4	4E37
13	冂	R	down box	вниз коробка	同内央	4	
14	冃	R	cover	покрытие	写軍冠	5	
15	冫	R	ice	лед	冬寒尽	3	
15a	凵	R	ice	лед	凝准凍	7	
16	几	R	table	стол	机処飢	6	
17	凵	R	open box	открытая коробка	出凶	2	
18	刀	RJ	knife	нож	切分初	8	

18a	刂	R	knife	нож	婦列刷	28	5202
18b	ㄣ	R	knife	нож	危負	2	2E88
19	力	RJ	power	сила	男助動	21	
20	勺	R	wrap	обертка	包匂匂	5	
21	匕	R	spoon	ложка	北化死	9	
22	匚	R	right open box	коробка вправо	医区匠	5	
24	十	RJ	ten	десять	千早計	14	
25	卜	R	divination	предсказание	下外赴	5	
25a	卜	R	divination	предсказание	上占卓	4	2E8A
26	卩	R	seal	печать	命令卸	5	
26a	卩	R	seal	печать	犯厄汜	3	2E8B
27	厂	R	cliff	утес	原反压	8	
28	厶	R	private	частный	広台去	9	
29	又	RJ	again	снова	友取受	14	
30	口	RJ	mouth	рот	右中名	69	
31	凵	R	enclosure	вложение	四国囙	11	
32	土	RJ	earth	земля	寺社場	51	
33	士	RJ	scholar	ученый	仕志耄	8	
34	夂	R	go	пойти	夏冬各	7	
36	夕	RJ	evening	вечер	名外多	5	
37	大	RJ	big	большой	天太美	16	
38	女	RJ	woman	женщина	妹安始	38	
39	子	RJ	child	ребенок	学字季	13	
40	宀	R	roof	крыша	字家室	32	
41	寸	RJ	inch	дюйм	村寺守	20	
42	小	RJ	small	маленький	京少県	5	
42a	㇀	R	small	маленький	光当肖	4	2E8C
42b	㇁	R	small	маленький	巖	1	2E8D
43	尢	R	to cut off the feet	хромой	就	1	
44	尸	R	corpse	труп	屋局居	14	
45	艹	R	sprout	росток	逆遡	1	5C6E
46	山	RJ	mountain	гора	岸岩炭	19	
47	川	RJ	river	река	川順訓	3	5DDD

47a	川	R	river	река	災	1	
48	工	RJ	work	работа	工空左	13	
49	己	RJ	oneself	сам	記起配	10	
50	巾	RJ	towel	полотенце	市帳席	12	
51	干	RJ	dry	сухой	平刊干	6	
52	么	R	short thread	короткая нить	幼幻	2	
52a	乡	R	short thread	короткая нить	郷	1	4E61
53	广	R	dotted cliff	утес с точкой	広店庫	14	
54	夂	R	long stride	длинный шаг	建延廷	3	
55	升	R	two hands	две руки	弁戒升	6	
56	弋	R	shoot	охота	式代戦	3	
57	弓	RJ	bow	поклон	引張弦	8	
58	互	R	snout	морда	互彙	2	5F51
58a	冫	R	snout	морда	雪当肃	3	
59	彡	R	bristle	щетина	形参修	9	
60	彳	R	step	шаг	後待後	18	
61	心	RJ	heart	сердце	思恶意	40	
61a	忄	R	heart	сердце	快慣情	31	
61b	小	R	heart	сердце	恭慕	2	
62	戈	R	halberd	алебарда	戒戲伐	3	
63	戸	RJ	door	дверь	所肩雇	9	
64	手	RJ	hand	рука	拳擊	7	
64a	才	RJ	genius	одаренность	材財閉	4	624D
64b	扌	R	hand	рука	指持拾	85	624D
64c	扌		hand	рука	看	1	9FB5
65	支	RJ	branch	ветка	技支岐	6	
66	攴	R	rap	удар	教数放	17	6535
67	文	RJ	script	рукопись	对蚊紋	5	
68	斗	RJ	dipper	ковш	科函料	5	
69	斤	RJ	axe	топор	近新所	12	
70	方	RJ	square	квадрат	放防訪	10	
72	日	RJ	sun	солнце	早間時	46	
74	月	RJ	moon	луна	朝明育	50	

75	木	RJ	tree	дерево	休校森	92	
76	欠	RJ	lack	нехватка	歌飲次	12	
77	止	RJ	stop	остановить	歩正歴	9	
78	歹	R	death	смерть	死列残	6	
79	殳	R	weapon	оружие	投殺設	14	
80	母	RJ	mother	мать	母	1	6BCB
80a	毋	R	mother	мать	每毒	2	6BCD
80b	毋	R	mother	мать	貫	1	6BCC
81	比	RJ	compare	сравнивать	批皆昆	4	
82	毛	RJ	fur	волосы	尾耗	3	
83	氏	RJ	clan	клан	紙	2	
83a	民	RJ	people	народ	眠	2	6C11
84	气	R	steam	пар	気汽	2	
85	水	RJ	water	вода	氷永泉	5	
85a	彳	R	water	вода	海洋注	111	6C35
85b	氷	R	water	вода	泰	1	6C3A
86	火	RJ	fire	огонь	秋畑焼	17	
86a	灬	R	fire	огонь	点照然	13	706C
87	爪	RJ	claw	коготь	爪	1	
87	𠂔	R	claw	коготь	愛鷄采	3	722B
88	父	RJ	father	отец	交釜	3	
90	斗	R	half tree trunk	половина ствола	北状将	4	4E2C
91	片	RJ	slice	ломтик	版	2	
92	牙	RJ	tusk	клык	芽雅既	5	
93	牛	RJ	cow	корова	物物件	7	
93a	牜	R	cow	корова	先告	2	2ea7
94	犬	RJ	dog	собака	状猷獄	7	
94a	犴	R	dog	собака	独犯猿	12	72AD
95	玄	RJ	profound	основательный	率弦畜	5	
96	王	RJ	king	король	理球主	17	738B
96a	玉	RJ	jade	нефрит	国宝璧	5	

97	瓜	R	melon	дыня	孤弧	2	
98	瓦	RJ	tile	плитка	瓶	2	
99	甘	RJ	sweet	сладкий	紺某	3	
100	生	RJ	life	жизнь	星産性	6	
101	用	RJ	use	использовать	用庸	2	
102	田	RJ	field	поле	男町思	22	
102a	由	RJ	wherefore	причина	宙届軸	8	7531
102b	申	RJ	speaketh	говорить	神伸紳	4	7533
102c	甲	RJ	armor	броня	押岬	3	7532
103	疋	R	bolt of cloth	кусок ткани	定是旋	4	
104	疒	R	sickness	болезнь	病痛疫	15	
105	𦉳	R	dotted tent	палатка с точками	登発	2	
106	白	RJ	white	белый	習的皇	11	
107	皮	RJ	skin	кожа	波破彼	7	
108	皿	RJ	dish	блюдо	益盟監	8	
109	目	RJ	eye	глаз	具着省	18	
110	矛	RJ	halberd; arms	алебарда	務柔	3	
111	矢	RJ	arrow	стрелка	知医族	7	
112	石	RJ	stone	камень	岩研確	19	
113	示	RJ	spirit	дух	祭票禁	6	
113a	𠂇	R	spirit	культ	社神福	12	
115	禾	R	grain	зерно	科秋秒	25	
116	穴	RJ	cave	пещера	空究窮	9	
117	立	RJ	stand	стенд	章童位	10	
118	竹	RJ	bamboo	бамбук	竹	1	
118a	𦉳	R	bamboo	бамбук	算答第	21	2EAE
119	米	RJ	rice	рис	米来粉	13	
120	糸	RJ	silk	шелк	糸終紙	62	
121	缶	RJ	jar	кувшин	缶鬱卸	3	
121a	缶	R	jar	кувшин	卸	1	26222
122	𦉳	R	net	сеть	買置罪	7	7F52

122a	罎	R	net	сеть	岡	1	26270
123	羊	RJ	sheep	овца	着美洋	13	
124	羽	RJ	feather	перо	習翌翁	6	7FBD
124a	羽	R	feather	перо	翼	1	
125	老	RJ	old	старый	老	1	
125a	𠂇	R	old	старый	考者孝	3	8002
126	而	R	and	и	需耐	2	
127	耒	R	plow	плуг	耕耗	2	
128	耳	RJ	ear	ухо	聞取職	8	
129	聿	R	brush	щетка	書建筆	5	
130	肉	RJ	meat	мясо	腐	2	
131	臣	RJ	minister	министр	臣蔵姫	3	
132	自	RJ	self	сам	息臭	3	
133	至	RJ	arrive	прибыть	室屋致	6	
134	臼	RJ	mortar	ступка	臼	1	
135	舌	RJ	tongue	язык	話活辞	8	
136	舛	R	oppose	партнер	舞	1	
137	舟	RJ	boat	лодка	船航艦	8	
138	艮	R	stopping	остановка	恨根痕	8	
139	色	RJ	color	цвет	色絶艶	3	
140a	艹	R	grass	трава	花英茶	45	8279
140b	艹	R	grass	трава	前並	2	4491
141	虍	R	tiger	тигр	虚膚虜	5	
142	虫	RJ	insect	насекомое	強蚕独	13	
143	血	RJ	blood	кровь	衆	2	
144	行	RJ	walk	идти	衛術街	7	
145	衣	RJ	clothes	одежда	製裁裏	15	
145a	衤	R	clothes	одежда	初複補	10	2EC2
146	西	RJ	west	запад	票要価	6	897F
147	見	RJ	see	смотреть	親覚観	8	
148	角	RJ	horn	рожок	解触	3	
149	言	RJ	speech	речь	記計語	69	
150	谷	RJ	valley	долина	谷浴容	6	

151	豆	RJ	bean	боб	頭短登	6	
152	豕	R	pig	свинья	家逐豚	3	
153	豸	R	badger	барсук	貌	1	
154	貝	RJ	shell	раковина	買員負	38	
155	赤	RJ	red	красный	赤赦	2	
156	走	RJ	run	бежать	起徒越	7	
157	足	RJ	foot	нога	路距跡	13	
158	走	RJ	body	тело	走起徒	7	
159	車	RJ	cart	телега	輕庫転	18	
160	辛	RJ	bitter	горький	幸辞宰	5	
161	辰	R	morning	утро	農辱唇	6	
162	辵	R	walk	идти	週通道	51	
163	阝	R	city	город	都部郡	28	
164	酉	R	wine	вино	酒配酸	14	
165	采	R	distinguish	различить	积番	2	
166	里	RJ	village	деревня	野理重	9	
167	金	RJ	gold	золото	銀鉄鏡	33	
168	長	RJ	long	длинный	帳張	3	
169	門	RJ	gate	ворота	間聞間	13	
170	阜	RJ	mound	насыпь	阜	1	
170	阝	R	mound	насыпь	院陷隅	27	
171	隶	R	slave	раб	緑康録	6	
172	隹	R	short tailed bird	короткохвостая птица	集進雜	19	
173	雨	RJ	rain	дождь	雨電+	13	
174	青	RJ	blue	синий	雲雪電	7	
175	非	RJ	wrong	неправильно	悲罪非	7	
176	面	RJ	face	лицо	面麵	2	
177	革	RJ	leather	кожа	靴	2	
178	韋	R	tanned leather	дубленая кожа	衛偉違	5	
180	音	RJ	sound	звук	暗意韻	6	
181	頁	R	leaf	лист	顔頭題	24	
182	風	RJ	wind	ветер	嵐	2	

183	飛	RJ	fly	летать	飲館倉	10	
184	食	RJ	eat	есть	養養餓	10	
184a	食	R	eat	есть	飯飲館	3	98E0
185	首	RJ	head	голова	首道	2	
186	香	RJ	fragrant	аромат	香	1	
187	馬	RJ	horse	лошадь	駢駢騎	12	
188	骨	RJ	bone	кость	滑髓骸	4	
189	高	RJ	tall	высокий	稿	2	
190	髮	R	hair	волосы	髮	1	
193	鬲	R	caldron	котел	隔融	2	
194	鬼	RJ	ghost	призрак	塊魂魂	6	
195	魚	RJ	fish	рыба	漁鯨鮮	4	
196	鳥	RJ	bird	птица	鳴鷄鶴	4	
198	鹿	RJ	deer	олень	麗麓	3	
199	麦	RJ	wheat	пшеница	麵	2	
200	麻	RJ	hemp	конопля	歷摩磨	6	
201	黄	RJ	yellow	желтый	横	2	
203	黒	RJ	black	черный	墨黙	3	
207	鼓	RJ	drum	барабан	鼓	1	
209	鼻	RJ	nose	нос	鼻	1	
210	齊	RJ	even	ровный	濟齋劑	4	6589
211	齒	RJ	tooth	зуб	齡	2	
212a	龍	R	dragon	дракон	籠襲	2	
213	龜	RJ	turtle	черепаха	龜	1	
A10A	葶	G	funnel	труба	構講講	4	
A10B	華	GJ	flowery	пышный	華	1	
A10O	兼	GJ	concurrently	одновременно	嫌謙廉	4	
A10O1	莫	G	people	народ	漠難嘆	3	
A10Q	袁	G	robe	халат	遠園猿	3	
A11A	堇	G	clay; season	глина; время года	勤謹僅	3	
A13Q	撰	GJ	surrogate	заместитель	撰	1	
A3A	与	GJ	give	давать	写	1	
A3P	万	GJ	10000	10000	万	1	

A4A	五	GJ	5	5	五	1	
A4A1	𠂇	G	grow up	созревать	毒責素	3	
A4B	卅	G	well	колодец	年	1	
A4O	不	GJ	non-	не	否杯	2	
A5A	卅	G	thirty	30	帶	1	
A5E	世	GJ	world	мир	世	1	
A5O	𠂇	G	folded hands	сложенные руки	春実奏	5	
A6A	在	GJ	suburbs/exist	пригород/находиться	在	1	
A6A1	存	GJ	live	существовать	存	1	
A6N	考	GJ	think	думать	拷	1	
A7A	亜	GJ	asia	азия	悪	1	
A8B	拝	GJ	worship	поклоняться	拝	1	
A8O	其	G	this	этот	期旗基	6	
A9E	甚	GJ	tremendously	чрезвычайно	勘堪	2	
B10A	嘗	G	distant	далеко	遣	1	
B12A	壘	GJ	bases	основы	壘	1	
B13A	嗣	GJ	heir	преемник	嗣	1	
B13O	𠂇	G	round; stare	круглый; глазеть	還環	2	
B4A	円	GJ	yen	иена	円	1	
B4A1	𠂇	G	sword	меч	那	1	
B5A	且	GJ	moreover	кроме того	組助査	10	
B5A1	巨	GJ	gigantic	гигантский	拒距	2	
B5A2	凸	GJ	convex	выпуклый	凸	1	
B5A3	𠂇	G	the table	стол	官棺遣	5	
B5A4	业	G	business	бизнес	業並虚	3	
B5B	出	GJ	exit	выход	屈拙	2	
B5Q	以	GJ	by means of	посредством	似	1	
B6A	曲	GJ	bent/musical composition	изогнутый/ мелодия	典豊農	3	
B7B	串	GJ	relatives/skewer	родственники/вертел	患	1	
B9A	𠂇	G	talk	разговор	過渦禍	4	
B9E	𠂇	G	why?	почему?	葛	1	

B9O	畏	GJ	fear	страх	畏	1	
B9O1	段	G	false	ложный	暇	1	
G3C	也	G	also	также	池地他	4	
H10O	展	GJ	unfold/expand	разворачивать/выставка	展	1	
H4A	丑	G	clown	клоун	羞	1	
H4O	尺	GJ	shaku	мера длины	昼駅积	8	
H4O1	夬	G	fork	вилка	決快	2	
L10B	島	GJ	island	остров	島	1	
L13O	楽	GJ	music	музыка	菓	1	
L6A	自	G	pile up	накапливать	追師帥	3	
L6B	州	GJ	state	государство	酬	1	
P12O	象	GJ	elephant	слон	象像	2	
P12O1	寮	G	fuel	топливо	僚寮瞭	4	
P12Q	無	GJ	nothingness/nothing	ничто/без	無	1	
P2O	又	G	control	контроль	気希区	5	
P2Z	乃	G	really	действительно	秀	1	
P3O	及	GJ	reach out	достигать	級吸扱	3	
P4B	印	G	protector	защитник	仰迎抑	3	
P4P	勿	G	not	не	物易	2	
P4Y	今	GJ	now	теперь	念含琴	5	
P5A	乍	G	first time	впервые	作昨詐	4	
P5B	卯	G	period	утро	留柳貿	3	
P6B	印	GJ	print	печать	印	1	
P6O	辰	G	to branch	ветвиться	脈派	2	
P6O1	禾	G	stand side by side	стоять рядом	衆	1	
P6Q	兆	GJ	trillion	триллион	逃挑眺	6	
P7B	卵	GJ	egg	яйца	卵	1	
P8A	垂	GJ	droop	висеть	郵睡唾	3	
P8C	免	GJ	excuse	оправдание	勉晚逸	3	
P9O	乘	GJ	ride	ехать	剩	1	
P9O1	段	GJ	steps	меры	鍛	1	

Q10A	益	GJ	benefit	выгода	益	1	
Q11Q	渋	GJ	astringent	терпкий	渋	1	
Q9Q	為	GJ	do	делать	偽	1	
R3B	𠂔	G	to fly	летать	迅	1	
R5B	凹	GJ	concave	вогнутый	凹	1	
S10O	旅	GJ	trip	путешествие	旅	1	
S10O1	寒	G	son-in-law	зять	寒塞	2	
S11B	率	GJ	ratio/rate	отношение/ показатель	率	1	
S13O	襄	G	help	помогать	壤孃讓	5	
S13Q	薦	G	unicorn	единорог	薦	1	
S15O	慶	GJ	congratulate	поздравлять	慶	1	
S3E	亡	GJ	deceased	покойный	忘忙妄	4	
S3O	之	G	mark; go to	метка	芝乏	2	
S6Q	亦	G	likewise	подобно	變跡恋	5	
S6Q	亥	G	core	ядро	刻劼該	5	
S7C	沆	G	river	река	疏流	2	
T2B	𠂔	G	to join	соединять	収収糾	3	
Y4J	予	GJ	give/in advance	давать/ заранее	野序預	3	
Y8O	承	GJ	acquiesce	соглашаться	承	1	
Y9K	兪	G	surname; consent	фамилия; согласие	喻	1	

Приложение 2. Примеры мнемонических ассоциативных историй

Знак	Код иероглифа	Мнемоническая ассоциативная история
天	/1/37/	БОЛЬШОЙ (大) ЧЕЛОВЕК (人) достает (一) до НЕБА (天).
男	/102/19/	МУЖЧИНА (男) использует СИЛУ (力), работая на ПОЛЕ (田).
思	/102/61/	СЕРДЦЕ (心) болит при ДУМАХ (思) о ПОЛЕ (田).
胃	/102/74/	ЖЕЛУДОК (胃) – это часть ТЕЛА (月), которая наполняется продуктами с ПОЛЯ (田).
疫	/104/79/	При ЭПИДЕМИИ (疫) БОЛЕЗНЬ (疒) поражает людей, как КОПЬЕ (受).

瞭	/109/P110/	ГЛАЗ (目) ВЫЗДОРОВЕЛ (寮) и видит все ЯСНО (瞭).
美	/123/37/	КРАСИВАЯ (美) ОВЦА (羊) – это БОЛЬШАЯ (大) ОВЦА (羊).
取	/128/29/	БРАТЬ (取) РУКОЙ (又) за УХО (耳) – старый метод воспитания.
藥	/140/L130/	И ТРАВЫ (++), и МУЗЫКА (樂) могут быть ЛЕКАРСТВОМ (藥).

漢字の構成要素の表の開発及びその意義について

ヴォロビヨフ ヴィクトル (元キルギス国立総合大学),
ヴォロビオワ ガリーナ (元ビシケク国立大学)

要約

研究の目的は、漢字の意味とその構成要素の意味との関連の理解、記憶のためのニーモニックストーリーの作成を促進することである。筆者らは 2136 字の常用漢字をカバーする構成要素の表を作成した。そのため、常用漢字の漢字を分解し、それらの構成要素を分類した。D. I. Mendeleev の化学元素の周期表との類推によって、地球上のあらゆる物質が作成できる元素のように筆者らは、各々の常用漢字が構成できる構成要素の表を開発した。

キーワード : 漢字, 漢字の構成要素の表, 部首, グラフィウム, 構造分解

研究ノート

YDK: 801.81

カザフ語と日本語におけることわざ, 慣用句表現と寓話の異文化間比較

ウシケムピロワ ナズゲーリ (ビシケク国立大学)

要約

民族の過去や歴史的な構成と発展, 文化的な価値の違いにもかかわらず, ことわざ, 慣用句表現と寓話は文化的特徴に加えて, 人間の道徳的価値を反映する。

ことわざの比較分析によって, カザフ語と日本語で似ている意味を持つことわざは異なる表現を使っているという結論に達することができる。ことわざは, 出現場所に関係なく, ほんの一言で, 一般的に受け入れられている多くの行動, 生活状況, 現象のルールを示している。しかし, ことわざの認識や理解は, 環境や生息地に大きく影響されている。

寓話に関しては, 散文で書かれた寓話である小さな道徳的な物語を彷彿とさせる。カザフ語と日本語の寓話の目立つ相違点は, 登場する場合によって, 寓話に登場するキャラクターが異なっていることだ。例えば, それぞれの国に属する特別な動物や物を使うことだ。

キーワード: カザフ語, 日本語, ことわざ, 慣用句表現, 寓話

1. はじめに

ロシアの有名な作家, 民族誌学者, 最も優れた辞書編集者であったウラジミール・ダルによると「言語は世代の作品」だ。言語学の知識だけである国のメンタリティーを理解するのが非常に難しい。その上にメンタリティーや文化などを知らないと言語能力が上達しない。それゆえ, 言語学と文化に関係することわざ, 慣用句表現と寓話の分析を行うことにした。

本研究の目的はカザフ語と日本語のことわざ, 慣用句表現と寓話を比較することで, カザフ人と日本人の考え方の共通点や相違点を明らかにすることだ。すなわち, 文化の影響で組成したモラルや人間の価値観を反映するために使用される言葉や動作や人物などの比較である。

2. 調査の手順と方法

目的を達成するために, 次の課題が設定された:

- ことわざ, 慣用句表現と寓話の分析を行うこと;
- 共通点や相違点の検査を行うこと。

ことわざと慣用句表現の分析はアンケート調査によって行なった。(表 1)

表 1 アンケート調査の情報

時期	2019年3月～2019年6月	
対象者	日本人 30名	カザフ人 30名
アンケート課題	カザフ語のことわざ4つと慣用句表現2つ	日本語のことわざ4つと慣用句表現2つ

カザフ語・日本語のことわざ, 慣用句表現に対する回答者の考え方や感覚を探るために選択回答とせず, 自由記述式とした。

寓話の分析のためにはカザフ語と日本語の5つずつ寓話を選ばれた。(表 2)

寓話のモラルや内容, そのモラルや内容を伝えるために選ばれた主人公の比較が行なった。

表 2 カザフ語と日本語の寓話

カザフ語	日本語
Бұлбұл, жарқанат және қарақұрт (ナイチンゲール, こうもりとクモ)	さるかに会戦
Лақ мен құлын (子ヤギと子馬)	かちかち山
Торғай мен адам (人と雀)	おむすびコロリン
Ұлар мен қарға (七面鳥とカラス)	桃太郎
Екі бұғы (二頭の鹿)	舌切り雀

3. アンケート調査の結果

日本語の「狸寝入り」ということわざが面白い結果を出した。ことわざの意味は「眠ったふり」をすることである。正しい意味を書けた人は一人だった。その理由は狸が主に日本, 韓国, 中国にしかない動物からだ。それゆえ, カザフ人が狸に関するイメージがない。

表 3によると27%は「死んだ人のように寝る」と答

表 3 「狸寝入り」

意味記述の回答	人数と比率
死んだ人のように寝る	9人 (27%)
怠け者	7人 (24%)
睡眠	5人 (18%)
疲れ	4人 (14%)
無回答	3人 (9%)
状態	2人 (8%)

表 4 「狼に衣」

意味記述の回答	人数と比率
分類不可能	7人 (24%)
役に立たない, ないほうがいい	5人 (17%)
何をしても感謝しない人	4人 (13%)
頼らないほうがいい	4人 (13%)
親切に見えるが, 内心が区悪である人	4人 (13%)
狼には服が不要なので, 無駄なことを表す	3人 (10%)
無回答	3人 (10%)

えた。24%は「怠け者」に関係があると想像した。18%は「睡眠」, 14%は「疲れ」, 8%は「状態」という答えがあった。参加者の9%は何も書けなかった。

次は, 「狼に衣」に関する回答分析だ(表 4)。ことわざを「親切に見えるが, 内心が区悪である人」の定義として使われる。日本では, 狼のイメージが悪い。カザフスタンでは, 明瞭に悪いと言えない。遊牧民にとって, 狼

が主要な敵だったが、赤ん坊を見つけて助けた狼に関する伝説も多い。10%の答えはなかった。他の10%は「狼には服が不必要なので、無駄なことを表す」と答えた。13%は「頼らないほうがいい」、別の13%は「何をしても感謝しない人」についてだった。参加者の17%は「役に立たない、ないほうがいい」と予想した。24%の答えがそれぞれ違って、グループに統一するのが難しかった。残った13%の答えは実際の意味と同じだった。狼の悪いイメージを合わせてみれば、85%を超える。

次の例はカザフ語 «Айдай таза, күндей нұрлы» (月のように綺麗, 太陽のように明るい) という慣用句表現の分析だ。昔から女性の美しさを表現する時, 「月」や「太陽」と比べた。女の子の名前にも«Ай» (月) または «Нұр» (日光) の接尾辞を付けていた。(今も付けている)

表 5によると回答の半分以上, 55%は, 正しかった。ただし, わずかな違いがあった。例えば, 日本で美しさを蝶と比較することだ。カザフ語に「蝶」は美しさのシンボルではない。参加者の21%は「優しくて, 明るい人」のイメージだと答えた。10%は「月」の興味深い意味について書いた。日本で「月」は「別世界」を体現していると書かれた。「日本語では太陽は陽, 月は陰」だそうだ。7%の答えがなかった。他の7%の回答をグループに統一するのが難しかった。この慣用句表現の意味を書くのが難しくなかったと推測できる。しかし, 「月」の違う関連付けはカザフ人と日本人の考え方の違いを示している。

表 5 «Айдай таза, күндей нұрлы»

意味記述の回答	人数と比率
月のように綺麗, 太陽のように明るい	17人 (55%)
優しくて, 明るい人	6人 (21%)
別世界	3人 (10%)
無回答	2人 (7%)
分類不可能	2人 (7%)

表 6 «Ақ жүрек»

意味記述の回答	人数と比率
純粋な人	13人 (47%)
冷酷・残忍	9人 (27%)
分類不可能	5人 (16%)
無回答	3人 (10%)

最後に«Ақ жүрек» (白い心臓 (心)) というカザフ語の慣用句表現の回答分析だ (表6)。白い色は遊牧民族のため牛乳や何か綺麗なものの連想だ。この表現は「純粋な人」を表している。ほぼ半分, 47%は正解だった。ところが, 解答の27%が完全に反対だったのは面白い。「白い心臓 (心)」の人を「冷酷」や「残忍」などのような言葉をイメージした。10%は答えがなかった。

残った16%の答えをまとめるのが難しかった。参加者が「味も素っ気もない」や「肝が小さい」のような表現を書き, つまらない人や腰抜けの人を表すと予想した。このように日本で白色の決まった意味がない。良い面と悪い面の両方を表すことができる。

4. 寓話の分析

大辞泉では「寓話は擬人化した動物などを主人公に, 教訓や風刺を織り込んだ物語」と書かれている。寓話は簡単な言葉で, 深い意味のモラルを伝える。寓話のおかげで新しく, 公平な世界に飛び込むことができる。

«Лақ пен құлын» (子ヤギと子馬) というカザフの寓話の主人公は子ヤギと子馬が物議をかもす。馬はカザフ人にとって特別で最も価値のある動物だ。しかし, この寓話では子馬が愚かで自信満々として描かれた。子ヤギは子馬と比較したら, よく認められなかった。理由は簡単である。遊牧生活で立ち止まることのない動物は好ましくない。子ヤギに寓話で割り

当てられた役割が大きくないが、忍耐強いキャラクターとして描かれた。ずっと自慢していた子馬がランニング競技で負けてしまった。それに対して、ゆっくりしていた子ヤギが勝った。寓話の大事なポイントは自分自身を過大しない、そして相手の力を過小評価しないほうがいい。傲慢が非難されている。

日本の寓話として選ばれた昔話は「カチカチ山」だ。話の主人公は兎と狸である。普通、兎は臆病と早いスピードに関連しているが、「カチカチ山」の兎は賢いヒーローになっている。狸はずるくて器用な動物と考えられている。メインキャラクターではないが、ストーリーに影響を与えている祖父と祖母が出ます。狸にからかわれていた祖父と祖母が助けに来た兎に救われた。モラルのポイントはどのようなずるい人であっても絶対に勝てる人が出ることだ。ずっと罰されないと思った狸も負けた。

このように、カザフの «Лак пен құлын» (子ヤギと子馬) と日本の「カチカチ山」はその所の動物を擬人化し、想像以外の性格をあげた。寓話はことわざや慣用句表現と違い、主人公について何も知らなくても、道德の意味が分かることができる。

おわりに

民間伝承に入っているすべてのジャンルは、言語の研究およびその民間伝承が属する人々の特性を編集する際に非常に重要だ。しかし、ことわざ、慣用句表現、寓話は特に価値がある。

本研究では日本語とカザフ語のことわざ、慣用句表現、寓話を取り扱った。研究の結果、次の点が明らかになった。第一に、日本語とカザフ語においては「道德の意味は普遍的」であることである。第二に、「それぞれの国における特別な動物や物を使う」が、それぞれの言語で「動物に対するイメージの違いがある」ことが明らかになった。第三に、「色や性格の感覚の違いがある」ことが明らかになった。

参考文献

- Алтынсарин Ы. (2007): «Казакская хрестоматия», Алматы, «Білім»
(Altynsarin Y. (2007): «Kazakh reader», Almaty, «Bilim»)
- Адамбаев Балтабай (1997): «Казакское народное ораторское искусство», Алматы, «Ана тілі»
(Adambaev Baltabai (1997): «Kazakh folk oratory», Almaty, «Ana tili»)
- Аникин В. П. (1961): «Пословицы и поговорки народов Востока», М.
(Anikin V.P. (1961): «Proverbs and sayings of the peoples of the East», M.)
- Даль В. И. (2004): «Пословицы русского народа» М., Медиа
(Dal V.I. (2004): «Proverbs of the Russian people» M., Media)
- Кенесбаев І. (2007): «Қазақ тілінің фразеологиялық сөздігі», Алматы, «ҚазАқпарат»
(Kenesbaev I. (2007): «Kazakh phraseological dictionary», Almaty, «KazAqparat»)
- Кожаметова Х. К., Жайсакова Р. Е., Кожаметова Ш. О. (1988): «Казакско-русский фразеологический словарь», Алма-Ата, «Мектеп»
(Kozhahmetova H. K., Zhaisakova R. E., Kozhahmetova Sh. O. (1988): «Kazakh-Russian

phraseological dictionary», Almaty, «Mekter»)

Куанышбаева Г. Б. (2016): «Особенности фразеологических оборотов казахского языка», Журнал «Молодой ученый», №12

(Kuanyshbaev G. B. (2016): «Features of phraseological turns of the Kazakh language», journal «Young scientist », №12)

- 宮地裕編 (1985) 「慣用句の意味と用法」, 明治書院
西谷裕子 (2012) 「言いたいことから引ける慣用句・とことわざ・四字熟語」, 東京堂出版
汐見稔幸 (2011) 「ことわざのはじまり物語」, Gakken Education Publishing
武田勝昭 (2002) 「ことわざの秘密」, 株式会社アリス館
外山滋比古 (2007) 「ことわざの論理」, 明和印刷
谷沢永一 (1999) 「日本の知恵を知る故事ことわざ」, 講談社
日向一雅 (2000) 「ことわざ」 高橋書店
丹野顕 (1998) 「意味から引ける慣用句辞典」, 日本事業出版社

アンケート

「カザフ語と日本語におけることわざ, 慣用句表現と寓話の異文化間比較」に関する研究を行なっています。

何卒, ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

次のカザフ語のことわざと慣用句表現を意味や使える場合を考えてお書きください。

1) Айдай таза, күндей нұрлы (Чиста как луна, светла как солнце)

直訳は 「月のように綺麗, 太陽のように明るい」

2) Ас атасы – нан (Хлеб всему голова)

直訳は 「パンは食べ物のお父さん」

3) Жемісті ағаштың басы төмен (Дерево с плодами низко клонится)

直訳は 「果物が多い木が低く下がる」

4) Қас пен көздің арасында (Между бровью и глазом)

直訳は 「眉毛と目の間」

5) Бүркіттей бұру (Хватать как беркут)

直訳は 「ゴールデンイーグルのようにつかむ」

6) Ақ жүрек (Белое сердце)

直訳は 「白い心臓 (心)」

日本語に近い意味のことわざや慣用句表現があれば, お書きください。

АНКЕТА

Прошу содействия в исследовании для магистерской диссертации на тему «Межкультурное сопоставление пословиц, поговорок, устойчивых выражений и басен в казахском и японском языках». Информация будет использована только в данной исследовательской работе.

Напишите ваше понимание следующих японских пословиц и устойчивых выражений:

7) 狼に衣 (おおかみにころも) дословный перевод «Одежда волку»

8) 糠に釘 (ぬかにくぎ) дословный перевод «Вбивать гвозди в рисовую крупу»

9) 狸寝入り (たぬきねいり) дословный перевод «Спать как енот»

10) 木に竹を接ぐ (きにたけをつぐ) дословный перевод «Прикрепить бамбук к дереву»

11) 足を洗う (あしをあらう) дословный перевод «Вымыть ноги»

12) 心を奪う (こころをうばう) дословный перевод «Украсть сердце»

Напишите эквиваленты если есть пословицы или устойчивые выражения на казахском языке с похожими значениями.

Межкультурное сопоставление пословиц, устойчивых выражений и басен в японском и казахском языках

Назгуль УШКЕМПИРОВА
(Бишкекский государственный университет)

Абстракт

Несмотря на различия исторического процесса образования и развития народов, их прошлого и культурных ценностей, пословицы, устойчивые выражения и басни помимо культурных особенностей отражают и общечеловеческие нравственные ценности.

В ходе сопоставительного анализа можно прийти к выводу, что в казахском и японском языках пословицы с одинаковым смыслом имеют разную форму выражения. Пословицы вне зависимости от места их создания всего в нескольких словах могут указать на общепринятые правила поведения, описать жизненные ситуации и явления. Однако на восприятие и понимание смысла пословиц большое влияние оказывает окружающая среда и место обитания.

Особенность басен состоит в том, что они больше напоминают небольшие нравоучительные рассказы, притчи, написанные в прозе. При сравнении басен на казахском и японском языках было выявлено, что в зависимости от ситуации персонажи, появляющиеся в баснях, отличаются. Например, в каждой стране героями басен становятся животные или предметы, которые не свойственны басням другой страны.

Ключевые слова: казахский язык, японский язык, пословица, устойчивое выражение, басня

研究ノート

УДК: 81.3

**О некоторых трудностях перевода
ономатопозэтической лексики в японских комиксах
манга
на примере 1-4 томов манги «Гинтама» Сорати
Хидэаки**

Галия АЙТИКЕЕВА¹

(студентка-магистрантка Бишкекского государственного университета)

Абстракт

Ономатопозэтическая лексика является неотъемлемой частью японских комиксов манга, она используется как в речи персонажей (первый тип), так и в описаниях действий или иллюстрациях (второй тип). В данной статье приведен анализ перевода звукоподражаний второго типа. Рассматриваются четыре тома манга-сериала «Гинтама» Сорати Хидэаки, анализируются перевод и ошибки, допущенные при переводе.

Ключевые слова: манга, ономатопея, ономатопозэтическая лексика, перевод, трудности перевода

1. Введение

Говоря о японских комиксах манга, нельзя не уделить внимание ономатопее, или звукоподражанию. Для начала стоит ввести определение данного термина. Ономатопея, или ономатопозэтика – это слова, передающие звуки живой и неживой природы, эмоциональные и физические ощущения, описывающие действия и состояния предметов. Записываются они обычно слоговыми азбуками хирагана и катакана, служат для лаконичного или эмоционального описания, создания «эффекта присутствия» и оживления повествования. Исследователи отмечают, что основная

¹ Данная статья представляет собой часть выпускной квалификационной работы автора, написанной в 2020 году.

Научный руководитель ВКР – и.о. профессора кафедры японской филологии факультета востоковедения и международных отношений Бишкекского государственного университета им. К.Карасаева Нами Уварова.

Рецензент ВКР – преподаватель кафедры японской филологии факультета востоковедения и международных отношений Бишкекского государственного университета им. К.Карасаева Н. Ушкempiрова.

функция ономатопеи – экспрессивная.

Ономатопэтика в японском языке встречается повсеместно – как в устной речи, так и в художественной литературе. А в манге ономатопэтическая лексика используется сразу в двух видах: в речи персонажей и как часть иллюстрации – для описания характера действия, природы, движения, эмоций, состояний персонажей (грусть, злость, раздражение и т.п.) и для погружения в атмосферу произведения. И здесь при переводе мы встречаемся с главной проблемой – трудностью поиска эквивалента в русском языке.

В русском языке имеется большое количество глаголов, описывающих разные состояния и действия. А в японском языке нужный оттенок при описании состояния или действия придает именно ономатопэтическое слово, которое сочетается с глаголом [4, 4]. В теории перевода выделяются такие способы перевода, как заимствование, различные трансформации (замена, описание, добавление), компенсация, опущение [4, 11-12]. Но при переводе на русский язык зачастую используется прием замены части речи.

2. Анализ перевода текста

Для анализа ономатопэтической лексики были взяты четыре тома *манги* «Гинтама» Сорати Хидэаки в переводе команды «Welcome to Wonderland» и проведено сравнение с оригиналом на японском языке. Рассматривалась лексика второго типа, то есть не относящаяся к речи персонажей. В процессе анализа выяснилось, что перевод некоторых ономатопэтических слов был опущен. Также была выявлена главная ошибка переводчиков: перевод основывался на происходящем в самом комиксе, а не на значении ономатопэтического слова. В тексте было найдено 1658 единиц ономатопэтических слов с фонетическими и структурными вариантами: например, одной единицей считаются слова «гат», «гот», «дот».

Помимо звукоподражаний, в *манге* использовались ономатопэтические слова, описывающие состояния (*ёроёро* или *ёрот* для описания физической слабости и дрожания ног, или нут для беззвучного и внезапного возникновения). Нужно отметить трудность при категоризации ввиду того, что некоторые единицы сочетают в своем значении как состояние (тактильное или визуальное ощущение), так и звук, и движение. Приведём несколько примеров наиболее часто встречающихся в тексте ономатопэтических единиц и их перевод на русский язык.

Единица и ее варианты	Кол-во	Тип	Русский перевод
<i>Гат, гот, дот</i>	110	звукоподр., сост.	удар, захват, дум, хватъ, бах, хрясь
<i>Догасян, гасян, дога</i>	66	звукоподр., сост.	бабах, бум, бдыщ, бам
<i>Дзат, дзадзат, дзадзатза</i>	50	звукоподр., сост.	набежали, резко появились
<i>Гогогот</i>	29	звукоподр., сост.	Рёв мотора, напряженная атмосфера, гул
<i>Гатат, гата-гата</i>	24	звукоподр.	стук, грохот, клац
<i>Дога, дого</i>	22	сост.	удар, хрясь
<i>Дододо, дадада</i>	22	звукоподр.	топ-топ, топот
<i>Досат, доса</i>	16	звукоподр., сост.	упал, бам
<i>Чака, кача, чат, гача</i>	14	звукоподр.	щелк, клац, затвор
<i>Бакит</i>	14	звукоподр., сост.	Удар
<i>Буроро</i>	14	звукоподр.	брр, рев мотора
<i>Дзава-дзава, гая-гая, вай-вай</i>	14	звукоподр., сост.	шум толпы, шелест толпы, болтовня
<i>Батабата</i>	13	звукоподр.	топ-топ
<i>Каджи-каджи, кари-кари, куча-куча</i>	11	звукоподр.	чафк-чафк, хрум-хрум
<i>Гара, гарат, гарара</i>	10	звукоподр.	Вжих
<i>Киран</i>	1	виз.	нет перевода

Исходя из приведенных данных, мы можем сделать вывод, что для одной ономатопоэтической единицы предлагается несколько вариантов перевода. Здесь мы сталкиваемся с трудностью при поиске подходящего эквивалента. Поясним это на примере таких ономатопоэтических слов, как «батабата» и «дододо», которые переведены на русский, как «топ-топ» или «топот». В русском языке слово «топот» не может передать оттенок интенсивности слова «дододо», которое используется для описания бега толпы или какой-либо группы людей, но подходит для описания «батабата», что означает «торопливые шаги или движения». Хотелось бы упомянуть еще такие слова, как «дзавадзава» и «гаягая», которые оба используются для описания шума толпы. Но в первом случае описывается как «слышимое как одно целое - звук множества голосов или движений людей, но с беспокойством», а второе как «болтовня». «Вайвай» также используется при описании множества голосов, но в

данной *манге* оно описывало толпу во время фестиваля.

Также, например, слова «доса», «досат» или «досся» описывают звук и состояние падения тела, что на русский переводится, как глагол «упал» или слово «бам». На одной из страниц мы видим неправильный перевод. Слово «качакача» переведено как «цок-цок» (рис. 1), т.е. относится к герою. Но это неправильно, так как это слово в данном случае относится к стаканам на подносе и описывает звон посуды, которая звенит при касании. Неправильным является и перевод слова «гессори» – «наклонился» (рис. 2). Это слово описывает состояние полного истощения, а не движения героя.

В *манге* встречается большое количество онomatopoeических единиц, описывающих удары (однократные действия – «гот, гат», многократные – «баки, дого»), столкновения тяжелых предметов («гасян, догасян, гогасян» и т.п.), звук открытия раздвижных дверей («гарат, гарара, гара»), звук огнестрельного оружия («джака, чакат, кача») и звук вытаскивания меча из ножен («чат») или взмах и удар мечом («зупун»). Среди упомянутых есть онomatopoeические единицы, придуманные автором *манги*, что несколько затрудняет процесс перевода, но расширяет поле для фантазии переводчиков.

Интересно и то, что существуют отдельные слова для описания определенных звуков. Например, для описания стука *содзу* – устройства из бамбука для отпугивания животных в традиционном японском саду – есть отдельный звук – «какун». Для описания звука встряхивания металлических предметов – «ширан».

3. Выводы

Явление онomatopoeии в русском языке распространено не так, как в японском или английском языках, в связи с чем возникает трудность правильного и понятного перевода онomatopoeических слов. Онomatopoeия служит для создания атмосферы, но



Рис 1. «Гинтама», том 1, стр. 11.



Рис 2. «Гинтама», том 1, стр. 112.

иногда неправильный подбор слов, наоборот, разрушает ее или мешает погружению в нее. Также большую роль играет окраска слов. И в качестве решения данной проблемы команды переводчиков зачастую используют разные шрифты для придания нужного оттенка словам.

Важно отметить и то, что не все команды переводчиков переводят звуки – как писалось ранее, количество оноματοпоэтических слов так велико, что есть даже отдельные переводчики звуков, но их не так много. И также играет роль язык, с которого ведется перевод. В зависимости от опыта и уровня знания языка переводчик может прибегать к словарям или готовым таблицам звуков, которые есть как на английском, так и на русском языках.

Опуская перевод оноματοпеи, переводчики обедняют произведение, но и неправильный или неточный перевод также мешает его правильному восприятию.

Список литературы

1. Берё Ещеркин А.С., Кириллов А.Г. Языковые особенности японской оноματοпоэтической лексики // ЧОУ ВО «Международный институт рынка», г. Самара, Россия — 2016. — С. 110-115
2. Ещеркин А.С., Кириллов А.Г. Сравнительный анализ английской и японской оноματοпоэтической лексики в поликодовых текстах на материале комиксов и манга // ЧОУ ВО «Международный институт рынка», г. Самара, Россия — 2017. — С. 116-118
3. Ковалева Д. И. Междометия в переводном японском тексте манга // Вестник НГУ. Серия: История, филология. 2019. Т. 18, № 2: Филология. С. 98–106.
4. Румак Н. Г. О некоторых особенностях перевода оноματοпоэтической лексики в японских комиксах манга на русский язык // Россия - Япония: политика, история и культура. Сборник статей и докладов участников международной научно-практической конференции. — Издательство Академии наук РТ Казань, 2018. — С. 205–210.
5. Румак Н. Г. Лексические проблемы перевода на примере японской оноματοпеи // Материалы межвузовской научно-практической конференции Актуальные проблемы преподавания научно-практического перевода в вузе 19 мая 2005, Москва. — 2005. — С. 328–338.
6. Румак Н.Г. Теоретические и практические проблемы межъязыковых соответствий (на примере перевода оноματοпоэтической лексики в японском языке). Автореферат дис. ... канд. филол. наук. М., 2007.
7. Румак Н.Г., Зотова О.П. Толковый японско-русский словарь оноματοпоэтических слов // — М.: Издательство «МОНОГАТАРИ», 2012. — 496 с.

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 58-64
アイティケーワ ガリヤー,
日本の漫画におけるオノマトペの翻訳の難しさについて
—空知英秋の「銀魂」1～4巻を例に—

8. Соколова А.В. Ономатопоэтика как отражение языкового сознания: трудности перевода // Тетради переводчика, Москва. — 2016. — С. 117-133
9. https://readmanga.live/gintama__A1ec180/vol1/1#page=12 (Дата обращения: 17.01.2021)
10. https://readmanga.live/gintama__A1ec180/vol1/4#page=2 (Дата обращения: 17.01.2021)

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 58-64
アイティケーワ ガリヤー,
日本の漫画におけるオノマトペの翻訳の難しさについて
—空知英秋の「銀魂」1～4巻を例に—

日本の漫画におけるオノマトペの翻訳の難しさについて —空知英秋の「銀魂」～4巻を例に—

アイティケーワ ガリヤー
(ビシケク国立大学大学院生)

要約

オノマトペは日本のマンガには欠かせないものである。キャラクターの会話（第1のタイプ）と行動描写やイラスト（第2のタイプ）の双方に使われている。本稿では、第1のタイプに入るオノマトペの翻訳分析を行った。また、空知英秋の漫画シリーズ「銀魂」の4巻を考察し、その翻訳と翻訳の誤りについて分析し、考察を行った。

キーワード : マンガ, オノマトペ, オノマトペの語彙, 翻訳, 翻訳の難しさ

研究ノート

УДК: 339.13:659.1(075.8)

Интерпретация скрытых рекламных символов на примере японской анимации

Юлия ВИЛЕНСКАЯ¹

(студентка-магистрантка Бишкекского государственного университета)

Абстракт

Данная статья представляет собой выдержки из магистерской работы студентки-магистрантки БГУ Юлии Виленской «Методы продакт-плейсмента (product placement) и его действия в видеоработах на примерах фильмов и сериалов: с точки зрения символизации и интерпретации символов». В статье термин product placement будет заменён на термин «скрытая реклама» для упрощения восприятия.

В статье приводятся примеры скрытой рекламы в японской анимации (аниме) в фильмах различных жанров, таких как «повседневность», «спорт» и музыкальный жанр, а также проводится анализ времени рекламы за одну серию продолжительностью в среднем 24 минуты. При просмотре видео учитывается такой аспект, как создание положительного образа рекламируемого товара через призму популярности персонажей. Встроенная в сюжет реклама не вызывает отторжения у зрителей, а наоборот, являясь частью повествования, она является более эффективной по сравнению с телевизионной рекламой.

В статье содержится подробный разбор интерпретации используемых для этого символов.

Ключевые слова: скрытая реклама, product placement, аниме, символ.

1. Введение

Японская анимация в отличие от её зарубежных аналогов предназначена для всех возрастных категорий населения. В связи с этим она имеет больше возможностей воздействия на потенциального потребителя. Будучи интегрированной во все слои

¹ Данная статья представляет собой часть выпускной квалификационной работы автора, написанной в 2015 году.

Научный руководитель ВКР – к.и.н., доцент кафедры рекламы и связей с общественностью Кыргызско-Российского Славянского университета имени Б. Н. Ельцина Р.Ш. Зайнулин
Рецензент ВКР – к.ф.н., доцент кафедры журналистики Кыргызского государственного университета им. И. Арабаева Ш.А. Искендерова

общества, она формирует покупательский интерес. Интерпретация символа в каждом конкретном случае даёт человеку возможность отождествлять себя с любимым персонажем, создавая особую связь между материальным объектом (продуктом) и его символическим наполнением (абстрактными качествами).

В качестве примера в данной статье представлены следующие аниме. «Юрий на льду». Эпизод 1. Продолжительность 23.30 минуты, из которых музыкальные композиции составляют 3 минуты.

Время скрытой рекламы – 200 секунд или около 3 минут 30 секунд. Основная реклама спортивных товаров от компании Mizuno. Также присутствует реклама спортивных спонсоров и туризма.

«Магазинчик сладостей». Эпизод 1. Продолжительность 24 минуты 30 секунд, из которых музыкальные композиции составляют 3 минуты. Однако во вступительной музыкальной части также присутствует скрытая реклама.

Время скрытой рекламы – 197 секунд, или около 3 минут. Каждая серия данного сериала рассказывает о конкретной японской сладости, которую можно купить в Дагасия (магазин, где продаются дагаси - дешёвые сладости и снеки). Здесь идёт прямое взаимодействие с товаром, герои раскрывают качества товара, в данном случае конфеты, говорят ее название, пробуют, предлагают различные варианты её употребления. Демонстрируются логотип и упаковка.

«Дарованный». Эпизод 1. Продолжительность 22 минуты 55 секунд. Музыкальная часть – 3 минуты. Скрытая реклама составила 188 секунд, или 3 минуты 10 секунд. Тематика данного аниме подразумевает упоминание музыкальных инструментов. Присутствуют сцены с использованием гитары и барабанной установки.

«Re life - Повторная жизнь». Эпизод 13. Продолжительность 23 минуты 59 секунд. Музыкальная составляющая – 3 минуты. Реклама туризма через демонстрацию летнего фестиваля.

Рассмотрим примеры более подробно.

2. Фильм «Юрий на льду»

В первой серии главный герой Катцуки Юрий не смог проявить себя и занял последнее место на Гран-при по фигурному катанию. Стоит отметить, что сцены с неудачным выступлением нет. С уверенностью нельзя сказать, что сцена отсутствует по причине нежелания ассоциировать данный бренд одежды для спорта с поражением, однако позже в этой же серии главный герой с точностью повторяет блестящее выступление другого героя - победителя Гран-при -



Рис.1 Bosco/спонсоры-фигури

именно в одежде Mizuno, а это уже говорит нам о том, что бренд Mizuno ассоциируется с успехом.

Большое экранное время уделено спортивным спонсорам. Как и в реальности, в фильме во время выступлений на льду борта катка украшают наименования различных брендов спонсоров. アイジマ建設, フジエイ証券, Synergy 21, Nishijo, Hashimoto, Winners и Ben&John. Все это так называемые бренды-фикции, которые не имеют аналогов в реальной жизни. Часто к фикциям прибегают для того, чтобы не заключать никаких рекламных контрактов, и для создания впечатления реалистичности происходящего. Ведь в реальной жизни во время крупных соревнований нельзя обойтись без рекламы на баннерах.



Рис.2 Спортивный костюм от Mizuno

Говоря о фикциях, нельзя не упомянуть об удачном использовании данной рекламной технологии в качестве рекламы туризма. Родным городом главного героя в аниме является город Хасэцу в префектуре Сага. Однако на самом деле такой город не существует. Наиболее подходящим под описание вымышленного города является город Карацу в той же префектуре Сага. Замок - достопримечательность в Хасэцу – это замок в Карацу. Примечательно, что после выхода аниме на станции в городе Карацу начали использовать POS-материалы² с персонажами из фильма “Юрий на льду”. Благодаря скрытой рекламе в аниме данная местность обрела популярность



Рис.3 Обувь от Mizuno

из-за благоприятного образа вымышленного Хасэцу и самих персонажей.

Помимо бренда Mizuno, ещё один бренд, часто мелькающий на экране, - это российский спортивный бренд Bosco. Победитель Гран-при Виктор Никифоров одет в олимпийку Bosco, что также положительно сказывается на имидже самого бренда.

3. Фильм «Магазин сладостей»

В Японии часто ведется активная пропаганда культа еды в кинофильмах и мультфильмах, и "Магазин сладостей" – это отличный пример интегрирования

² Материалы, способствующие продвижению бренда или товара в местах продаж.

скрытой рекламы в сюжет аниме-сериала. Все повествование строится на описании характеристик и качеств различных известных японских сладостей дагаси (собирательное название недорогих конфет и сэков в Японии). Название каждой серии - это название какой-либо конфеты, о которой на протяжении всего хронометража серии главные герои рассказывают. В качестве примера возьмём первую серию аниме, где герои рассказывают о популярной сладости умайбо. Кукурузные палочки, которые могут быть как сладкими, так и солёными, имея огромное разнообразие вкусов, стали предметом обсуждения героями Коконацу - сыном владельца магазинчика Дагасия, и Хотару - дочерью владельца крупной компании по производству конфет. Столь яркое описание героями вкусовых сочетаний невольно вызывает у зрителя желание попробовать данную сладость. Также в серии упоминаются потефу, конфеты со вкусом кофе с молоком, и «молодые пончики». Каждая сцена занимает большое экранное время, поэтому может создаться ощущение, что ты смотришь рекламу, однако, как показал анализ количества времени скрытой рекламы за одну серию, она не превышает время рекламы в других аниме. И даже напротив, будучи избавленной от негатива обычной ТВ-рекламы, такая реклама конфет вызывает лишь ностальгические воспоминания о детстве и беззаботном времени.



Рис.4 Умайбо



Рис.5 «Молодые пончики»



Рис.6 Конфеты «кофе с молоком»



Рис.7 Картофель (потефу)

4. Фильм «Дарованный»

Аниме-сериал, который повествует об отношениях между главными героями и их любви к музыке. Уэнояма - электрогитарист в группе, который, имея определённый талант, немного устал от музыки и потерял ту страсть, с которой раньше играл. Сато - человек, далёкий от музыки, однако после трагических событий, получив гитару

погибшего друга, решает начать на ней играть в память о нем. Сцена в первой серии, когда Уэнояма меняет старые порванные струны на гитаре Сато фирмы Гибсон на новые, символизирует начало их дружбы и творческого союза. В кадре крупным планом показано название и логотип струн. Однако при внимательном рассмотрении можно заметить, что называются они Dabbanio XL niccolum wound, тогда как оригинальные струны называются Daddario XL nickel wound. Поэтому отнесем это к фикации. Нельзя отрицать, что название очень похоже и логотипы тоже имеют определенное сходство. И все же в аниме активно мелькают логотипы электрогитар Gibson и Fender telecaster, а также усилители фирмы Marshall и барабанные установки Pearl без каких-либо изменений в названии бренда или логотипе.

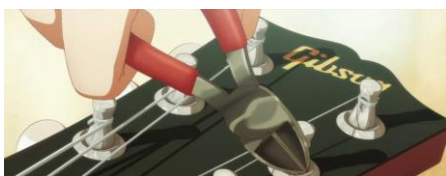


Рис.10 Dabbanio XL (фикация)



Рис.12 Барабанная установка Pearl



Рис.9 Электрогитара Fender telecaster

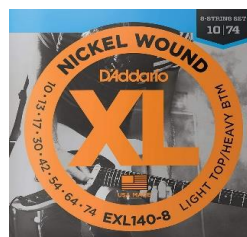


Рис.11 Daddario XL (оригинал)



Рис.13 Усилитель Marshall

5. Фильм «Re life. Повторная жизнь». Японские фестивали как символ туризма

Большинство аниме-сериалов в жанрах «повседневность» или «школа» показывают зрителю обычную жизнь рядового японца через призму различных обыденных вещей и событий, например, летних фестивалей, поедания традиционных блюд, любования сакурой, походов на горячие источники или поездок

к морю.

В одном из таких аниме «Re life. Повторная жизнь» в 13 серии показан летний фестиваль, где главные герои переживают повторную жизнь, пытаясь исправить ошибки прошлого и насладиться молодостью. Эта демонстрация интересна для иностранцев тем, что через фестиваль, еду, источники и море они узнают о Японии и возникает желание приехать сюда и испытать всё это самому.

Такую скрытую рекламу можно назвать своеобразной идеологической рекламой. Таким образом создаётся определённый интерес к Стране восходящего солнца.

В заключение надо отметить, что интерпретация символов - это своего рода «дешифровальная машина», которая позволяет зрителям понять скрытый смысл и найти связь между тем, что реально существует (товаром) и его «наполнением» (абстрактными качествами). При анализе каждого эпизода становится ясно, что продукт наделяется качествами, которые ему в действительности не свойственны. Например, одежда от фирмы Mizuno на самом деле является обычной спортивной одеждой, однако через образы и смысл, переданные посредством аниме «Юрий на льду», обыватель «наполняет» её и делает символом успеха.

Список литературы

1. Берёзкина О.П. Product Placement. Технологии скрытой рекламы. - СПб.:2009 г.
2. Данилевская О.В. Связи с общественностью в социально-культурной сфере. СПб.: СПбГУТ, 2001. - 10 с.
3. Киселева П. А. – Product placement по-русски 2008 г.
4. Моргун А.В. Информационные споры в связи с ненадлежащей рекламой в СМИ и кинопродукции. Диссертация на соискание ученой степени кандидата юридических наук. ВШЭ. Москва. – 2014. – 160 с. Специальность 12.00.13 – информационное право. Научный руководитель: доктор юридических наук, профессор Шаблинский И.Г.
5. Федотова Л.Н. Социология рекламной деятельности. Учебник для вузов. 3-е изд., испр. и доп. — М.: Оникс, 2007. — 556 с.
6. Productplacement в средствах массовой информации / Под ред. Мэри-Лу Галисиан / Пер. с англ. — М.: «Эт Сеттера Пабблишинг», 2004.
7. Ward P. Picture composition for film and television/Пер. с англ. - М.:ГИТР, 2005.
8. <https://emea.mizuno.com/eu/en/home/> (Дата обращения: 15.01.2021)
9. <https://ru.wikipedia.org/wiki/Дагаси> (Дата обращения: 19.01.2021)
10. <https://www.bosco.ru/> (Дата обращения: 15.01.2021)
11. <https://www.daddario.com/products/guitar/electric-guitar/> (Дата обращения: 16.01.2021)
12. <https://findanime.net/> (Дата обращения: 10.01.2021)

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 65-72

ウィレンスカヤ ユーリヤ,

隠された広告記号の解釈

-日本のアニメを例に-

13. <https://www.gibson.com/> (Дата обращения: 16.01.2021)
14. <https://www.marshallheadphones.com/us/en/> (Дата обращения: 17.01.2021)
15. <https://www.music-hummer.ru/catalog/udarnye-ustanovki/filter/vendor-is-pearl.html>
(Дата обращения: 18.01.2021)

隠された広告記号の解釈 -日本のアニメを例に-

ウィレンスカヤ ユーリヤ
(ビシケク国立大学大学院生)

要約

本稿は、ビシケク国立大学東洋国際関係学部大学院修士課程に在籍するウィレンスカヤ・ユーリヤの研究論文(修士論文として準備中)「映像作品における商品配置の手法と効果-映画とテレビドラマを例とした記号化と記号解釈の視点より」からの抜粋である。

なお、PRODUCT PLACEMENT(商品配置)という用語は、理解が得られやすくするために「隠された広告」ということばに置き換えて説明する。

本稿では、日本のアニメーション作品の中の、「日常」、「スポーツ」、「音楽」といった異なるジャンルにおける「隠された広告」の例を紹介し、1話あたり平均24分間という広告時間の分析も行う。ビデオ視聴による効果として、キャラクターの人気によって商品イメージが高まるよう考慮されている。物語の中に組み込まれた広告は、視聴者に拒絶されることはない。逆に、物語の一部になってしまうため、効果はテレビコマーシャルに比べて大きい。そのような効果を期待して使用されている記号の解釈について詳細な分析を行う。

キーワード：隠れた広告, PRODUCT PLACEMENT, アニメーション(アニメ), 記号

教育事情・実践報告

YJK: 061.25

キルギス日本語教師会会報の創刊から 20 周年を迎えて —会報バックナンバーの概観—

ヴォロビヨワ ガリーナ (元ビシケク国立大学)

要約

1999 年にキルギス日本語教師会が創立された。そして 2000 年からキルギス日本語教師会会報を発行しはじめた。本稿ではキルギス日本語教師会会報の 2000～2020 年のバックナンバーを基に会報の誕生、内容、意義について述べる。

キーワード: キルギス日本語教師会, 日本語教育, 教師会会報, バックナンバー, 記事

1. はじめに

1999 年にキルギス日本語教師会が創立された。教師会の主な活動はキルギスおよび中央アジア日本語弁論大会・日本語教育セミナーの開催, 作文コンクールや朗読コンテストの開催, 教師会会報の発行 (過去年によって 1 年に 1 回から 5 回まで作成), キルギス共和国日本語教師会研究紀要『キルギス日本語教育研究』(1 年に 1 回作成) の発行, 教師会のホームページの作成, 公開授業の参観, 教師養成コースや教授法の勉強会, 教授法のセミナー, 日本学・日本語教育国際研究大会の開催などである。最初から毎月, 近年は 2, 3 ヶ月に 1 回会合を行っている。キルギスの日本語教育についてヴォロビヨワ (2013, 2014, 2017), ヴォロビヨワ & 伊藤 (2017) が述べている。

キルギス日本語教師会会報の発行は 2000 年 12 月 16 日から始まり, 2020 年に会報第 1 号の発行から 20 周年になる。そこで教師会会報発行のイニシエータだった筆者は本稿で会報の 2000～2020 年のバックナンバー (第 1 号～第 56 号) を概観することにした。全てのバックナンバーを以下のサイトで見られる。

<https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik>

本稿の作成に当たって全てのバックナンバーを読み直すと, 20 年間のキルギスの日本語教育事情, キルギス日本語教師会の活動が目の前に浮かび, 改めて教師会の歴史の記録手段としての会報の重要性について考えた。ここで会報を基にキルギス日本語教師会の歴史を振り返る。

2. キルギス日本語教師会会報の誕生及び内容

現在キルギス日本語教師会の会員の中に現地教師が日本人教師よりずっと多い。しかし教師会創立のイニシエータはキルギス日本センターの萩原幸子先生とビシケク人文大学の三井勝雄先生をはじめ日本人教師であって, 教師会が創立された当時, 日本人会員が多く, 現地

会員はあまり多くなかった。筆者は 2000 年に教師会会長に選ばれ、現地会員の人数の増加、さらに教師会の活動についての情報を広めることを目指して、教師会会報を日本語とロシア語で発行することを提案した。そしてキルギス日本語教師会会報第 1 号(付表 1)が 2000 年 12 月 16 日に教師会会長の筆者、副会長のミヘルチッチ・ヤネズ先生及び CIS 委員会にキルギスに派遣されたキルギス日本センターの中林理絵先生の 3 人によって発行された。

その後、キルギス日本センター(現在キルギス日本人材開発センター)、キルギス国立民族大学(現在キルギス国立総合大学)、ビンケク人文大学(現在ビンケク国立大学)、キルギス国立教育大学(現在キルギス国立大学)の日本語教師が教育機関ごとに順番に会報を発行していた。第 15 号(2005 年 11 月)に初めて会報にキルギス日本人材開発センターの渡邊知積先生が作った教師会のロゴ「KAJLT」を付けた。

日本語弁論大会、作文コンクール、朗読コンテスト、日本語教育セミナーなどの教師会の活動、教育機関の紹介、日本文化に関する催しなどが会報の内容であった。さらに教師は教授法、日本での教師研修と研究、日本とキルギスの文化などについての原稿を投稿し、学生は弁論大会に出場した感想、日本への留学についての原稿を投稿した。

時間が経って、会報第 31 号(2012 年 6 月)以降会報は編集委員会によって発行されることになった。2014 年 9 月(会報第 36 号)以降現在まで筆者が会報編集委員長を務めている。筆者と一緒にミヘルチッチ・ヤネズ先生とロディナ・ガリーナ先生が編集委員会に入っていて、記事のロシア語訳を手伝ってくれた。ロシア語訳かキルギス語訳の掲載の意義は日本語が分かる教師だけでなく、日本語が分からない教育機関の教育関係者、日本語の知識が浅い学生などが読めること、また会報を翻訳の教材として使えることであった。

2000 年から 2020 年まで第 1 号から第 56 号までの会報が発行され、合計 999 頁、平均約 18 頁であった。全部で 763 本の原稿が掲載され、そのうち会員による原稿が 558 本、非会員による原稿が 205 本、そのうち学生による原稿が 117 本であった。外国から投稿された原稿が 94 本掲載され(投稿するとき日本にいたキルギス人も含め)、そのうち日本、ロシア、アメリカ、中国、ドイツ、フランス、トルコ、ブルガリア、ケニア、ウズベキスタン、カザフスタン、タジキスタンなどの国々からの原稿があった。

教師会会員の中に活発に投稿した人がいた。例えば筆者が一番多くて 65 本の原稿、2 番目に多いのはキルギス国立総合大学のドゥイショノワ・ナリーザ先生が 13 本の原稿、3 番目に多いのはビンケク人文大学の三井勝雄先生とキルギス日本センターのドロトバエワ・アイナ先生がそれぞれ原稿を 10 本ずつ投稿した。そして外国からの投稿の中で一番多いのはキルギス日本語教師会賛助会員である津田塾大学の関麻由美先生による 6 本の原稿であった。在キルギス日本国大使館にも協力を仰ぎ、定期的に原稿の投稿を依頼した。例えば会報第 12 号には渡辺修介臨時代理大使による記事「日・キルギス両国関係の見通し」が掲載された。その後駐キルギス共和国日本国全権特命大使による記事もあった。会報 27 号には丸尾眞大使のご挨拶、会報第 53 号には山村嘉宏大使によるキルギス日本語教師会創立 20 周年の祝辞、前田茂樹大使による着任のご挨拶が会報第 55 号、さらに「キルギス共和国日本語教師会創立 20 周年記念レセプション」という記事が会報第 56 号に掲載されている。

2020 年には、会報第 56 号(付表 3)が発行された。図 1 には教師会会報のバックナンバーの一部などが提示してある。

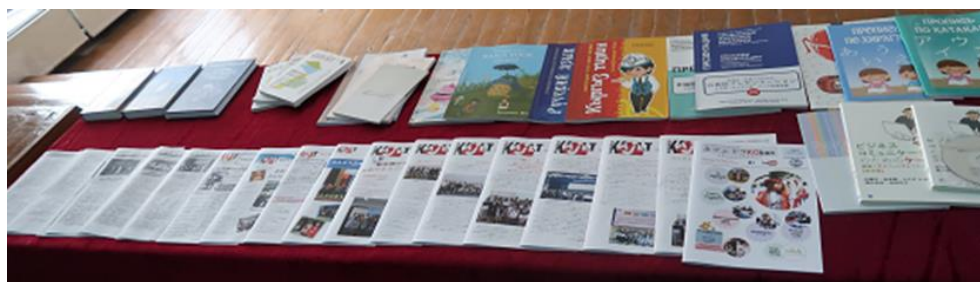


図1 教師会の会員の発行物及び教師会会報のバックナンバーの一部など

会報に重要なことについての原稿も掲載された。例えば、会報第 36 号には国際交流基金日本語国際センターの 25 周年について、会報第 37 号にはキルギス日本人材開発センター設立の 20 周年についての原稿が掲載され、会報第 53 号はキルギス日本語教師会創立 20 周年特集号であった。さらに会報第 38 号にはキルギス共和国日本語教師会が平成 27 年度外務大臣表彰を受賞したことについて（付表 2）、会報第 41 号にはキルギス日本語教師会が国際交流基金の「さくらネットワーク」に加入したことについての記事が掲載されている。

次の節で具体的にキルギス日本語教師会の活動についての記事を概観する。

3. キルギス日本語教師会の活動についての記事

3.1. 日本語弁論大会

キルギスの学生はキルギス共和国日本語弁論大会、中央アジア日本語弁論大会、モスクワで開催される全 CIS 学生日本語弁論大会（現在モスクワ国際学生日本語弁論大会）に参加している。図 2 には 2016 年キルギス共和国日本語弁論大会の出場者、審査員、スポンサーの写真を提示した。ここで会報に掲載された記事を基にキルギスの学生が入賞を果たした弁論大会について述べる。



図2 2016 年キルギス共和国日本語弁論大会の出場者、審査員、スポンサー

中央アジア日本語弁論大会は 1997 年に始まって、順番にウズベキスタン、カザフスタンとキルギスで開催されている。会報第 6 号は 2002 年にキルギスのビシケク人文大学で開催された第 6 回中央アジア日本語弁論大会を中心に作成された。その大会で初めてキルギスの出場者が 1 位になった。それはキルギス国立教育大学の 4 年ウラコワ・マハバットであり、スピーチの

テーマは「愛国心」であった。

会報第 9 号は 2003 年にウズベキスタンのタシケントで開催された第 7 回中央アジア日本語弁論大会を中心に作成された。その大会で 1 位と 2 位を独占し、特別賞にも 1 人が選ばれ、

計 3 人のキルギスの出場者が入賞した。それは

- 1 位 キルギス国立民族大学のサマコワ・イバラット
- 2 位 キルギス日本センターのウメトバエワ・カリマン
- 特別賞 キルギス日本センターのカチクンバエフ・サイテックであった。

会報第 12 号は 2004 年にカザフスタンのアルマトゥイで開催された第 8 回中央アジア日本語弁論大会を中心に作成された。キルギスの出場者が 1 位から 3 位まで独占し、特別賞にも 1 人が選ばれ、計 4 人が入賞した。それは

- 1 位 キルギス国立教育大学 4 年 ヌルマンベトワ・アクベルメット
- 2 位 キルギス民族大学 4 年 アサノワ・グリザル
- 3 位 ビシケク人文大学 4 年 ミザンバエフ・ターライ
- 特別賞 キルギス日本人材開発センター 3 年 イビシェワ・チナーラであった。

第 6 回弁論大会以来、多くのキルギスの学生が上位入賞し大成功を収めている。紙幅の関係上、全ての年の弁論大会の結果が紹介できないが、会報 52 号は 2019 年にビシケク人文大学で開催された第 23 回中央アジア日本語弁論大会特集号であった。その大会で 1 位になったのはキルギスのビシケク人文大学の 4 年アットクロワ・メーリバンであり、当大学 3 年ムラトワ・ウムットは特別賞を受賞した。その大会で初めて審査委員長は中国からいらした北京日本学術研究センターの筧川幸司先生であった。

会報第 7 号に 2002 年にモスクワで開催された第 15 回全 CIS 学生日本語弁論大会でビシケク人文大学の 3 年ジョルドシェワ・チョルポンが 1 位に入賞し、会報第 10 号に 2003 年に第 16 回全 CIS 学生日本語弁論大会でキルギス国立民族大学のサマコワ・イバラットが 2 位になったことの報告が公開されている。そして会報第 22 号に 2008 年にキルギス国立大学の 4 年オロズバコワ・グリザットが 2 位に入賞したということの報告もある。会報が発行しはじめる前にモスクワでキルギス日本センターの日本語学習者アシラリエフ・クバヌチベックが 2 位、ヤホントワ・スベトラナが 1 位になった。モスクワで 1 位と 2 位になった出場者は褒美として日本旅行をすることになる。会報第 13 号に 2004 年にモスクワで開催された第 17 回全 CIS 学生日本語弁論大会でキルギス国立教育大学 5 年のソーロンバエワ・アイヌーラが 4 位に入賞して、1997 年以来連続で上位 6 名への入賞を果たした。



図 3 第 31 回モスクワ国際学生日本語弁論大会の出場者

回モスクワ国際学生日本語弁論大会の出場者の写真を提示した。

日本で毎年外国人による日本語弁論大会が開催されている。ビシケク人文大学 4 年トクトルバイ・ウウル・ヌルベックがその第 47 回コンクールに参加し、その感想の原稿を会報第 18 号に投稿した。図 3 には第 31

3.2. 作文コンクール

日本語弁論大会は学生の話す能力の育成にとってとても役立つが、書く能力も重要である。多くの人の前に出場する勇気がない学生でも日本語の知識を生かすには作文コンクールが相応しいと考えて、筆者は教師会会長として作文コンクールを提案し、幸いにも日本で NGO ヒューマン・アンド・ジオサイエンスの岩田昭夫氏という協力者を見つけた。2002 年に第 1 回作文コンクールが実施され、その後 11 年間実施された。岩田氏から毎年賞品と参加賞を受け取った。残念なことに岩田氏は 2016 年に亡くなった。図 4 には岩田氏が日本で発行した 2002～2006 年の作文コンクールの優秀作品集の表紙を提示した。会報第 7 号には第 1 回作文コンクールの参加募集が掲載された。テーマは NGO ヒューマン・アンド・ジオサイエンスが指定した。

- ①子供たちのために私ができること
- ②私と日本
- ③環境問題—人間社会の責任

会報第 8 号では第 1 回作文コンクールの結果が公開された。

- 1 位 キルギス日本センター3年 ウメトバエワ・カリマン
- 2 位 キルギス国立教育大学5年 ウラコワ・マハバット
- 3 位 ビシケク人文大学4年 アスィプバエワ・アセリ

岩田氏は優秀な作文を NGO の HP にアップロードした。そのことが予想外に展開した。それについての記事が 2004 年に発行された会報第 11 号に掲載されている。第 1 回作文コンクールで 3 位に入賞したアセリさんの作文をオリジナルとして愛知県名古屋市で活動していた劇団「ちゃりんこ」が劇を上演した。劇団を主宰した相原きり氏が劇団の公演のため脚本に悩んでいてインターネットで偶然アセリさんの作文「子供達のために私ができること」を見つけた。アセリさんの作文の内容は、ビシケク市の子供達のために動物園を作りたい、自然を大切に育てたいということであった。キルギス日本語教師会と NGO ヒューマン・アンド・ジオサイエンスから同意を受けて相原氏は「草原の動物園」という脚本を作成して、その後名古屋市で劇を公演した。幸いにもアセリさんはそのとき日本に留学していて出席できた。相原氏は「観に来てくださったお客様の感想は上々でした」と教師会に報告をして、キルギス日本語教師会に劇のビデオを送ってくれた。

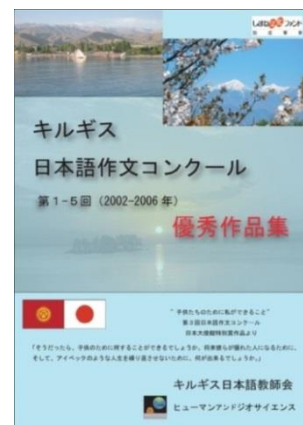


図 4 作文コンクールの優秀作品

3.3. 朗読コンテスト

キルギス日本人材開発センターの国際交流基金・日本語教育指導助手渡邊知積先生は朗読コンテストの実施を提案した。第 1 回朗読コンテストについて会報第 16 号で読むことができる。実行委員長は渡邊先生であった。朗読コンテストは作文コンクールの表彰式と一緒にされた (図 5, 6)。



図 5 朗読コンテストの雰囲気

舞台には落ち着いた色のカーテンの前に大道具
暖炉とランプが置かれ、照明が落ちるとゆったり
た椅子に腰かけた語り手の朗読が始まります。朗
読にはすべてロシア語の訳を用意し、大画面テレビ
リアルタイムで映し出しました。

図 6 渡邊知積先生の記事の一部

3.4. 日本語教育セミナー

毎年春、中央アジア日本語弁論大会の翌日にいつも中央アジア日本語教育セミナーが開催されている。会報には掲載されたセミナーについての記事が多い。また、キルギス日本語教師会はたいてい 8 月末に新学年の開始直前キルギス日本語教育セミナーも開催していた。2017 年からキルギスの日本語教育セミナーは拡大して日本学・日本語教育国際研究大会になった。それについては次の節で述べる。

それ以外に国際交流基金の中央アジア日本語教育巡回セミナーも実施されてキルギスの日本語教師が参加するためカザフスタンに行った。2000 年と 2004 年に実行された巡回セミナーの講師をした早稲田大学の川口義一教授や名古屋大学の尾崎明人教授がその後キルギス日本語教師会会報に原稿を投稿してくださった。

3.5. 日本語教育セミナー

会報第 45 号に日本・キルギス外交関係樹立 25 周年記念キルギス日本学・日本語教育国際研究大会についての原稿が掲載されている (図 7)。大会実行委員長はビシケク人文大学上級



図 7 日本・キルギス外交関係樹立 25 周年記念キルギス
日本学・日本語教育国際研究大会にて

講師ジュヌシャリエワ・アセーリ先生であった。大会第一部の「基調講演&ワークショップ」では、招聘講師であった鳴門教育大学の廣田知子氏による「日本人のころ〜生き続ける詩型」がテーマの講演とワークショップ (和歌を用いた日本語教授法の検討)、第二部「教育事情・実践報告」では、ビシケク人文大学教員の「外国プレゼンテーション

教材の開発」と「日本語母語話者のためのロシア語学習教材の開発」、タラス市立子供教育セ

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 73-91
ヴォロビヨワ ガリーナ,
キルギス日本語教師会会報の創刊から 20 周年を迎えて
—会報バックナンバーの概観—

ンター教員による「タラス市の日本語教育事情と教室活動」の 3 本の報告があった。第三部「研究発表」では、「漢字教育研究」、「日本語学習者の動機づけ」、「日本語とキルギス語のフイラーの対照研究」の 3 本が発表された。

会報第 49 号は第 2 回日本学・日本語教育国際研究大会を中心に作成された (図 8)。実行委員長はビシケク人文大学准教授ヴォロビヨワ・ガリーナであった。国際交流基金からの財政支援を受けて、広島大学特任教授・国立国語研究所客員教授の迫田久美子先生と津田塾大学非常勤講師・JSL 漢字学習研究会運営委員関麻由美先生を講演者として招待した。迫田先生は、「コミュニケーション能力を伸ばすには?—コーパスから学ぶ学習者中心の教え方—」をテーマに講演をした。関先生は「楽しく漢字を学ぶには?—「漢字マップ」—」をテーマにワークショップをした。



図 8 第 2 回日本学・日本語教育国際研究大会の参加者

キルギスの教育機関のビシケク人文大学、キルギス国立総合大学、キルギス日本人材開発センター、第 69 番学校の教師と卒業生の発表だけでなく、日本からも、東京外国語大学、京都外国語大学、四国大学、北海道大学、筑波大学、国士舘大学の講師と院生が発表をした。発表のテーマは様々であった。ビシケク人文大学東洋国際関係学部日本語日本文学研究講座講座長、キルギス日本語教師会事務局氏原名美教授は、キルギス共和国日本語教師会の歩みに関する発表をした。他には「日本における『キルギス学』の現状と課題」、「現代キルギス日本学における課題」、「漢字学習での ICT の利用及びデジタル漢字教材の開発」、「キルギス国内の日本学研究の軌跡と展望：文献目録作成プロジェクトを通じて」、「日本とキルギスの初等中等教育機関における環境教育」、「日本人とキルギス人の「断り」のストラテジーについて」、「『子どものための漢字 BOOK』について」などの発表があった。

会報第 54 号は第 3 回日本学・日本語教育国際研究大会を中心に作成された (図 9)。実行委員長はビシケク人文大学上級講師ヌスワリエワ・ジルディズ先生であった。アメリカのプリンストン大学名誉教授牧野成一先生と日本の麗澤大学教授近藤彩先生が招聘講師としてキルギスに来てくださった。牧野先生の基調講演のテーマは「日本語を翻訳するということ—

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 73-91
ヴォロビヨワ ガリーナ,
キルギス日本語教師会会報の創刊から 20 周年を迎えて
—会報バックナンバーの概観—

失われるもの、残るもの」、近藤先生のワークショップのテーマは「会社で働いたことがない日本語教師はビジネスコミュニケーションを教えることができるのか—教師養成の観点から—」であった。キルギス側の発表者は、ビシケク人文大学、キルギス国立総合大学、キルギス日本人材開発センター、キルギス国際大学の教員とビシケク人文大学修士課程修了者および学部卒業生であったが、キルギス国外からも、モスクワ国立国際関係大学、モスクワ市立教育大学、津田塾大学、のぞみ日本語学校の先生方による発表があった。

研究大会の開会にあたってビシケク人文大学東洋国際関係学部日本語日本文学研究講座長でキルギス日本語教師会賛助会事務局の氏原名美教授がキルギス共和国日本語教師会創立 20 周年を記念して「転換期を迎えたキルギス共和国日本語教師会」と題したビデオによる活動報告を行った。2 日間の研究発表と実践報告のテーマは実に様々であった。「日本語研究における文化的なアプローチ」、「漢字学習ストラテジーとしての音符の学習とその意義」、「漢字の異種構造の分析及び漢字指導での応用」、「初心者向けの電子漢字教材開発について」、「語彙習得を目指して—J-POP を使った授業—」、「キルギス手話通訳の現状と展望」、「『まるごと』の「生活と文化」を教える」、「初等教育における日本語への興味を深める授業」などであった。



図 9 第 3 回国際研究大会の参加者

3. 6. キルギスの日本学・日本語教育研究

2017 年からキルギス日本語教師会は研究紀要『キルギス日本語教育研究』を発行している。それは当時ビシケク人文大学上級講師であった西條結人先生が提案した活動である。創刊号と第 2 号の編集委員会には 3 人、西條結人先生（委員長）とジュヌシャリエワ・アセーリ先生とヴォロビヨワ・ガリーナが入っていた。第 3 号の編集委員長はヴォロビヨワ・ガリーナ、第 4 号の編集委員長はジュヌシャリエワ・アセーリ先生であった。バックナンバーは以下の HP で見られる。

<<https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/紀要-キルギス日本語教育研究/バックナンバー/>>

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 73-91
ヴオロビヨワ ガリーナ,
キルギス日本語教師会会報の創刊から 20 周年を迎えて
—会報バックナンバーの概観—

会報第 41 号には創刊号の原稿募集が掲載されている。そして会報第 42 号には創刊号発行の報告がある。研究紀要にはキルギス日本語教師会の会員だけでなく、中央アジア諸国の日本語教育関係者が執筆した論文、さらに日本、アメリカ、中国の研究者が投稿した論文も掲載してある。研究論文、教育事情・実践報告、研究ノートとともに研究会の報告も掲載されている。

教師会会報 49 号には Сайдзё&Джунушалиева (2018) が発行した目録についての記事が掲載されている。内容はキルギス共和国独立以後のキルギス国内の日本学研究成果（学位論文（学士・専門学士論文、修士論文、博士候補論文、博士論文）、雑誌論文、著書）である。当目録には学位論文 214 本、雑誌論文 161 本、図書 52 冊の書誌データが入っている。そのうち学士論文は 185 本、修士論文は 16 本、博士候補論文は 6 本、博士論文は 7 本である。図 10 にはキルギス日本語教師会研究紀要『キルギス日本語教育研究』創刊号の写真、図 11 には『キルギスにおける日本学研究文献目録』の表紙を提示した。



図 10 『キルギス日本語教育研究』創刊号

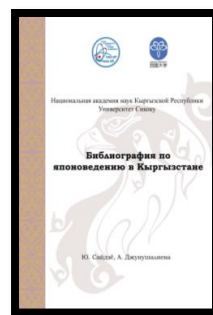


図 11 『キルギスにおける日本学研究文献目録』

4. 教育機関の日本語教育の紹介に関する記事

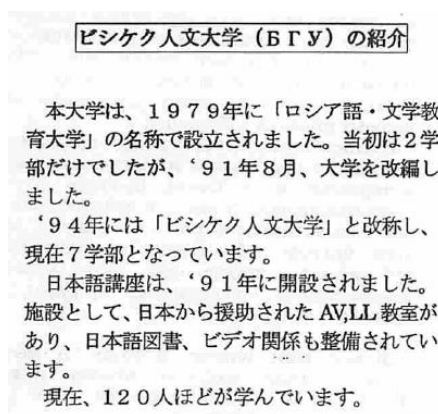


図 12 ビシケク人文大学についての記事
機関の紹介の記事もあった。例えば、ウランベック・クズ・アイヌーラ先生による国士舘大

会報にはその時々々のキルギスの日本語教育機関の日本語教育の紹介の記事が掲載されている。会報第 2 号にはビシケク人文大とこの日本語教育の紹介の記事 (図 12) が掲載され、会報第 3 号にはキルギス国立教育大学附属東洋言語文化大学の紹介の記事が掲載された。その後キルギス国立総合大学、オッシュ国立大学などについての記事が公開された。会報第 19 号にはキルギス日本人材開発センターの紹介があった。会報第 54 号にはタラス市立子ども教育センター・日本語教室について寺田たつおが原稿を投稿した。日本の教育

学の紹介, 大西由美先生による北海道教育大学の紹介などであった。それは留学を目指す学生に役立った。

5. 教授法, 図書, 教材作成についての記事

会報第 2 号をはじめビシケク人文大学の三井勝雄先生は漢字学習について数本の記事を投稿した。さらにその後漢字学習法についてキルギス日本人材開発センターのヴォロビヨワ・ガリーナによる「漢字の意味の覚え方」(第 9 号), ヴォロビヨワ・ガリーナ&ヴォロビヨフ・ヴィクトルによる「漢字の歴史について」(第 19 号)と「漢和辞典と部首」(第 20 号), 津田塾大学非常勤講師関麻由美先生による「漢字プロジェクト」(第 37 号), 国際交流基金日本語国際センター濱川祐紀代先生による「無理やり会話で漢字を使う!」(第 38 号)という記事が掲載された。以下は関先生による「漢字プロジェクト」の説明である(会報第 37 号)。

「漢字プロジェクトは, 自分の興味のあるテーマを選んで, それに関する漢字や漢字語を集めて, 自分のための, または後輩の留学生のための学習素材を作る, というプロジェクトです。どんなテーマでも, どのような形でもすべて自由ですが, 一つだけ条件があります。それは, 自分が楽しいと思うことをプロジェクトにする, というものです。クラスの中では, 実際に作成する時間はとらず, 各自, クラス外で自立的にプロジェクトを進めます。そして, 学期の最後に発表会をしています。いくつか, 写真で紹介しましょう。カードの表に「針鼠」裏には「ハリネズミ」と読み方が書いてあり, 開くと針鼠が飛び出します。」図 13 には関麻由美先生の学生による作品の例を提示した。



図 13 関麻由美先生の学生による「漢字プロジェクト」の作品

会報第 18 号には当時のキルギス日本語教師会会長であったスイディコフ・アジズ先生による「ビシケク人文大学の日本語教育の試み」という原稿が掲載された。会報第 36 号には言語・生活研究所代表, 早稲田大学名誉教授川口義一先生による「日本語イントネーションの指導法・学習法」という記事が公開された。さらに第 1 号や第 2 号では日本語学習に役立つインターネットサイトやソフトが紹介された。また第 8 号ではキルギス民族大学の三森優先生は図書紹介, ビシケク人文大学の高橋知也先生は論文紹介の原稿を公開した。

6. 日本人によるキルギスについての記事

『キルギスで日本語教師の仕事をしていた日本人も, 一時的に来た日本人もキルギスの感

想の原稿を投稿してくれた。外国人の観察は異文化コミュニケーションの例として興味深い。会報第 2 号にはビシケク人文大学の鬼塚希代仁先生による記事「ボランティア」が掲載してある。20 年前に存在していたキルギス日本語教育の問題について述べているが、現在もその問題がなくなっていない状況である。また、鬼塚希代仁先生は記事「カンニング考」で学生の行動について述べた。キルギス国立教育大学の重春次男先生は会報第 3 号にキルギスの将来についてのメッセージを投稿した。

ビシケク人文大学の三井勝雄先生は記事「時・時間」で日本人とキルギス人の時間の見方を比較し、ビシケク人文大学の西木洋人先生は記事「バザールとコンビニ」で両国の買い物の仕方を比較している (図 14)。

ビシケク人文大学の滝寛己先生は会報第 4 号にキルギスの習慣について原稿を投稿した。また 2004 年に第 11 号に「キルギスの不思議」という原稿を投稿した。不思議に思ったキルギスと日本の類似点は次の通りである。キルギス人は顔が日本人にとっても似ていること、また似ている料理があること、日本の三味線とキルギスのコムズという楽器が似ていることである。また相違点はビシケク市で信号が変わるまでの時間が短すぎてゆっくり道を渡ることができないこと、キルギスのバザールはにぎやかで、人々のエネルギーを感じる場所であること、都会であるビシケク

の中で馬や羊がときどき見られること、多くの人が種を食べながら街中を歩くとときひまわりの殻をそこらじゅうに捨てていくから町が埋め尽くされると思われることである。

2016 年 8 月に行ったキルギス共和国日本語夏季日本語教育セミナーの招待講師だった東京外国語大学の佐藤貴之先生は会報第 42 号に原稿を投稿した。その中に次の感想があった「最初に案内して頂いた国立公園「アラ・アルチャ」の美しさには目を奪われました。キルギス語で「アラ」は「色鮮やかな」、「アルチャ」は「ヒノキ」を意味するのだそうですね。さわやかな晴天に純白の雪山、そしてヒノキが青々と広がった山の裾。それはまさに「色鮮やかな」山で、アラ・アルチャに生息するという雪豹の出現をいまか、いまかと待ちわびました (結局は姿を現しませんでした)。国立公園は標高が高く、酸欠で私はひいひい言っていました。見上げるような山脈の合間から流れ出る雪解け水を口にほおぼると、疲れた体が生き返るようでした。清流のせせらぎを耳にしながら山を登る喜びは、たとえようがありません。芭蕉であれば、世界史に残る俳句を詠んだことでしょう。」

第 2 回キルギス日本学・日本語教育国際研究大会の招待講師の広島大学特任教授・国立国語研究所客員教授迫田久美子先生は大会が終わってからイシククリ湖へ旅行して会報第 49 号に感想の原稿を投稿した。次は一つの観察である。「イシククリ湖の地方では、人間と家畜の共存が長く続いています。一般的には、自動車が現代の典型的な移動手段ですが、この地方では馬で駆け巡るのもよく見かけました。子供から成人の男性なら、誰でも馬に乗ること

バザールとコンビニ

ビシケク人文大学 西木洋人

日本では一言もしゃべらないで買い物できるところがたくさんあって、とくにコンビニなんかはあえて会話する必要がない様に設計されているように感じます。日本にいるときは当たり前のように利用していたのですが、こっちのバザールに行くようになってからはコンビニがかなり怪しいものに思えてきます。やっぱり会話を楽しみながらの買い物が人間生活の基本だなぁ、なんてことを考えさせられます。コンビニも言葉がわからない人にとっては便利どころなのかもしれないけど、日本の人間関係の希薄化ってのは、こんなところからも進んでいるのでしょうか。

日本に帰ったら店員にいろいろ話し掛けてみようかとも思ってます。でもそうすると、今度はこっちが怪しい人に思われるかも。困ったもんです。

図 14 『西木洋人先生による記事』

ができるそうです。現代でも、馬や牛、羊などの家畜が日々の生活に溶け込んで共存している世界なのだと感じました。」

同大会の招待講師であった津田塾大学非常勤講師関麻由美先生もイシククリ湖の感想を掲載した。「イシククリ湖の東岸に向かうにつれ、『ジャミリャー』（アイトマートフの小説）の世界が広がったのも感動的でした。イシククリ湖の広大さには心を奪われました。なんと私の住んでいる埼玉県の広さの 1.6 倍です。エメラルドグリーンと深い青とが入り混じった美しい海、いや、湖でした。遠い見えない対岸のはるか上方に、雪をかぶった山々が見えるので、ああ、海ではないのだとわかります。素晴らしい景色でした。命の洗濯ができました。」

第 3 回日本学・日本語教育国際研究大会の招待講師のアメリカのプリンストン大学名誉教授牧野成一先生は会報第 54 号に感想を投稿した。

「私は色々な国の建築に強い関心があります。今回びっくりしたのは人文大学の正門です。



図 15 ビシケク人文大学の正門

あのような巨大で、仰ぎ見るような大学の正門は日本、中国、インド、アメリカでは見たことがありません。プリンストン大学にも正門はありますが、周囲の塀より倍ぐらい高いだけです。ただし卒業式以外に学生はそこから外に出ると卒業できないという面白いジンクスがあります。」 図 15 では人文大学の正門の写真が見られる。

同様に第 3 回日本学・日本語教育国際研究大会で発表をした J-cert 日本語検定監修委員長、のぞみ日本語学校校長北嶋千鶴子先生は会報第 54 号に「キルギス人のおもてなし」という記事を投稿し、次の感想を述べた。「よく外国人に日本人は直ぐにお返しをされると言われていますが、キルギス人も負けていません。否、日本人以上だと思いました。(中略) 私は今回キルギスで様々な人と触れ合ったことで今まで以上に親しみを感じるようになりました。」

会報第 52 号に第 23 回中央アジア日本語弁論大会の審査委員長であった中国からいらした筈川幸司先生による原稿が掲載してある。その中に筈川先生は中央アジアと中国の学生の行動を比較した。「中央アジアの学生諸君と中国人学生の違いをお話しすれば、中国人学生はコンテスト目指した練習量がとても多く、テーマ・スピーチも即席スピーチも、ほぼ完璧なパフォーマンスを見せてくれますが、自由なおしゃべりとコミュニケーションが苦手だと言えます。一方、中央アジアの学生のみなさんは、ほとんどの人が普段のおしゃべりやコミュニケーション、そしてホスピタリティに優れていると感じました。」

外国人の感想を読むと自国の短所と長所がよく分かって、考えさせられ、自国をより大切にするとと思われる。

7. キルギス人による日本についての記事

日本に行ったことがあるキルギスの教師と学生は日本滞在の感想などの原稿を会報に投

稿した。例えば、会報第 5 号には日本語国際センターで教師研修をしたビシケク人文大学のオモロワ・ディナーラ先生による原稿「花見を体験」、会報第 8 号にはビシケク人文大学のカリミシャコワ・アイゲリム先生による原稿「日の出づる国への留学」、会報第 15 号にはキルギス日本人材開発センターのヴォロビヨワ・ガリーナによる原稿「日本語教育フェロシップについて」、会報第 16 号にはイシククリ国立大学のジョルブラコワ・マイラム先生による原稿「国際交流基金海外日本語教師短期研修に参加しての感想」、会報第 30 号にはキルギス民族大学のドゥイショノワ・ナリーザ先生による「国際交流基金日本語指導者育成プログラム修士課程を終えて」という原稿などが掲載してある。会報第 56 号にはビシケク国立大学 4 年アットクロワ・メーリバンによる留学の感想「最高の冬休み」が掲載されている。

筆者が執筆した日本についてのエッセイが数本掲載されている。例えば、「日本人の親切さ」(会報第 37 号)、「現代の姥捨てか」(会報第 38 号)、「日本人と花」(会報第 40 号)、「日本のロボットとの出会い」(会報第 43 号)、「2 月 22 日は猫の日」(会報第 47 号) などであった。キルギス人は日本文化、日本事情に関心を持っていて、日本滞在の喜び、観察したことについて活発に原稿を投稿している。

8. 日本文化に関する催しについての記事

キルギスでよく日本文化に関する催しが行われている。例えば、会報第 13 号にはキルギス日本センターの日本語教育専門家の黒滝力先生による記事「もみじ祭り大盛況！」が掲載されている。もみじ祭りのイニシエータであった黒滝先生は次のことを述べた「協力隊員や日本人ボランティア、日本語教育機関の教師、学生など多くのキルギス人、日本人が協力して、この祭りを成功させました。今後もさまざまな人々と協力関係を築き、いろいろな活動をしていきたいと思います。」その後ももみじ祭りとは五月祭りについての原稿が何回か掲載された。会報第 50 号には在キルギス日本国大使館二等書記官(広報文化担当)井實聡氏による記事「日本文化紹介事業「日本秋祭り」の開催」が掲載されている。井實氏は祭りの意義について次のように述べている「在キルギス日本国大使館は、今後とも KRJC 等日本関連機関や団体と手を携えながら、日・キルギス間の文化交流を通じた日本に対する理解増進と両国の友好関係発展のために力を注いで参ります。」

9. キルギス日本語教師会会報の発行の意義

教師会会報の発行の意義はキルギスの日本語教育事情、日本語教師会の活動を世界に知らせること、歴史に記録することである。毎回新しい会報を発行して、配信すると世界の国々から返答が届く。会報はアジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、アフリカの国々の日本語教師に読まれていた。そして、以前ビシケク人文大学で働いていた JICA ボランティアの高橋知也先生が会報をインターネットにアップロードし始めて、会報がより多くの人に読まれるようになった。全てのバックナンバーは以下のサイトで<https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik>, 近年のバックナンバーは以下の教師会の HP で見られる。

<<https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdofree.com/>会報-刊行物/会員の刊行物/>

さらに第 1 号からの会報は国際交流基金日本語国際センター図書館にも所蔵されており、

全世界からの研修生などがそこで読むことができる。

以下では日本, ヨーロッパ, アメリカから届いた会報に関する感想, 意見を掲載する。

・「会報はいつもいろいろな情報に溢れていて, 一気に読んでしまいます。そして, ブラジリア大学の日本語教師スタッフ (現在 11 名 + 非常勤 2 名 + 公開講座講師 6 名) と共有できる記事は利用させていただいています。例えばスピーチコンテストの原稿の内容は異文化理解にもつながり, 大変興味深いもので, 学生にも紹介させていただいています。」

・「教師会の積み重ねが素晴らしいものであることは会報を読んでとてもよくわかりました。内容が充実していて, 読み始めたら, 全部読むことになりました。(中略) スピーチコンテストの様子と 3 位入賞者のメッセージ, キルギスの日本語学習者数など, それぞれに面白く, 楽しく読むことができました。キルギスの先生方のエネルギーと日本語は本当に凄いです！」

・「キルギス日本語教師会会報 36 号を拝見しました。とても興味深い記事ばかりで, 楽しく読ませていただきました。」

・「会報, 有難うございました。たのしく読ませていただきます。良い感じの会報ですね。内容も充実していますし。また, 生のご様子などもわかり, よかったです。」

・「キルギス日本語教師会の会報を送っていただき, どうもありがとうございます。(中略) 教師会の活動も活発に行われているようで, 初めてキルギスを訪問した 2004 年とくらべ, キルギスの日本語教育が発展している様子がよく分かりました。」

・「キルギスの日本語教師会 15 周年記念を迎えられたとのこと, おめでとうございます。いろいろとご苦労はあったと思いますが, よく継続してきましたね。会報を拝見して, キルギスに派遣された日本語教師の印象記などを読み, 今まで知らなかったことを学ぶ機会になりました。」

・「キルギス日本語教師会会報 36 号をお送りくださりましてありがとうございます。ご活躍の様子がよくわかり, うれしく思います。今年のご活躍も期待しています。」

・「キルギス日本語教師会会報 49 号深謝! 感服・敬愛の情を持って拝読いたしました。」

上記の感想を読むとキルギスの日本語教育, キルギス日本語教師会の活動だけではなく, キルギスという国, キルギス人の行動と考えなどについての情報を全世界に広める役割を果たしているキルギス日本語教師会会報の重要性が明らかになる。

10. おわりに

本稿ではキルギス日本語教師会会報の 2000~2020 年のバックナンバーを概観した。筆者が 20 年前の 2000 年に教師会会報発行を提案した際には, どうなるか予測できなかったが, 会報発行が長く継続でき世界中で多くの人に読まれていることから, 目的を達成したと思われる。またキルギスの日本語教育とキルギス日本語教師会の歴史の記録手段として会報は意義がある。本稿の作成に当たって会報の教師会の活動に貢献した教師会会員, 教師会を支援した人の名前も出た。名前を言及していない先生方の貢献についても書きたいが, 紙幅の関係上, 今回は割愛する。また会報のバックナンバーの記事を基に本稿を作成したため会報に名前が出ていない会員について述べていない。

本稿の読者がインターネットでキルギス日本語教師会会報のバックナンバーも読みたくなることを祈っている。キルギス日本語教師会会報のバックナンバーは日本語教育事情を分

キルギス日本語教育研究, 2021, vol. 5, pp. 73-91
ヴォロビヨワ ガリーナ,
キルギス日本語教師会会報の創刊から 20 周年を迎えて
—会報バックナンバーの概観—

析している研究者にとって貴重な資料になっていると思われる。

参考文献

- ヴォロビヨワ・ガリーナ (2013) 「キルギスの日本語教育事情」『世界の日本研究 2013』59-67,
国際日本文化研究センター
- ヴォロビヨワ・ガリーナ (2014) 博士論文『構造分解とコード化を利用した計量的分析に基づ
く漢字学習の体系化と効率化』東京, ノースアイランド
<http://www.grips.ac.jp/jp/dtds3/galina_vorobeva/>
- ヴォロビヨワ ガリーナ (2017) 「キルギス共和国における漢字教育研究の歴史について」『日
本キルギス文化研究会会誌』創刊号 71-80
- ガリーナ・ヴォロビヨワ, 伊藤広宣 (2017) 『人生をかけた日本語教育—実践と研究をつなぐ
二人の対話—』キルギス共和国, ビシケク: Fast print
<<https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/会報-刊行物/会員の刊行物/>>
- Сайдзё Ю., Джунушалиева А. (2018) Библиография по японоведению в Кыргызстане. Toiart
Design Studio
- キルギス日本語教師会会報 <https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik>
(2020 年 10 月 1 日参照)
- <https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdoofree.com/会報-刊行物/会員の刊行物/>
(2020 年 10 月 1 日参照)

謝辞

本研究に当たって津田塾大学の非常勤講師関麻由美氏が貴重なコメント、原稿の修正をし
てくださった。厚く御礼を申し上げる。

付表 1. キルギス日本語教師会会報第 1 号の 1 頁目

日本語教師会会報 Вестник Ассоциации преподавателей японского языка	Бишкек 16.12.2000	№ 1
---	----------------------	-----

尊敬する同僚！

キルギス教師会は一年前にキルギスタンの日本語教育の発展のために組織されました。最初の一年間は教師会の成り立ちの年度でした。会員の人数は27名になりました、その中にビシケク人文大学、東洋言語文化大学、キルギス建築大学、キルギス—アメリカ大学、キルギス国立民族大学、キルギス日本センターの日本語教師がいます。教師会の会員が教師会規約を作成したり、中央アジアとCIS諸国の日本語弁論大会の予選を行ったりしました。

10月1日に教師会の次の新しい年度が始まりました。帰国した日本人教師に代わって新しい教師が会に入りましたが、私達は伝統を尊重して、会の活動分野を広げようと思っています。新しい活動は 教師会会報の発行や公開授業やインターネットにある外国の日本語教師会の活動に関する情報を広めること等です。

キルギスタンの日本語教育の規模はだんだん大きくなっています。今ビシケクとオッシュとナリンにある大学とキルギス日本センターで600人以上の学生が日本語を勉強しています。実際に最近キルギスタンの学生が国際日本語弁論大会で入賞していますので、日本語教育のレベルは高まってきているようです。

もうすぐ21世紀に入りますね。私達は、日本語教師、キルギスタンの将来のために大切なことをしていると思います。21世紀に生きる人を育てたり、キルギスタンと日本間の理解や友好関係を順調に発展させたりしますから。それには皆さんの協力が大切です。

キルギスタンの日本語教師の皆さんの御健康、ご幸福、御成功をお祈りいたします。まだ教師会に入っていない教師の方に入会を勧めます。

キルギス日本語教師会の会長
 ガリーナ ヴォロビヨワ

Уважаемые коллеги!

Ассоциация преподавателей японского языка в Кыргызской республике создана один год назад с целью улучшения качества преподавания японского языка в нашей стране. Прошедший год был годом становления Ассоциации. Число членов составило 27 человек, это преподаватели БГУ, ИВЯК, КАСИ, КАУ, КГНУ и Японского центра. Разработан Устав Ассоциации, проведены 3 отборочных конкурса среди студентов для участия в конкурсах ораторского искусства стран СНГ и Центральной Азии.

С 1 октября начался новый год работы Ассоциации. В связи с отъездом на родину ряда японских преподавателей состав изменился, но я надеюсь, что мы, сохранив сложившиеся традиции, будем расширять круг деятельности Ассоциации. Это издание бюллетеня Ассоциации, проведение открытых уроков, распространение информации о деятельности зарубежных Ассоциаций преподавателей японского языка, имеющейся в Интернет, и др.

Обучение японскому языку в Кыргызстане приобрело достаточные масштабы. На сегодня в ВУЗах Бишкека, Оша, Нарына и Японском Центре японский язык изучают свыше 600 студентов. Об уровне обучения японскому языку говорит хотя бы тот факт, что студенты наших ВУЗов в последние годы регулярно занимают призовые места на международных конкурсах ораторского искусства.

Скоро мы войдем в 21-й век и 3-е тысячелетие. От нас, преподавателей, зависит очень многое в будущем нашей страны – формирование личности наших учеников – людей 21-го века, развитие взаимопонимания и дружественных связей Кыргызстана и Японии. Для решения стоящих перед нами задач потребуются общие усилия.

Я желаю всем преподавателям японского языка Кыргызской Республики здоровья, счастья и успехов на нашем общем поприще. Приглашаю всех, кто еще не вступил в Ассоциацию, к сотрудничеству.

Председатель Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики
 Галина Воробьева.

付表 2. キルギス日本語教師会会報第 38 号の 1 頁目



キルギス共和国日本語教師会
第 38 号 2015 年 9 月 18 日発行
Вестник Ассоциации преподавателей
японского языка Кыргызской Республики
№ 38 от 18.09.2015 г.

キルギス日本語教師会外務大臣表彰受賞!

2015 年 8 月 19 日、キルギス共和国日本語教師会が平成 27 年度外務大臣表彰を受賞しました。外務大臣表彰は、国際関係の様々な分野で活躍し、日本国と諸外国との友好親善関係増進に貢献する多くの人々の中、特に顕著な功績のあった個人、団体に対して賞されるものです。今回の受賞は個人 116 名、39 団体です。多忙な日々の業務の合間を縫っての、キルギス日本語教師会の活動がこのような形で認められ、大変うれしく、また光栄に思います。今後も、キルギスと日本の末永い友情をお祈りいたします。

**Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики
награждена Почетной грамотой Министра иностранных дел Японии!**

9 августа 2015 года Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики награждена Почетной грамотой Министра иностранных дел Японии за 2015 год. Почетная грамота Министра иностранных дел Японии вручается персонально или организациям, которые добились наиболее значительных достижений в области развития дружеских отношений с Японией. В этом году Почетную грамоту получили 116 человек и 39 организаций из разных стран мира. Считаю очень радостным и почетным, что общественная деятельность Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики получила такое признание. Желаем, чтобы и в дальнейшем развивались и укреплялись отношения дружбы и сотрудничества между Кыргызстаном и Японией.



付表 3. 報第 56 号の 1 頁目



キルギス共和国日本語教師会会報
第 56 号 2020 年 3 月 3 日発行
Вестник Ассоциации преподавателей
японского языка
Кыргызской Республики
№ 56 от 3.03.2020 г.

キルギス日本語教師会会報の読者の皆様!
新春のお慶びを申し上げます。
教師会 21 年目もよろしく願っています。



「キルギス共和国日本語教師会創立 20 周年記念レセプション」の開催

駐キルギス特命全権大使 前田 茂樹

キルギス共和国日本語教師会の創立 20 周年を記念し、昨年末、公邸にて「キルギス共和国日本語教師会創立 20 周年記念レセプション」を開催致しました。本レセプションは、日本語教師会の創立からこれまでの歩みを振り返るとともに、今後の日本語教育の発展のために、キルギス政府や民間企業、日本留学経験者や日本語教師の先生方など、各界で活躍される方々をお招きし、今後の教師会の活動を支えるネットワーク作りの一助になればという願いから、企画に至ったものです。

20 лет со дня первого выпуска Вестника Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики: обзор содержания номеров Вестника

Галина Воробьева

(в прошлом Бишкекский государственный университет)

Абстракт

В 1999 году была создана Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики. Затем в 2000 году начался выпуск Вестника Ассоциации преподавателей. В данной статье на основе предыдущих номеров Вестника говорится о его создании, содержании и значении.

Ключевые слова: Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики, преподавание японского языка, Вестник Ассоциации преподавателей, предыдущие номера, статья

教育事情・実践報告

UDK 061.25

キルギス共和国の英語教育事情における課題と展望

大塚 圭 (中央大学杉並高等学校)

要約

筆者は、2018年9月から2020年3月までJICA海外協力隊のボランティアとしてビシュケク市教育局で英語教育に携わった。本稿では、ビシュケク市内の学校での授業見学および英語教師を対象としたアンケート調査を考察して、キルギス共和国の英語教育事情について報告するとともに、授業での生徒同士の英語によるコミュニケーションを通してお互いに学ぶためのペア・グループワーク活動を提案する。

キーワード：キルギス共和国, JICA 海外協力隊, 英語教育, ペア・グループワーク

1. はじめに

独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と記す）では、自分の知識や技術、経験を開発途上国で生かしたいと望む人をJICA海外協力隊のボランティアとして派遣している。JICA海外協力隊には、現職教員特別参加制度があり、公立学校、国立大学附属学校、公立大学附属学校、私立学校の教員が身分を保持したまま参加することができ、派遣期間と訓練をあわせて2年間となる。筆者は、JICAの現職教員特別参加制度を活用して、2018年9月から2020年3月まで青少年活動（英語教育）としてキルギス共和国（以下「キルギス」と記す）のビシュケク市教育局で活動をした。その活動の一環として、ビシュケク市内の学校で英語授業の見学およびキルギスの英語教師を対象としたアンケート調査を実施した。本稿では、今後の教育活動に活かすことを目的に、上記二つの調査を分析したキルギスの英語教育の現状および課題と展望について報告する。

2. 活動背景

2.1. ビシュケク市教育局 (Управление образования мэрии города Бишкека)

ビシュケク市教育局は、ビシュケク市内の学校97校と幼稚園85園（初等中等教育）を管轄している。ビシュケク市内の学校のカリキュラム実施状況や、生徒の学習到達度を把握することが主な役割である。また、教師を対象としたセミナーを定期的に開催するなど、ビシュケク市内の教育における質的向上を目指している。ビシュケク市教育局は、教科別や対象生徒別に部署が分かれている。外国語教育課、数学教育課、理科教育課、社会科教育課、道徳教育課などの教科別、また、低学年クラスや幼児教育を担当する校種別などの部署がある。筆者は、外国語教育課に所属し、活動の主な目的は、「ビシュケク市内の学校における英語教

育の質的向上」に貢献することである。ビシュケク市内の学校教育の実態を把握して、現地で受け入れを担当するキルギス人パートナーと話し合い、協力を得ながら、「英語教育の質的向上」のための活動を実施していくことが目標となる。

2.2. 英語教育

近年、キルギスでは、教科書の改訂や授業時間の増加などを含めて英語教育に力を入れている。小学校の3年生から英語を教科として学び、3年生と4年生、8年生から11年生は週2時間の授業である。その他、5年生は週5時間、6年生は週4時間、7年生は週3時間となっている。国定の教科書は、3年生から7年生までは新しく改訂されているが、8年生から11年生は、以前の教科書を使用している。2017年度から改訂された教科書は、4技能をバランスよく学ぶためにアクティビティを中心に作られていてコミュニケーション重視になっており、教師の指導書やワークブックも付属している。1クラスは約35人から40人だが、英語の授業では、基本的に2つのクラスに分けられ、15人から20人の少人数で授業が行われている。大学入試に英語が必修ではないため、高学年では英語の授業数が少なくなる傾向がある。

2.3. 英語教師

教師になるための条件は大学卒業証書のみのため、英語を専門として学んでいなくても英語教師になることができる。基本的に各学校での採用は、校長の権限である。また、多くの教師は1週間に約25コマから30コマの授業を教えているが、教師の給料は他の職種に比べても非常に安いのが現状である。教育は、伝統的に女性の仕事と考えられていたり、給料が安いため、男性が家族を養うことができなかつたりということにより、キルギスの学校では、体育などの科目を除いてほとんどの教師は女性である。

3. 授業見学およびアンケート調査の概要

3.1. ビシュケク市内の学校での授業見学

筆者は、キルギスの英語教育事情を把握するために各学校を訪問し、授業を見学した。以下は、10校34時間の英語の授業見学による所見である。

英語の授業見学による所見 (10校 34時間)				
英語教育システム	授業内容	教師	生徒	教材
+ 5年生は、週5時間、6年生は週4時間の英語授業 + 1クラスの生徒数は約15～20人で少人数クラス + 土曜日の教員研修 - 3～4・7～11年生は週に2時間の英語授業 - 大学入試に英語が必修ではない (選択科目として) - 音声機器やプロジェクターなどの設備が学校によって異なる +- 3年生から教科として英語を学び始める	+ 4技能をバランスよく教えている + コミュニカティブアプローチが中心である - 低学年でかなり難しい文法事項を学ぶ - 高学年につれて、翻訳をする授業が多くなる - 教科書の内容が1年間では終わらない - 高学年の英語の教科書は内容が難解で情報が古い +- 文法項目を中心とした授業構成	+ 基本的に英語で授業(適宜母語を使用) + 生徒との対話形式で授業を進めている + 指導案をもとに授業を行っている - 生徒主体のペア・グループワークが少ない - 理解していない生徒に対する配慮が少ない +- 基本的に教師が主導する授業形態 +- 発表形式の活動はあるが、教師と生徒で行うことが多い +- 毎回授業の最後に成績をつける	+ 生徒はとても積極的である + キルギス語とロシア語を習っているため外国語を話すことに慣れている + しっかりとした規律がある - 授業時間内の教室の出入りが頻繁 - 辞書を持っていない生徒が多い - 発言をする生徒が限られていて、参加していない生徒もいる - 高学年につれて、モチベーションが低くなる +- 他の生徒の発表をあまり聞かない	+ 今年度から教科書が改訂(3, 4, 6年生)5年生は昨年度に改訂 + 教科書には付属のワークブックがある - 副教材が少ない - 7～11年生の生徒は以前の教科書を使用 +- 国が指定している教科書を基本的に使用 +- 教科書には教師用の指導書がある(指導書だけで教えることができるものではない) +- オックスフォード出版の教材を使用している学校もある

+: キルギスの英語教育におけるプラスの側面 -: キルギスの英語教育におけるマイナスの側面 +-: 現時点では判断できない

図1 英語の授業見学における所見

3.2. 英語教師を対象としたアンケート調査

英語教師 102 名 (ビシュケク市: 82 名, コチコル村などの地方都市: 20 名) にアンケート調査を実施した。アンケートは英語教師を対象としているため、英語で質問事項を作成した。以下は、アンケートの集計結果である。

表1 あなたは英語を何年間、教えていますか。

1年から3年	4年から6年	7年から9年	10年以上
49人	13人	3人	37人

英語教師の約半数は、1年から3年の経験を持つ若い教師であった。また、10年間以上の経験を持つ教師も37人と高い割合であった。しかし、4年から9年の経験を持つ中間層が少ない。キルギスでは、教師は女性の仕事であるという概念があり、大学卒業後に教師として仕事を始めるが、結婚後に退職して子育てが落ち着いたら再び復職するという女性教師が多いため、極端に中間層(4年から9年)の経験を持つ教師が少ないのではないかと考える。

表2 あなたはどの学年を教えていますか。(複数回答可)

2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
2人	44人	41人	45人	47人
7年生	8年生	9年生	10年生	11年生
42人	43人	39人	27人	29人

今回のアンケートでは、高学年を教えている英語教師が他の学年に比べると少なかった。高学年になるにつれて英語の授業数が少ないことが要因だと考えられる。また、高学年になると、大学入試に英語は必修ではないため、生徒のモチベーションが下がる傾向がある。その上、高学年の教科書は改訂されていないため、教えるのが難しい学年という認識を持つ教師が多いのかもしれない。一人ひとりの英語教師の教えている学年は幅広く、小学校（1年生から4年生）や中学校（5年生から9年生）、高校（10年生から11年生）のすべてを教えていることもある。

表3 あなたは英語の4技能の中で何を中心に教えていますか。(複数回答可)

スピーキング	リスニング	リーディング	ライティング	4技能すべて
14人	1人	11人	10人	83人

キルギスの英語教師は、英語の4技能（話すこと・聞くこと・読むこと・書くこと）をバランスよく教えることを目標にしていることがわかる。3年生から7年生までの教科書がアクティビティを中心としたコミュニケーション活動を重視していることも影響していると推測できる。また、アンケートでは、英語の4技能の中でリスニングの項目を選択する教師が少なかった。リスニング指導が他の技能に比べるとおろそかになっている、または、4技能の中でリスニングの指導について悩んでいる英語教師が多いのではないかと考える。

表4 あなたは授業中、英語だけで授業をしていますか。

はい	いいえ
32人	69人

英語のみで授業をしている教師は32人で、学校のレベルや学年によっても授業における英語の使用頻度は異なるが、基本的にはキルギス語・ロシア語を併用しているようである。生徒が理解していない部分をキルギス語・ロシア語で説明したり、活動の指示のみを英語で伝えたりと各教師によって母語と英語の使い分けには多少の違いがある。

表5 どれくらいの生徒が英語を好きだと感じていると思いますか。

0%-10%	11%-20%	21%-30%	31%-40%	41%-50%
0人	2人	1人	5人	15人
51%-60%	61%-70%	71%-80%	81%-90%	91%-100%
19人	20人	26人	9人	6人

キルギスでは、比較的生徒が英語を好きであると考えている教師が多いようである。回答は、71%から80%、61%から70%、51%から60%の順に続くため、大半の生徒は、英語に興味を持ち、積極的に学ぼうとしている様子を理解することができる。

表6 授業で工夫していることがあれば書いてください。

視聴覚教材	教材	教授法	モチベーション	教授言語
18人	2人	44人	7人	6人

半数以上の英語教師が、教授法について回答していた。特に、「コミュニケーション重視の授業をするように心がけている」などの回答が多く、コミュニケーション・アプローチを意識していることが伺える。日本でもコミュニケーション重視の授業への転換が叫ばれているが、キルギスの英語教師も同じような価値観を持っていることを理解することができる。また、ビシュケク市と地方を比較すると、教授法について回答している教師が多いのは共通しているが、視聴覚教材については大きな違いがあった。ビシュケク市の多くの英語教師が視聴覚教材を使用している一方で、地方では、視聴覚教材について回答している教師が少ない。都市と地方では、視聴覚教材を使用する設備などに格差があるのではないかと推測できる。

表7 英語の授業において、課題があれば書いてください。

設備	教材	英語の知識	生徒指導	カリキュラム
18人	17人	10人	34人	14人

多くの教師が「生徒のモチベーションが低い」などの生徒指導に関する課題を回答していた。生徒のモチベーションの低さについて回答している教師が多いということは、教師が主導する授業形態なのではないかと推測することができる。一斉授業のような教師主導の形態は、モチベーションの高い生徒が多い場合は授業として成り立つが、そうではない場合には、教師が生徒のモチベーションを高めるようにしていかなければならない。キルギスの英語教師は、基本的に前述したようにコミュニケーション重視の授業を目指しているが、それは教師主導の段階であり、生徒主体の活動ではないと考える。教師と生徒との対話はあるが、生徒同士での学び合いが少ないのかもしれない。また、ビシュケク市の英語教師は、設備の不足を挙げるが、地方の英語教師は、教材の不足について回答している。地方では生徒にとって最低限必要な教材が不足していることを示唆している。

4. 考察

4.1. キルギスの初等中等教育における英語教育事情

キルギスの英語教師は、基本的に英語で生徒とコミュニケーションな対話を中心に授業を行っている。近年の教科書の改訂や授業時間の増加、少人数クラスでの授業など、コミュニケーション重視のカリキュラムは、英語教育における世界の潮流と一致している。また、生徒は、キルギス語とロシア語の二つの言語を学び、言語教育に費やしている時間はかなり多く、音声で新しい言語を学ぶことに慣れているため、英語を話すことに抵抗がないというメリットがある。そのため、キルギスの英語教育は非常にレベルが高いと考える。一方、伝統的に教師が主導する授業形態のため、生徒主体の活動が少ないように感じる。対話や発表形式の活動はあるが、対話は教師と生徒で行い、発表は個人活動で行うことが多く、授業内で一人

ひとりが英語で話す時間は限られている。授業内で生徒全員がお互いに英語を練習する機会を持ち、定着度を確認したり、お互いのグループ同士で意見を交換したりする活動が必要である。

4.2. 課題

アンケートでは、1年から3年の経験を持つ若い教師が多く、中間層（4年から9年）の経験を持つ教師が少なかった。教師の給料が他の職種に比べても非常に安い現状や体育の科目を除いて女性教師が多いことが要因の一つであろう。給与面の問題は、教師の質に関わり、教師の男女間における割合は、生徒のジェンダーの意識に影響を及ぼす重要な問題である。また、教師になるための条件は大学卒業証書のみのため、英語を専門として学ぶ機会が少ない。大学での教員養成課程を含む教師の待遇および質の改善は、早急に解決すべき課題である。

生徒に関しては、高学年になるにつれて英語学習におけるモチベーションが低下する傾向がある。大学入試に英語は必修ではないことや高学年の教科書は改訂されていないため、内容が難解であることも影響している可能性がある。大学生や社会人では、より高度な英語能力が期待されるため、8年生から12年生までの英語教育における今後の充実が求められる。また、キルギスでは、英語教師が授業の最後に成績をつけることから、発言をする生徒が限られているだけでなく、他の生徒は、教師に発表を見てもらうことを目的にし、自分以外の発表を聞かずに授業に参加していないこともある。そのため、生徒同士の英語によるコミュニケーション活動を通してお互いに学ぶための活動に慣れていないのが現状である。

ビシュケク市と地方都市の英語教育における格差の解消も大きな課題である。アンケートでは、都市と地方では、教材や視聴覚教材を使用する設備などの格差が挙げられている。教育科学省は、定期的に新任教師を対象としたセミナーを開催したり、語学学校と提携して英語教師の研修プログラムを企画・運営したりしている。それらの研修をビシュケク市だけでなく地方都市での開催を増やし、英語教師の参加を促すと同時に視聴覚教材などの設備の充実を図っていく必要がある。

4.3. 展望

上記の課題について大学での教員養成課程や教師の待遇改善、都市と地方の格差などは、ビシュケク市教育局における JICA 海外協力隊のボランティアとして携わることのできるものではないため、本稿では、キルギスの英語教育における現状を踏まえ、「生徒主体のペア・グループワークの普及」を提案したい。

キルギスの英語の授業でペア・グループワークが行われていないわけではない。例えば、ペアの生徒が前に出てきて教師の前で会話を発表する形やグループでの話し合いの後に一人の代表者がグループでまとめた意見を教師の前で発表する形などがある。しかし、その場合、他の生徒は発表を見ているだけでコミュニケーション活動に参加していない。そのため、授業内で一人ひとりが英語で話す時間は限られている。生徒主体のペア・グループワークとは、授業内で生徒同士がお互いに練習する機会を持ち、定着度を確認したり、お互いのグループ同士で意見を交換したりする活動を意味する。教師に発表を見てもらうことが目的ではなく、

生徒同士の英語によるコミュニケーションを通してお互いに学ぶための活動である。

授業内で生徒主体のペア・グループワークを取り入れることで、生徒の英語を話す時間が自然に増えるだけでなく、リスニング力の向上にもつながる。アンケートでは、英語の4技能の中でリスニングの指導について悩んでいる英語教師が多いことを示している。その理由の一つとして、リスニング活動に使用する音声機器の不足や教材不足を挙げている。音声機器や教材を導入するのは経済的に難しいが、生徒主体のペア・グループワークを取り入れることで生徒のリスニング力の向上を期待することができる。基本的にリスニングでは、自分で発音できない文や語彙は聞き取れない。そのため、声に出して英文を発音することがリスニングの練習になるのである。生徒主体のペア・グループワークによる言語活動は、スピーキング力だけでなくリスニング力にも有効であると考えられる。

生徒主体のペア・グループワークについては、ビシュケク市教育局の同僚との共著による活動集が lib.kg というサイトでダウンロードできる (<https://lib.kg/ru/student-oriented-pair-and-group-work/>)。活動集には、生徒主体のペア・グループワークを実践する50個のアクティビティを収録した。アクティビティは、文法項目をテーマにした活動(32個)と一般的にどの文法項目にも応用できる活動(18個)に分かれている。その他、生徒主体のペア・グループワークの説明や活動の進め方なども含まれている。1つの活動に必要な時間や準備するものなども明記されていて、キルギスの英語教師がすぐに活用できるように工夫している。多くのキルギスの英語教師に生徒主体のペア・グループを題材とした活動集を使用してもらえることを期待している。

5. おわりに

近年、キルギスでは、教科書の改訂や授業時間の増加、欧米の教育理論の導入など英語教育において大きな過渡期を迎えている。教師のモチベーションは高く、様々な研修プログラムに参加して伝統的な教師主導から生徒参加型の授業形態に移行しようとしている。このような現状を踏まえて、生徒主体のペア・グループワークは、コミュニケーション活動を重視したキルギスの英語教育に大きな役割を果たすと考える。キルギスの生徒は、積極的に外国語を話すことに慣れているため、授業内で生徒主体のペア・グループワークを取り入れることで、生徒の英語を話す時間が自然に増え、今まで以上に英語能力の向上を期待できる。

謝辞

2年間という長期間にもかかわらず、現地での生活をサポートしてくれた JICA キルギス事務所の方々、活動に協力してくれたビシュケク市教育局の方々、そして一緒に活動を共にしたキルギスの英語教師の方々に、この場を借りてお礼を申し上げたい。

Проблемы и перспективы преподавания английского языка в Кыргызской Республике

Кэй ОЦУКА

(повышенная средняя школа Сугинами университета Тю:о:)

Абстракт

С сентября 2018 года по март 2020 года автор преподавал английский язык в управлении образования мэрии города Бишкека в качестве волонтера Японского агентства международного сотрудничества JICA. Данная статья посвящена рассмотрению итогов посещения уроков английского языка в школах Бишкека, анализу анкетного опроса, проведенного с целью изучения состояния преподавания английского языка в Кыргызской Республике.

Кроме того, в статье рассматриваются предложения автора по использованию форм взаимного обучения путем общения на английском языке при выполнении заданий в группах и парах.

Ключевые слова: Кыргызская Республика, волонтер JICA, преподавание английского языка, работа в группах и парах

学会・研究大会報告

キルギス日本語教育セミナー2020

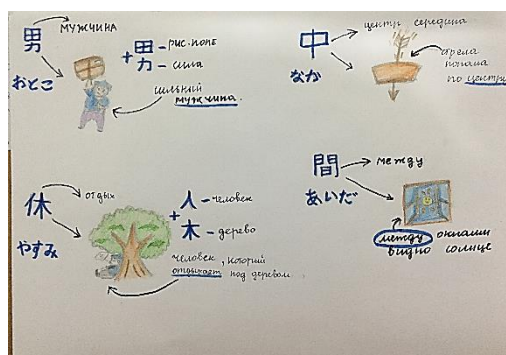
ジュヌシャリエワ アセーリ (ビシケク国立大学)

2020年8月24日、25日の2日間にわたって、『キルギス日本語教育セミナー2020』がキルギス共和国日本語教師会史上初のオンライン・セミナーとして開催された。

セミナー第1日目のワークショップを担当してくださったのは作田奈苗先生(津田塾大学・文京学院大学非常勤講師, NPO 多言語多読会員, 認定ワークショップデザイナー)による第2日目は関麻由美先生(津田塾大学非常勤講師, JSL 漢字学習研究会運営委員)である。作田先生は「多読ワークショップ」、関先生には「漢字マップで漢字学習を創造的に〜漢字と仲良くなろう〜」と題して読解と文字・語彙学習のワークショップが行われた。

当日の参加者は、キルギス以外にも日本、ブルガリア、インド、モスクワ、カザフスタン、タジキスタン、ウズベキスタン等の研究者、日本語教師、学生が参加した。ワークショップ終了後に参加者にアンケートを実施したところ、「自分のため新しい知識を得られた」、「得られた知識をぜひ自分の授業に使いたい」、「読解力をアップするために多読の教材シリーズを読み始めた」「中上級の授業中での活動として漢字マップの作成を取り入れることができるかもしれないと思った」との参加者の声を聴くことができた。報告者自身も、作田先生が紹介してくださった多読のウェブサイトと教材を参考にして授業に取り入れた。教材のイラストが鮮やかで、学生がすぐ興味を持ち、課題を一気に読んでくれたことがあった。また、関先生の漢字マップも実践してみると、これまで以上に学生も関心が高まり、自分の漢字マップを作成してくれた(図を参照)。

セミナーを実施するにあたり、オンラインの形で開催するのは、初めての経験だったため、うまく進行できるかどうか不安に感じていた。キルギス日本語教育セミナーを成功させるため、他のオンライン・セミナーに参加しながら、どのような実施方法にすれば円滑に行うことができるか確認をしてきた。当日のセミナー参加者からは暖かい励ましのコメントをいただき、本セミナーの実行委員長として嬉しく感じている。



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、世界中が大変な状況の中で、今回のセミナー開催・実施は大きな意義を持っているように思われる。オンラインということもあり、直接会って話をしたり、握手したり、肩を組んだりはできない。しかしながら、スクリーンを通して一度に世界中の多くの研究者や日本語教育関係者と交流することができ、対面形式とは違った魅力もあるように思われる。

最後に、この場をお借りして、いつもキルギス共和国日本語教師会の活動をサポートしてくださる氏原名美先生、ヴォロビヨワ・ガリーナ先生、西條結人先生、世界中でキルギスの日本語教育をご支援くださっている方々に心より感謝を申し上げたい。これからもセミナーや会員同士の勉強会をはじめとして、様々なイベントを通して、交流を重ねていければと思っている。

О семинаре в Москве из серии «Дни преподавателей японского языка»

Асель ДЖУНУШАЛИЕВА
(Бишкекский государственный университет)

С 3 октября 2020 года по 3 апреля 2021 года Отдел японской культуры Японского фонда ежемесячно проводил онлайн семинары под общим названием «Дни преподавателей японского языка» во Всероссийской государственной библиотеке иностранной литературы (ВГБИЛ), где преподаватели японского языка не только России, но и других стран СНГ имели возможность обсудить практические вопросы преподавания японского языка. Я приняла участие во 2-м семинаре 7 ноября 2020 г., посвященном преподаванию азбук хирагана и катакана.

Лектор семинара Сатико Куроива (старший специалист по японскому языку Японского фонда, приглашенный преподаватель МГПУ) рассказала о проблемах преподавания письменности японского языка и путях их решения. Во второй части семинара проводилась дискуссия, где все участники смогли обменяться опытом и методиками, которые они используют при преподавании японского языка.

Думаю, что благодаря данному семинару участники смогли не только рассказать о результатах своих исследований, но и услышать мнения о положительных и отрицательных сторонах своих методик, что будет полезно для повышения эффективности преподавания.

К большому сожалению, в связи с разницей во времени нашей страны с Москвой я не смогла принять участие во всех запланированных семинарах. Однако обмен опытом с российскими коллегами подсказал мне многие идеи, которыми я надеюсь поделиться позже.

ウズベキスタンの国際日本学研究フォーラム

ヴォロビヨワ ガリーナ (元ビシケク国立大学)



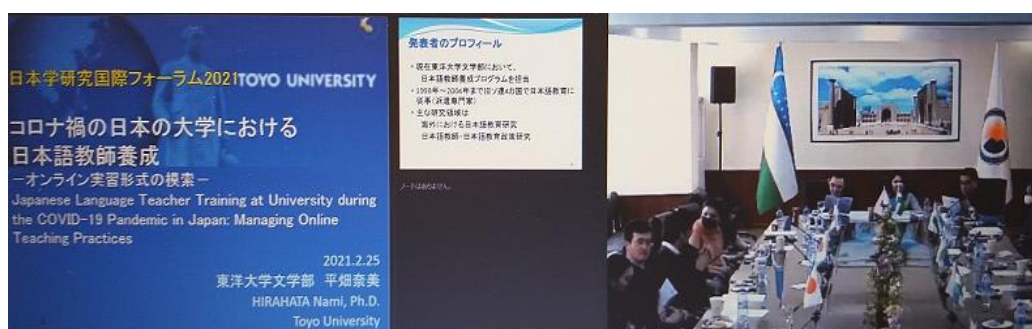
2021年2月25-26日にウズベキスタン共和国首都タシケントでオンライン方式の国際日本学研究フォーラムが開催された。主催はタシケント国立東洋学大学と筑波大学中央アジア事務所であった。当フォーラムでは、文化・言語・文学・歴史・政治・経済・社会政策など人文・社会科学などに関する発表があった。発表者はウズベキスタン、日本、イラン、キルギス、スロベニア、ベトナム、

ロシアの研究者で、使用言語は日本語、英語、ウズベク語、ロシア語であった。タシケント国立東洋学大学の参加者は大学の会議室から参加したが、他にもウズベキスタンと外国の60人以上の参加者がいた。

フォーラムの開幕にあたってタシケント国立東洋学大学学長、筑波大学学長、駐ウズベキスタン共和国日本大使、駐日本国ウズベキスタン大使が挨拶した。

私はウズベキスタン、日本、イラン、ロシアの研究者と一緒に本フォーラムで日本語で発表をした。私の発表のテーマは「漢字の構成上の複雑性の分析及び漢字指導の改善の方法」であった。コロナ禍に関する発表もあった。東京東洋大学文学部の平畑奈美教授の発表のテーマは「コロナ禍の日本の大学における日本語教師養成—オンラインを活用した実習形式の模索—」であった。

タシケント国立東洋学大学の菅野怜子先生は発表でウズベキスタンの日本語教育の歴史について話した。菅野先生はもう30年間ウズベキスタンで働いていて、ウズベキスタンの日本語教育にその一歩目から参加し、たくさんの人に日本語、日本文化の知識を与えた。参加して次のことに気が付いた。ウズベキスタンの大学は外国の大学と教育だけではなく、研究分野でも密接な関係を維持しているようである。キルギス日本語教師会は国際研究大会を実行したり、研究紀要『キルギス日本語教育研究』をもう5年間毎年発行したりしているが、外国の研究者とより密接な関係を作って維持する必要があると考える。



モスクワ市立大学とロシア CIS 日本語教師会が実施した 第3回国際学術学会「教育現場における日本語」

ヴォロビヨワ ガリーナ (元ビシケク国立大学)



2021年3月11～13日にモスクワ市立大学とロシアCIS日本語教師会が実施した第3回国際学術学会「教育現場における日本語」はMicrosoft Teamsというコラボレーションプラットフォームで開催された。参加者は200人以上であった。

ロシア語と日本語での基調講演、ワークショップや発表があった。同時に2つの発表のセッションが行われていた。発表時間は15分、質疑応答の時間は5分であった。

今回はロシア、日本、ブルガリアとキルギスの発表者だけがいた。キルギスから私以外にビシケク国立大学のヌスワリエワ・ジュルディズ上級講師が発表をした。

Microsoft Teamsを学会などで使ったことがなかったので使ったことがなかったので予め実行委員の指導で練習をした。

分科会「日本語母語話者による日本語教授法」、「現代日本語学の現状と課題」、「日本学研究者養成の文化的側面」、「日本語のコミュニケーション能力の育成」、「初等中等教育機関における日本語教育」、「日本語の文法能力の育成」、「日露・露日翻訳指導」、「現代社会のニーズへの対応としての日本語教育」、「新しい日本語コースの開発」、「日本語教育における教材の動向」での多様なテーマの発表がされた。

広いロシアの西に位置しているサンクトペテルブルグから東に位置しているウラジオストックまでの発表者がいた。発表者が働いている機関も多様であった。科学アカデミー、大学、初学校などであった。例えば、ロシア科学アカデミーのアルパートフ・ヴォラディーミル教授の基調講演「ロシアにおける日本研究史」、モスクワ市立大学のミズグリナ・マリア先生の「日本語の聴解指導における確率的予測能力の育成」やイルクーツク市第26番学校のダヴィドワ・アレフティエーナ先生の「創造的な教師向けの革新的教育技術としてのラップブッカー中等教育学校の日本語授業を例として」というテーマの発表があった。ラウンドテーブル「外国人向けの日本語の熟達度を示す記述文の開発 (A1, A2 レベル)」も行われた。

国際学術学会で様々な情報を得ることができて、有意義なイベントであった。

キルギス日本語教育セミナー2021 第1部 講演・ディスカッション「漢字指導・学習の方法 - バリエーションはどのくらい? -」

ジュヌシャリエワ アセーリ (ビシケク国立大学)

2021年3月14日にキルギス共和国日本語教師会主催(国際交流基金助成事業)で「キルギス日本語教育セミナー2021」が実施され、早稲田大学日本語教育研究センターの濱川祐紀代先生に「漢字指導・学習の方法 - バリエーションはどのくらい? -」というテーマでご講演いただいた。

報告者と濱川先生とは7年前に国際交流基金の研修で長期日本語教師研修を受けていた時に知り合った。濱川先生が報告者の担当教師で、教授経験が浅い報告者に日本語の教え方、主な教授法などについて丁寧に教えてくださったという間柄であった。

今回、濱川先生がキルギスの日本語教師のために素晴らしい講演をしてくださって、

感謝している。キルギスの日本語教師は、漢字の教授法を学んだり、漢字そのものや漢字の教育方法を研究したりしている教師が少ないのが現状である。濱川先生のご講演が良い機会となり、キルギスの日本語教師が自分自身のため役に立つものであると感じ、学んだことを日頃の自身の授業で実践することにつながれば、実行委員のひとりとして企画・実施した立場として非常に幸いである。

セミナーの参加者からは、ワークショップから自分のために新しい知識、これまで知らなかった漢字の教え方について多くの知識を得ることができたというコメントがあった。

濱川先生のご講演の後には、第2部としてパネルディスカッション「CIS各国のオンライン教育事情」のテーマで、ウズベキスタン、

タジキスタン、ロシア、キルギスの代表者に発表をしていただいた。

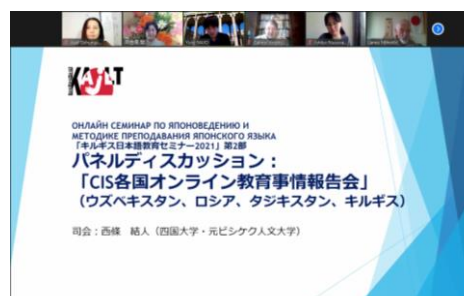
パンデミックで世界中の教育システムが変化を強いられ、ポストコロナ時代を見据えた社会社会の中における教育の在り方や、その時代を生きていける人材を養成するために何が必要か検討することも重要であると思われる。



キルギス日本語教育セミナー2021 第2部 パネルディスカッション「CIS 各国オンライン教育事情報告会」

西條 結人 (四国大学)

キルギス日本語教育セミナー2021は、キルギス共和国日本語教師会主催で2021年3月14日に実施された。本報告では、第2部のパネルディスカッション「CIS 各国オンライン教育事情報告会」を中心に報告を行う。同パネルディスカッションでは、ウズベキスタン、タジキスタン、ロシア、キルギスのCIS4か国の大学教員によるコロナ禍における各国の教育事情やオンライン教育実践に関する報告が行われた。報告者は、本パネルディスカッションの司会を務めた。



ウズベキスタン国立世界言語大学のテミロヴァ・ムスリマ氏からはウズベキスタンのオンライン教育の方法や対面と遠隔授業の比較について報告がなされた。モスクワ市立大学のセルゲエワ・アナスタシア氏は本セミナーの第1部の講演のテーマであったオンラインでの漢字教育・漢字指導を中心にモスクワ市立大学での取り組みについて発表いただいた。タジキスタン国立言語大学のイスロモフ・ヤヒヨ氏からは、タジキスタンにおける日本語教育事情全般と、コロナ禍における対面授業の様子が報告された。キルギス国立総合大学のドゥイショノワ・ナリーザ氏とビシケク国立大学のヌスワリエワ・ジルディズ氏、キルギス国立大学附属日本学院イシライロワ・ジルディズ氏からは所属機関の日本語学習者、日本語教師を対象にしたアンケート結果の報告が行われた。各国パネリストの報告終了後の質疑応答では有意義な討議が行われた。

4か国(ウズベキスタン、タジキスタン、ロシア、キルギス)の教育事情報告を振り返れば、日本とは異なるコロナ禍における教育環境、オンライン教育事情があり、非常に興味深い発表ばかりであった。新型コロナウイルスの影響で、各国の教育文化や教育の在り方がコロナ禍以前と大きく変化せざるを得ない状況の中で、眼前の学習者のために教育の機会と質を保証しようとする各国の教員の努力が窺える報告会であったように思われる。

本セミナーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、人の行動が制限される中でオンライン開催ではあったが、CIS各国パネリストの報告から多くの学びを得ることができたと同時に、教育に携わる多くの参加者がコロナ禍という状況下において試行錯誤で行っていた日頃の教育実践に自信を感じることができたのではないだろうか。今後も世界各国の日本語教育関係者と交流する場を積極的に設定していくことが、キルギスだけではなく、中央アジア地域全体の日本語教育の発展に資するものであると思われる。

第 13 回ブラジル日本研究国際学会 | 第 26 回全伯日本語・日本文学・日本文化大学教師学会「日本研究における新しいパラダイムの統合と構築」

ヴォロビヨワ・ガリーナ (元ビシケク国立大学)



2021年3月17～19日にブラジルで第13回ブラジル日本研究国際学会 | 第26回全伯日本語・日本文学・日本文化大学教師学会「日本研究における新しいパラダイムの統合

と構築」(主催:ブラジル日本研究協会)は複数のプラットフォームで同時配信ができるライブ配信ツール StreamYard で行われた。大会の言語はポルトガル語と日本語であった。発表者が StreamYard に不慣れなため大会の2週間前に実行委員の指導で練習をした。大規模な研究大会で、ブラジル、日本、マレーシア、キルギスなどの国々の発表者がいた。同時に3チャンネルで発表のセッションが行われていた。事前登録をしたのは発表者だけで、一般の人は誰でも自由に世界中どこからでも YouTube でリアルタイムで見ることができた。今も、大会のプログラム、更に全ての講演、パネディスカッション、研究発表のビデオを次の URL で見ることができる。https://doity.com.br/ciejb2020/blog/Nihongo 大会のプログラムから直接発表などの URL に入ることができるので、とても便利である。私とキルギス日本語教師会賛助会員の関先生が発表をしたセッションの URL は次のとおりである。https://www.youtube.com/watch?v=sQX-ZCKFGZA



私達のセッションの司会者と2人の発表者は日本に、後一人の発表者はブラジルに、そして私はキルギスにいてちょっと不思議な感じであった。ブラジルは地球の西半球に位置しているの、日本との時差は12時間、キルギスとの時差は7時間である。

発表時間は20分であった。発表のとき YouTube のチャットに質問とコメントが届

いていた。質疑応答は4人の発表の後で30分であった。

ブラジルの研究大会に参加して大変勉強になった。実行委員会のおかげで有意義な研究大会だったと思う。そして閉会式るとき実行委員長の向井先生が講演者、発表者、視聴者、さらに実行委員に感謝の言葉を述べたのが印象的であった。



キルギス共和国日本語教師会 役員・委員会等

2020年9月1日現在

◆役員等（任期：2020.09.01-2021.08.31）

会 長：イシライロワ ジルディズ（アラバエフ記念キルギス国立大学附属日本学院）

副会長：ドゥイショノワ ナリーザ（バラサグン記念キルギス国立総合大学）

事務局：ヌスワリエワ ジルディス（カラサーエフ記念ビシケク国立大学）

◆各種委員会

・ 広報委員会（会報発行）：

編集委員長：ザイートワ シャヒデーム

編集委員： 氏原 名美， ヴォロビヨワ ガリーナ

・ 出版委員会（キルギス共和国日本語教師会研究紀要『キルギス日本語教育研究』編集部）：

編集委員長：ジュヌシャリエワ アセーリ

編集委員： ヴォロビヨワ ガリーナ， ウシケムピロワ ナズグーリ

・ 2021年キルギス共和国日本語弁論大会実行委員会：

イシライロワ ジルディズ（委員長），ドゥイショノワ ナリーザ，

ジョルブラコワ マイラム，アスランベック クズ グリザット，

ヌスワリエワ ジルディス，エルメコワ・アセーリ，

タシタンベコワ スィルガ

※詳細については教師会ホームページをご覧ください。

(<http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com>)

『キルギス日本語教育研究』 投稿ガイド

キルギス共和国日本語教師会出版委員会（紀要編集部）

◆刊行の目的

キルギス共和国日本語教師会の会員等の研究成果・実践報告の発表に資する。

◆紀要名称

- ・日本語名：『キルギス日本語教育研究』
- ・ロシア語名：Научные исследования в области преподавания японского языка в Кыргызской Республике

◆投稿内容・種類

- ・日本語教育学，日本学，授業実践・教育事情報告，通訳・翻訳，その関連分野のもので，未公開のもの（ただし，学会等での口頭発表はこの限りではない）
- ・同じ内容の原稿を他誌に投稿している場合（二重投稿）は不採用とする。
- ・「研究論文（Научные статьи）」「教育事情・実践報告（Состояние преподавания- практические отчёты）」「研究ノート（Научные заметки）」の3部門を設ける。
※「研究論文」は編集委員会が任命する3名により査読を経て，掲載合否の決定をする。

◆投稿資格：以下のいずれかに該当

- ・キルギス共和国日本語教師会会員
- ・キルギス共和国日本語教師会会員との共同執筆者
- ・キルギスの大学に在籍する大学院生，学部卒業生，学部生
※学部卒業生，学部生については，指導教員またはそれに準ずる者との共著に限る
- ・キルギス共和国日本語教師会会員以外で，キルギス共和国日本語教師会が主催する日本語教育セミナーもしくは，キルギス日本学・日本語教育国際研究大会で口頭発表（実践報告・研究発表いずれか）を行った者
- ・キルギス共和国日本語教師会会員によって構成される編集委員会が特に認めた者

◆編集・発行形態

- ・教師会内に紀要編集委員会を設け，3名の編集委員で構成する
- ・年1回刊行（PDF形式および冊子体で発行）

◆原稿の使用言語

原稿の使用言語は，日本語・ロシア語を原則とする。その他の言語については，紀要編集委員会の判断による。ただし，引用・用例の言語は原則として制限しない。

◆投稿の方法

- ・投稿方法は、すべて E-mail での投稿とする。

提出先：紀要編集委員会 kyoushikaikyrgyz.ed@gmail.com

◆投稿できる原稿数等

- ・投稿できる原稿は、共同執筆を含め原則として1号につき2編以内とする。ただし、編集上の都合により1編に制限されることがある。

◆投稿締め切り

- ・締め切り日は次の通りとする。10月30日17時（キルギス時間）必着

※日本との時差はマイナス3時間です

- ・提出後の差し替えは一切認めない。
- ・締め切り日を過ぎて到着した原稿は、次号投稿分として受理する。
※掲載時期を勘案のうえ、投稿を取り下げの場合は事務局まで連絡すること。
- ・投稿前に必ず執筆要領に沿っているかを確認すること。

(<https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/紀要-キルギス日本語教育研究/投稿ガイド-執筆要領/>)

◆採否の決定

投稿された原稿は、編集委員会による審査を行い、掲載の採否を決定する。

採否の結果及びその理由については、締め切り日から2か月以内にEメール

(kyoushikaikyrgyz.ed@gmail.com) にて、投稿者に通知する。

◆査読結果の取扱い

編集委員会からの査読結果及びコメントその他の通知内容は、当該論文の執筆者に対する伝達を除き、非公開とする。

◆論文の公開

本教師会ウェブサイト内の「教師会紀要 キルギス日本語教育研究」に全文を公開する。

◆著作権

『キルギス日本語教育研究』に投稿された論文の著作権は、キルギス共和国日本語教師会に帰属する。

※原稿の他の出版物への転載等は、キルギス共和国日本語教師会の許可を得たうえで行うこと。

(2019年8月策定)

『キルギス日本語教育研究』執筆要領

キルギス共和国日本語教師会紀要編集委員会

◆和文・ロシア語文論文共通事項

- ・用紙は、原則 A4 判縦置き、横書きとする。ただし、和文論文で表記上特に必要な場合は、A4 判横置き、縦書きとすることができる。
- ・原稿には、題名・著者名（和文及びロシア語文）・日本語 250 字程度もしくはロシア語 200 語程度の要約、3 語以上 5 語以内のキーワード（和文またはロシア語文）を記載する。
- ・本文は日本語もしくはロシア語、本文が日本語の場合はロシア語要約、本文がロシア語の場合は日本語要約をつける。原則 20000 字以内（題名、筆者名、所属、図表、参考文献含む）、図・表・写真は出典を明記して原稿に添付する。
- ・原稿第 1 ページ目に、著者の所属を和文もしくはロシア語文で書く。この場合、大学教員は大学名、大学の非常勤講師は主な勤務大学名、学部生・大学院生は学部・研究科名、学校教諭等は学校名等を書く。

【記載例】

- ・学生の場合
ビシケク人文大学大学院生（修士課程）
(Студент-магистрант Бишкекского гуманитарного университета им. К. Карасаева)
- ・教員の場合
キルギス国立総合大学（Киргизский национальный университет им. Ж. Баласагына）

◆論文の体裁

・和文論文

書体は、明朝体 11 ポイントを標準とする。

論文は、本文・要約ともにネイティブチェックを経ること。

本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を 1 コマ空ける。

文献は、論文末尾にアルファベット順に記載する。また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は「カンマ [,]」でつなぐ。

・ロシア語文論文

書体は、Times11 ポイントを標準とする。

論文は、本文・要約ともにネイティブチェックを経ること。文献は、論文末尾にアルファベット順に記載する。

また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は、カンマ [,] でつなぐ。

◆参考文献の書き方

・雑誌論文の場合

著者名（発行年）「論文表題」『掲載雑誌名』巻（号）、該当ページ

・ 欧文雑誌の場合

著者名（発行年）論文表題， 掲載雑誌名， 巻（号）， 該当ページ

【記載例】

山田太郎 (2016) 「キルギスにおける日本語教育」『ビシケク人文大学東洋国際関係学部紀要』
5, pp.38-39

Mederbekova, J. (2016) Japanese Language Education. *Journal of Japanese Language*, Vol.16,
pp.58-59

・ 著書の場合

著者名（発行年）「論文表題」『書名』， 該当ページ， 出版社・発行所名

著者名（発行年）「論文表題」 編者名編『書名』， 該当ページ， 出版社名

《欧文著書の場合》

著者名（発行年）論文表題. 編者名 (ed.)， 書名， 該当ページ， 出版社名

【記載例】

山田太郎 (2016) 『基礎キルギス語文法』， pp.22-23， ビシケク書房

Mederbekova, J. (2016) The current state and issues of Japanese language education in Kyrgyz Republic, Usenbaeva, C. & Sultanalieva, A. (eds.), *Japanese Language*, pp.34-35, Bishkek Humanities University Press

◆ 図， 表， 写真図版等

図， 表， 写真図版等は， 本文中の該当箇所の刷り上がりをイメージした位置に， 鮮明に識別できる大きさで， 以下の様式により挿入する。

図（写真図版を含む）は， 図 1(Fig.1/ Рисунок 1)， 図 2(Fig.2/Рисунок2)， …， のように， 表は， 表 1(Table1/Таблица 1)， 表 2 (Table2/Таблица2)， …のように通し番号をつける。

図の番号及び見出しは， 図の下に記入し， 表の番号及び見出しは， 表の上に記入する。

◆ インターネット上の資料

資料題名， サイト名 URL(資料にアクセスした日)

(2016 年 9 月策定)

(2018 年 9 月策定)

編集委員会より

研究紀要『キルギス日本語教育研究』第5号は、キルギス共和国日本語教師会が2020年8月24日と25日に開催した『キルギス日本語教育セミナー2020』における基調講演、研究報告及び教育事情・実践報告を主な内容としています。

今後とも、キルギス共和国日本語教師会会員はじめ、中央アジア諸国の日本語教育関係者、キルギス日本学・日本語教育国際研究大会の発表者の皆様方と協力し合って、研究紀要『キルギス日本語教育研究』の発行を続けてまいります。

各方面の方々より、ご意見ご提言をお寄せいただければ幸いに存じます。

2021年4月

『キルギス日本語教育研究』編集委員会

編集委員

ジュヌシャリエワ アセーリ，ヴォロビヨワ ガリーナ，ウシケムピロワ ナズグーリ

編集協力

氏原 名美，関 麻由美，西條 結人

Ассоциация преподавателей японского языка

Кыргызской Республики

Научные исследования в области преподавания

японского языка в Кыргызской Республике

выпуск №5

Редколлегия:

Асель Джунушалиева, Галина Воробьева, Назгуль Ушкempiрова

©Ассоциация преподавателей японского языка Кыргызской Республики

Редакционная коллегия Сборника научных трудов

Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики

г. Бишкек, 720044, проспект Чингиза Айтматова, 27

Бишкекский государственный университет им. К. Карасаева

факультет востоковедения и международных отношений

кафедра японской филологии

e-mail: kajlt.jimukyoku@gmail.com

Веб-сайт: <http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/JLteachers.association.KR>

Вестник ассоциации: https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik

ToiArt Design Studio

Кыргызская Республика, г. Бишкек, ул. Боконбаева, 103

Научные исследования в области преподавания японского языка в Кыргызской Республике

выпуск №5

◆Отчеты приглашенных лекторов научного семинара

Материалы для экстенсивного чтения в качестве учебной литературы для изучающих японский язык - Оригинальность материалов для чтения на начальном уровне изучения языка и цели авторов -

Нанаэ САКУТА 6

◆Научные статьи

Значение изучения и преподавания японского языка в изолированной среде Киргизии – на основе исследования убеждений местных преподавателей –

Норико ЯМАГУТИ 19

О создании и значении Таблицы элементов японских иероглифов

Виктор ВОРОБЬЕВ, Галина ВОРОБЬЕВА 28

◆Научные заметки

Межкультурное сопоставление пословиц, устойчивых выражений и басен в японском и казахском языках

Назгуль УШКЕМПИРОВА 51

О некоторых трудностях перевода ономастической лексики в японских комиксах манга на примере 1-4 томов манги «Гинтама» Сорати Хидэаки

Галия АЙТИКЕЕВА 58

Интерпретация скрытых рекламных символов на примере японской анимации

Юлия ВИЛЕНСКАЯ 65

◆Состояние преподавания / практические отчеты

20 лет со дня первого выпуска Вестника Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики: обзор содержания номеров Вестника

Галина ВОРОБЬЕВА 73

Проблемы и перспективы преподавания английского языка в Кыргызской Республике

Кэй ОЦУКА 92

